LIXIL TOSTEM

ビューステージ H style 本体・9尺・柱移動・戸袋逃げ柱　取付説明書

＊MAM88＊

●この度は、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この説明書は必ず取付ける方にお渡しください。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく取付けしていただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警 告	●取付けを誤った場合に、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。
⚠注 意	●取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

一般情報に関する記号	
ポイント	●取付け手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付け説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付け説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜取付けの前に＞

⚠警 告

●製品落下および転落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・妻梁・笠木は戸袋に固定せず、必ず戸袋逃げ柱に固定してください。
・屋根置き式の場合バルコニーの奥行きについては、主柱位置が軒げたより先に出ていないことを確認してください。
・Fスタイル（庭置き式）は住宅1階床高さを超える高さに取付けないでください。

⚠注 意

●製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
・ボルト、ねじは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
φ4ねじ：2.5N・m ± 0.5N・m（25±5kgf・cm）
φ5ねじ：3.0N・m ± 0.5N・m（30±5kgf・cm）
M6ボルト：5.2N・m ± 0.5N・m（52±5kgf・cm）
M8ボルト：12.5N・m ± 0.5N・m（12.5±5kgf・cm）
・製品の改造は絶対にしないでください。
・Fスタイル（庭置き式）で床高が地上（G.L.）から230mmを超える場合は必ず踏台を扉部（開口部）に設置してください。

MAM-88_201304
M014_201304A

＜取付け上のご注意＞

⚠ 警 告

●製品落下および転落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・独立で取付けず、必ず躯体に取付けてください。
・必ず指定の組立てねじ・ボルトで固定してください。
・ねじ・ボルトの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
・タッピンねじは柱、間柱、胴差しなどの構造材に確実に止めてください。

⚠ 注 意

●製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・亜鉛・ステンレス以外の金属とアルミ形材が接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●漏水のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・指定の個所（特に接続部）にコーキング材を充てんしてください。
・外壁の上から部材を取り付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。
・シリコーンコーキング材を使用する場合は、当社指定の脱アルコール系コーキング材を使用してください。

コーキング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
東レ・ダウコーニング（株）	SE960

＜基礎の施工／柱建て納まりの場合＞

⚠ 注 意

●製品倒壊のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・コンクリート・モルタルには急結剤は絶対に使用しないでください。アルミが腐食するおそれがあります。
・取付け前に調査を行ない、地下埋設物（給排水管など）に影響をおよぼさないようにしてください。
・海砂は水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。
・寒冷地では柱の埋込み深さを考慮してください。凍上により浮上するおそれがあります。
・柱内の水抜きができるよう、柱基礎には必ず砕石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ10）をあけてください。
・養生期間は十分（4日～1週間以上）とり、その間重いものをのせたり振動を与えたりしないよう指示してください。

＜取付け上のお願い＞

補 足

●製品の取付けには、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による取付けをお願いします。
●正しく施工，組付けをするために、取付け前に必ず取付け説明書をお読みください。
●製品の取付けについては、必ず取付け説明書にしたがってください。
●取付け説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●施工工事にあたっては、安全に施工を行ってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行うとともに、安全確保を行ってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行ってください。
・作業者などが相互に安全確認を行ってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行い、救助を第一に心がけてください。
●取付け中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
●水平・垂直は水準器などで正確に出してください。
●本製品は桁側に水を流す構造となっております。全体をやや前下がり（1/100程度）で取付けしてください。
●屋根置き式の場合、調整脚の柱へののみ込みは100mm以上にしてください。
●デッキボードの表面は、養生のため使用するシートなどの成分により、変色（色ムラ）を起こすことがあります。
●当社指定の付属品以外取付けないでください。

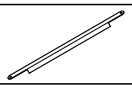
INDEX

1　梱包明細表 …… 4
2　構造説明図と基本寸法 …… 10
　1構造説明図 …… 10
　2基本寸法 …… 14
3　施工の流れ …… 16
4　本体の施工 …… 17
　1柱の組立て …… 17
　2根太掛け、妻梁、連結根太の取付け …… 18
　3柱、前桁、火打ちの取付け …… 20
　4柱、根太、根太掛けカバーの取付け …… 22
5　床材の取付け …… 24
　1床材の取付け …… 24
　2妻梁カバーの取付け …… 26
6　面材の取付け …… 28
　1縦太格子面材の場合 …… 28
7　雨樋の取付け …… 30
8　9尺の取付け …… 31
　1部材の加工 …… 31
　2火打ちの取付け …… 32
　3筋交いの取付け …… 33
　4根太と火打ちの取付け …… 34
　52次元トラスの取付け …… 35
9　戸袋逃げ柱の取付け …… 36
10　柱移動 …… 37
　1柱建て式の場合 …… 37
　2屋根置き式の場合 …… 38
11　納まり図 …… 40
　1柱建て式納まり …… 40
　2屋根置き式納まり …… 42
　3出幅9尺納まり …… 44
　42.5間9尺納まり …… 45
　5柱移動納まり …… 46
　6戸袋逃げ柱納まり …… 48

MAM-88_201304
M014_201304A

1 梱包明細表 ※略図は右用を示しております。左用は対称になります。

【1】柱セット(屋根置き式)

名　称	略　図	員数							
		2本入		1本入				中間用	
		長尺	短尺	長尺(左)	長尺(右)	短尺(左)	短尺(右)	長尺	短尺
主柱		左右各1	左右各1	1	1	1	1	−	−
中間柱		−	−	−	−	−	−	1	1
束台受け		2	2	1	1	1	1	1	1
筋交い		2	−	1	1	−	−	1	−
筋交い固定アングル		2	−	1	1	−	−	1	−
ナベドリル小ねじφ4×16		4	−	2	2	−	−	2	−
六角ボルトM8×16		2	−	1	1	−	−	1	−
六角ナットM8		4	−	2	2	−	−	2	−
平ワッシャーM8		4	−	2	2	−	−	2	−
六角ボルトM8×90		2	−	1	1	−	−	1	−

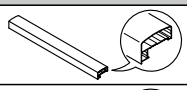
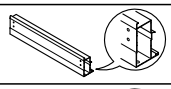
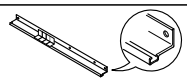
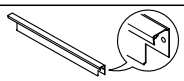
【2】柱セット(柱建て式)

名　称	略　図	員数			
		2本入	1本入(左)	1本入(右)	中間用
主柱		左右各1	1	1	−
中間柱		−	−	−	1
縦樋		2	1	1	1

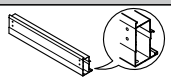
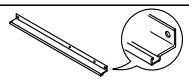
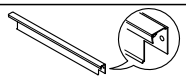
【3】柱セット（1階設置）

名　称	略　図	員数	
		2本入	中間用
主柱		左右各1	−
中間柱		−	1

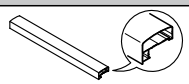
【4】長さセット（関東間：1.0~2.0間、九州四国間：1.0~1.5間、メーター2000~3000）

名　称	略　図	員数	
		柱建て式	屋根置き式
前笠木（取扱い説明書付）		1	1
前桁		1	1
根太掛け		1	1
根太掛けカバー		1	−

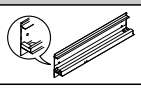
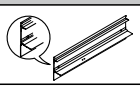
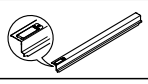
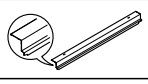
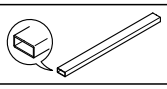
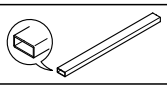
【5】長さセット（桁）（関東間：2.5間通し、九州四国間：2.0間、メーター4000）

名　称	略　図	員数	
		柱建て式	屋根置き式
前桁		1	1
根太掛け		1	1
根太掛けカバー		1	−

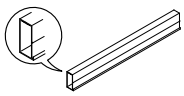
【6】長さセット（前笠木）（関東間：2.5間通し、九州四国間：2.0間、メーター4000）

名　称	略　図	員数	
		柱建て式	屋根置き式
前笠木		1	1

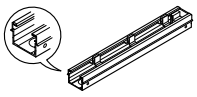
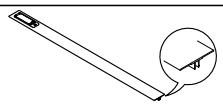
【7】妻梁セット

名　称	略　図		員数							
			柱建て式				屋根置き式			
			2本入		1本入		2本入		1本入	
	柱建て式	屋根置き式	2尺~6尺	9尺	2尺~6尺(左)	2尺~6尺(右)	2尺~6尺	9尺	2尺~6尺(左)	2尺~6尺(右)
妻梁			左右各1	左右各1	1	1	2	2	1	1
妻梁カバー			左右各1	左右各1	1	1	左右各1	左右各1	1	1
火打ち（9尺用）			−	2	−	−	−	2	−	−

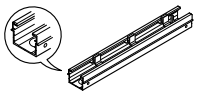
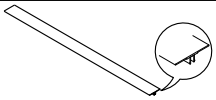
【8】根太セット

名　称	略　図	員数					
		2尺～6尺			9尺		
		1.0間	1.5間	2.0間	2本入	3本入	5本入
根太		4	6	8	2	3	5

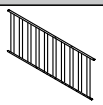
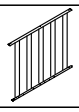
【9】連結根太セット（柱建て式）

名　　称	略　図	員数
連結根太		1
連結根太カバー		1

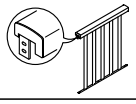
【10】連結根太セット（屋根置き式）

名　　称	略　図	員数
連結根太		1
連結根太カバー		1

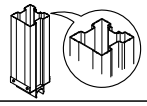
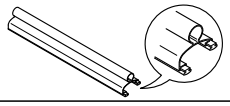
【11】前面パネルセット（縦太格子）

名　　称	略　図	員数	
		1.0間、1.5間	2.0間、2.5間
前面格子パネル		1	－
側面格子パネル		－	左右各1

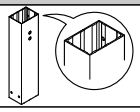
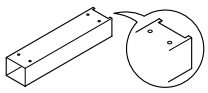
【12】側面パネルセット（縦太格子）

名　　称	略　図	員数		
		2枚入り	1枚入り	
		2~6尺	2~9尺（左）	2~9尺（右）
側面格子パネル		左右各1	1	1

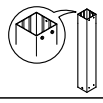
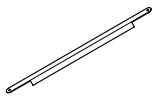
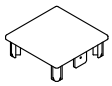
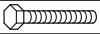
【13】束セット

名　　称	略　図	員数
調整脚		1
束台受け		1

【14】戸袋逃げ柱セット

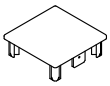
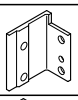
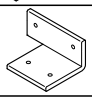
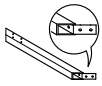
名　　称	略　図	員数
戸袋逃げ柱		1
戸袋逃げ柱横桟		1
戸袋逃げ柱取付金具		1
戸袋逃げ柱上部固定アングル		1
戸袋逃げ横桟躯体取付アングル		1
戸袋逃げ柱キャップ		1
戸袋逃げ柱小口隠しカバー		1
六角タッピンねじ1種（十字穴付）φ6×70		2
六角ボルトM6×25		2
ナベ小ねじ(Wセムス)M5×14		8
ナベタッピンねじ3種φ5×12		6

【15】柱移動部材セット（屋根置き式）

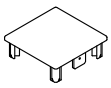
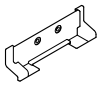
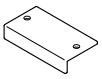
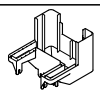
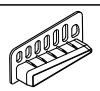
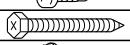
名　　称	略　図	員数
移動柱		1
筋交い		1
90柱キャップ		1
移動柱固定金具		1
ナベドリル小ねじφ4×16		10
六角ボルトM8×16		1
六角ナットM8		3
平ワッシャーM8		2
六角ボルトM8×90		1
六角ボルト（セムス）M8×70		1
スペーサー		1

MAM-88_201304
M014_201304A

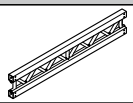
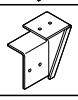
【16】組立て部品セット(柱建て式　単体)

名　称	略　図	員数											
		1.0間、1.5間				2.0間				2.5間通し			
		2、3尺	4尺	5、6尺	9尺	2、3尺	4尺	5、6尺	9尺	2、3尺	4尺	5、6尺	9尺
90柱キャップ		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
桁端部カバー		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
桁・妻梁取付け金具		左右各3	左右各3	左右各3	左右各3	左右各3	左右各3	左右各3	左右各3	左右各3	左右各3	左右各3	左右各3
笠木・柱固定金具		左右各2	左右各2	左右各2	左右各2	左右各2	左右各2	左右各2	左右各2	左右各2	左右各2	左右各2	左右各2
火打ち		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
集水器（コーナー用）		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
でんでん		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
92° エルボ		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
妻梁火打ち固定金具（9尺用）		−	−	−	2	−	−	−	2	−	−	−	2
桁火打ち固定金具（9尺用）		−	−	−	2	−	−	−	2	−	−	−	2
桁・妻梁取付金具裏板		−	−	−	2	−	−	−	2	−	−	−	2
筋交い（9尺用）		−	−	−	2	−	−	−	2	−	−	−	2
デッキ材端部キャップ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
スターター水密材		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
妻梁取付金具治具		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
アンカー棒		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
後付け用固定ボルト		−	−	−	4	−	−	−	4	−	−	−	4
ナベドリル小ねじφ4×16		63	66	66	90	72	74	74	101	72	74	74	103
六角タッピンねじ1種φ6×70		20	20	20	20	24	24	24	24	25	25	25	25
六角ボルト（セムス）M8×16		20	20	20	24	20	20	20	24	20	20	20	24
AZドリルねじφ4×16		26	35	52	79	33	44	66	99	39	52	79	118
ナットM6		−	−	−	4	−	−	−	4	−	−	−	4
スプリングワッシャーM6		−	−	−	4	−	−	−	4	−	−	−	4
トラスタッピンねじ3種φ5×25		−	−	−	4	−	−	−	4	−	−	−	4
トラスタッピンねじ3種φ5×12		−	−	−	4	−	−	−	4	−	−	−	4
ターンナットM5		−	−	−	4	−	−	−	4	−	−	−	4
取付け説明書〈本体〉	−	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

【17】組立て部品セット(柱建て式　連棟)

名　称	略　図	員数							
		1.0間、1.5間				2.0間			
		2、3尺	4尺	5、6尺	9尺	2、3尺	4尺	5、6尺	9尺
90柱キャップ		1	1	1	1	1	1	1	1
桁カバーキャップ		1	1	1	1	1	1	1	1
桁・妻梁取付け金具		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
根太掛けカバーキャップ		1	1	1	1	1	1	1	1
笠木・柱固定金具		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
連結根太固定金具（柱側）		1	1	1	1	1	1	1	1
連結根太固定金具（躯体側）		1	1	1	1	1	1	1	1
集水器（中間用）		1	1	1	1	1	1	1	1
でんでん		4	4	4	4	4	4	4	4
92°エルボ		1	1	1	1	1	1	1	1
デッキ材端部キャップ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
スターター水密材		2	2	2	2	2	2	2	2
アンカー棒		1	1	1	1	1	1	1	1
ナベドリル小ねじφ4×16		42	45	49	56	51	53	58	64
六角タッピンねじ1種φ6×70		12	12	12	12	16	16	16	16
六角ボルト（セムス）M8×16		14	14	14	14	14	14	14	14
AZドリル小ねじφ4×16		26	35	52	79	33	44	66	99

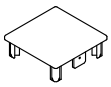
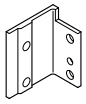
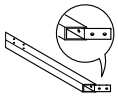
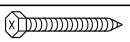
【18】補強トラスセット

名　称	略　図	員数
2次元トラス		1
トラス用端部金具		2
トラス用中間金具		4

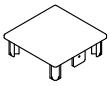
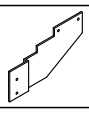
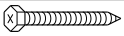
名　称	略　図	員数
六角ボルトM8×70		8
袋ナットM8		8
六角ボルトM8×30		8
ターンナットM8		8
ナベドリル小ねじφ4×16		16

MAM-88_201304
M014_201304A

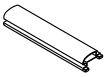
【19】組立て部品セット(屋根置き式　単体)

名　称	略　図	員数											
		1.0間、1.5間				2.0間				2.5間通し			
		2、3尺	4尺	5、6尺	9尺	2、3尺	4尺	5、6尺	9尺	2、3尺	4尺	5、6尺	9尺
90柱キャップ		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
桁・妻梁取付け金具		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
火打ち		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
妻梁火打ち固定金具（9尺用）		−	−	−	2	−	−	−	2	−	−	−	2
桁火打ち固定金具（9尺用）		−	−	−	2	−	−	−	2	−	−	−	2
桁・妻梁取付金具裏板		−	−	−	2	−	−	−	2	−	−	−	2
筋交い（9尺用）		−	−	−	2	−	−	−	2	−	−	−	2
デッキ材端部キャップ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
妻梁取付け金具治具		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
後付け固定ボルト		−	−	−	4	−	−	−	4	−	−	−	4
ナベドリル小ねじφ4×16		50	52	52	77	59	61	61	90	59	61	61	90
六角タッピンねじ1種φ6×70		16	16	16	16	18	18	18	19	19	19	19	19
六角ボルト（セムス）M8×16		12	12	12	16	12	12	12	16	12	12	12	16
AZドリル小ねじφ4×16		26	35	52	79	33	44	66	118	39	52	79	118
ナットM6		−	−	−	4	−	−	−	4	−	−	−	4
スプリングワッシャーM6		−	−	−	4	−	−	−	4	−	−	−	4
トラスタッピンねじ3種φ5×25		−	−	−	4	−	−	−	4	−	−	−	4
トラスタッピンねじ3種φ5×12		−	−	−	4	−	−	−	4	−	−	−	4
ターンナットM5		−	−	−	4	−	−	−	4	−	−	−	4
取付け説明書〈本体〉	−	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

【20】組立て部品セット(屋根置き式　連棟)

名　称	略　図	員数							
		1.0間				2.0間			
		2、3尺	4尺	5、6尺	9尺	2、3尺	4尺	5、6尺	9尺
90柱キャップ		1	1	1	1	1	1	1	1
桁カバーキャップ		1	1	1	1	1	1	1	1
方杖		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
連結根太固定金具(躯体側)		1	1	1	1	1	1	1	1
デッキ材端部キャップ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
ナベドリル小ねじφ4×16		41	44	48	55	50	52	57	63
六角タッピンねじ1種φ6×70		8	8	8	8	10	10	10	10
六角ボルト（セムス）M8×16		8	8	8	8	8	8	8	8
AZドリル小ねじφ4×16		26	35	52	79	33	44	66	99

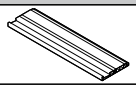
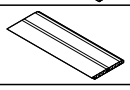
【21】つか受け補強材セット

名　称	略　図	員数
束台受け補強材		1
ナベドリルねじφ4×19		2

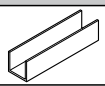
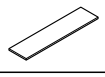
【22】柱移動部品セット（柱建て式）

名　称	略　図	員数
90柱キャップ		1
移動柱取付金具		1
92°エルボ		1
ナベドリル小ねじφ4×16		9

【23】デッキボードセット

名　称	略　図	員数					
		2尺	3尺	4尺	5尺	6尺	9尺
スターター用デッキ材		1	1	1	1	1	1
中間用デッキ材		1	2	3	4	5	8

【24】デッキボード雨受け部材セット

名　称	略　図	員数
デッキボード雨受け材（4505mm）		1
両面テープ		1

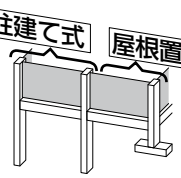
【25】ねじ先カバーセット

名　称	略　図	員数
ねじ先カバー		20

MAM-88_201304
M014_201304A

2 構造説明図と基本図寸法

※図は 柱建て式 屋根置き式 で示します。

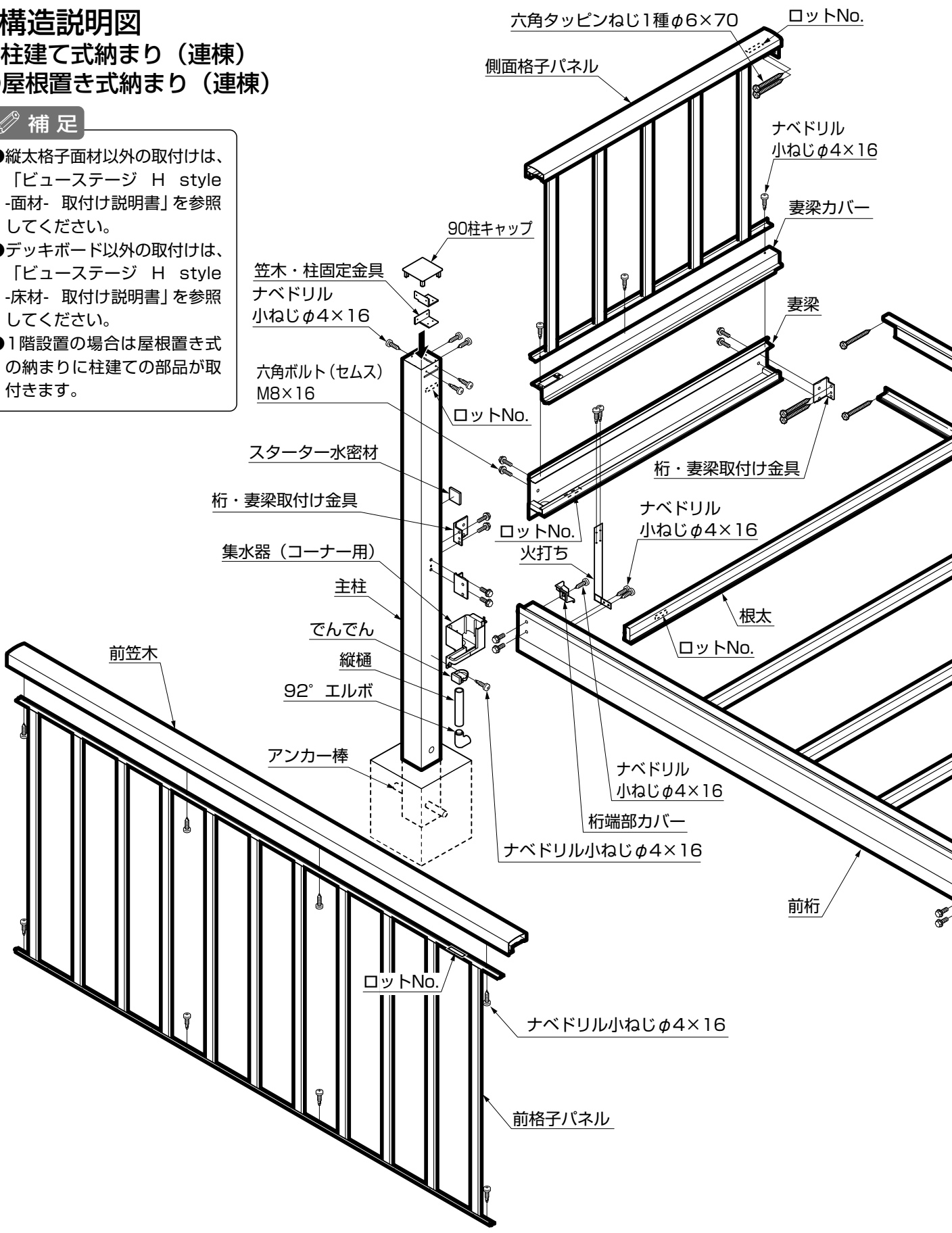


1 構造説明図

●柱建て式納まり（連棟）
●屋根置き式納まり（連棟）

補足

- ●縦太格子面材以外の取付けは、「ビューステージ H style -面材- 取付け説明書」を参照してください。
- ●デッキボード以外の取付けは、「ビューステージ H style -床材- 取付け説明書」を参照してください。
- ●1階設置の場合は屋根置き式の納まりに柱建ての部品が取付きます。



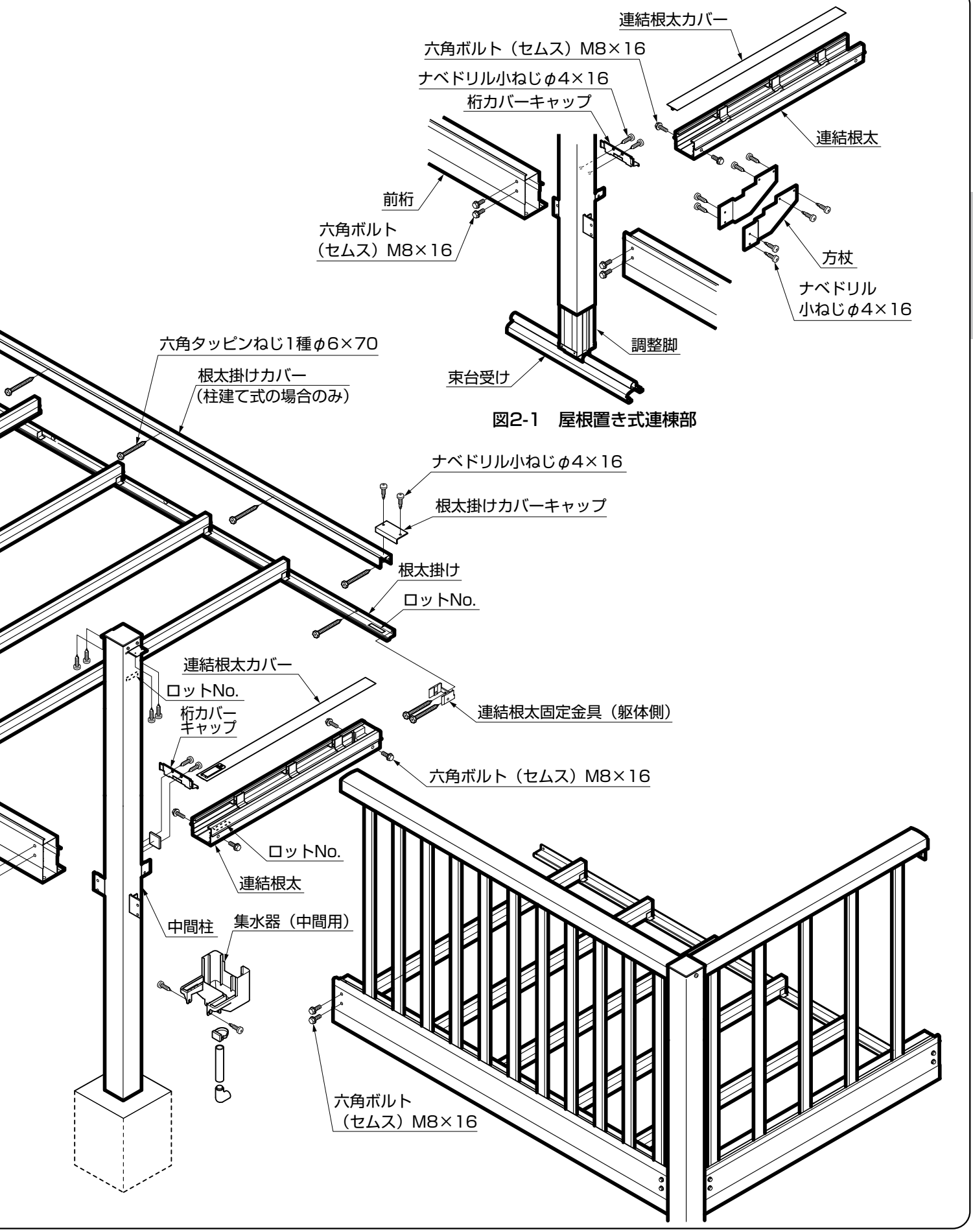
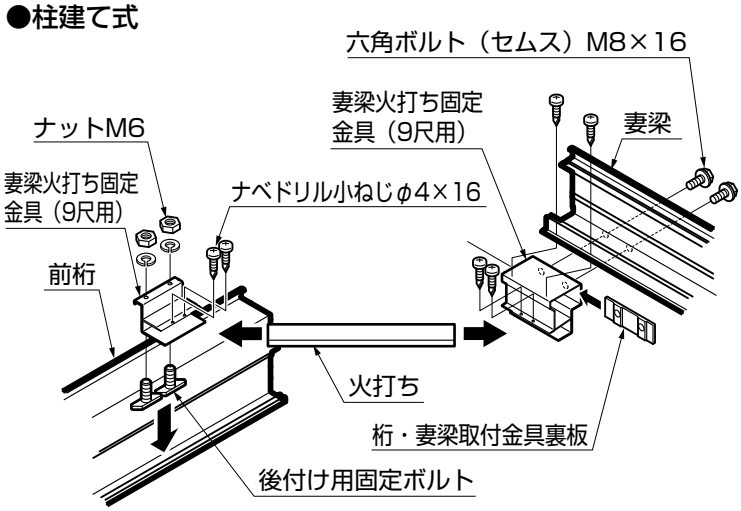


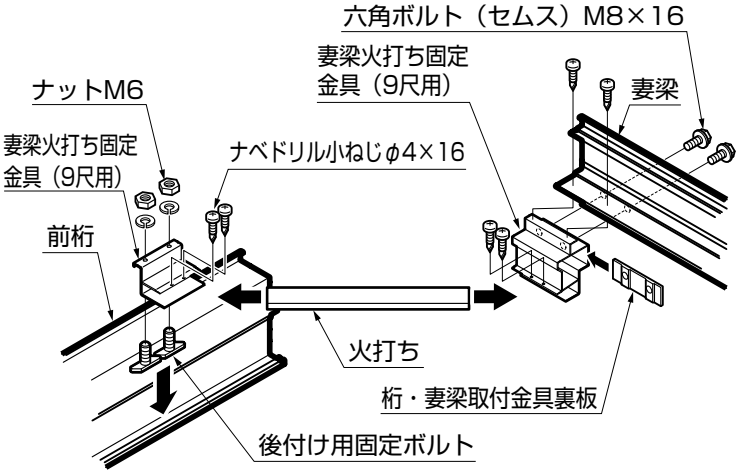
図2-1　屋根置き式連棟部

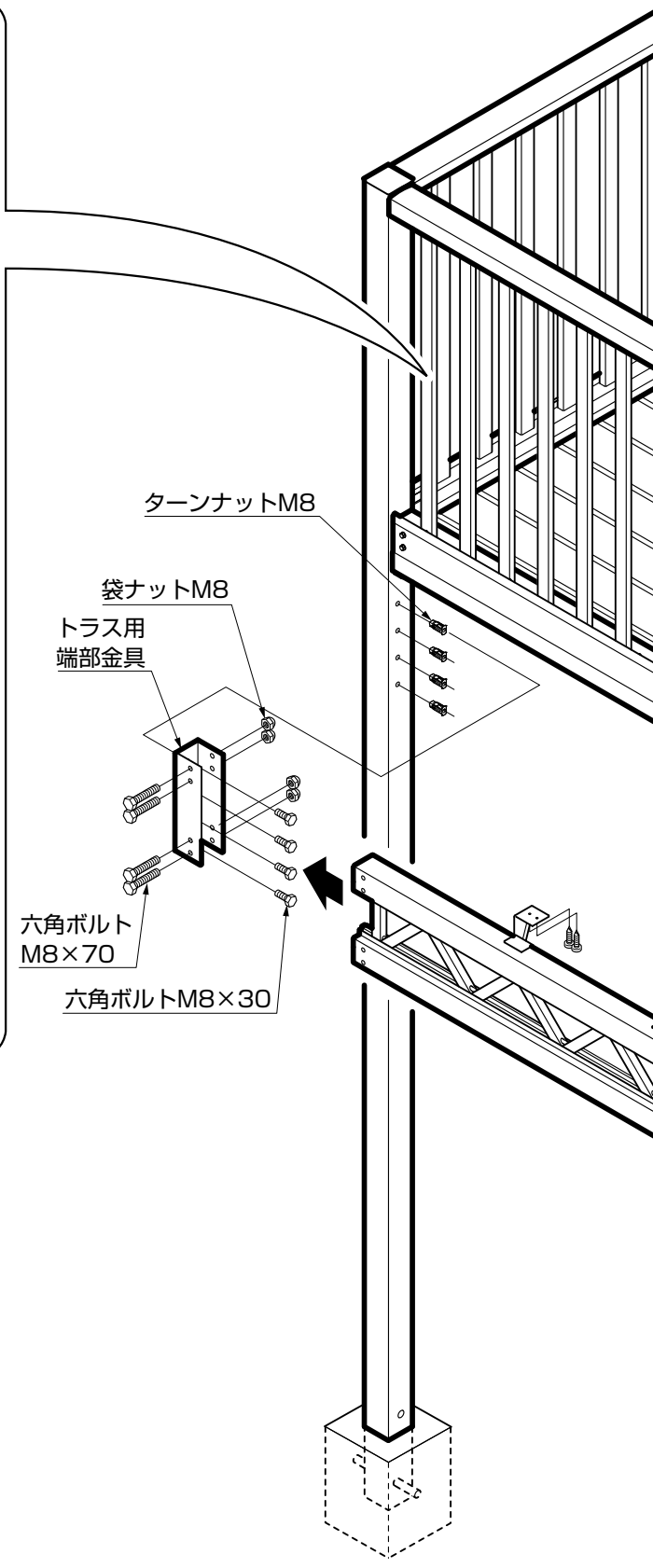
●9尺

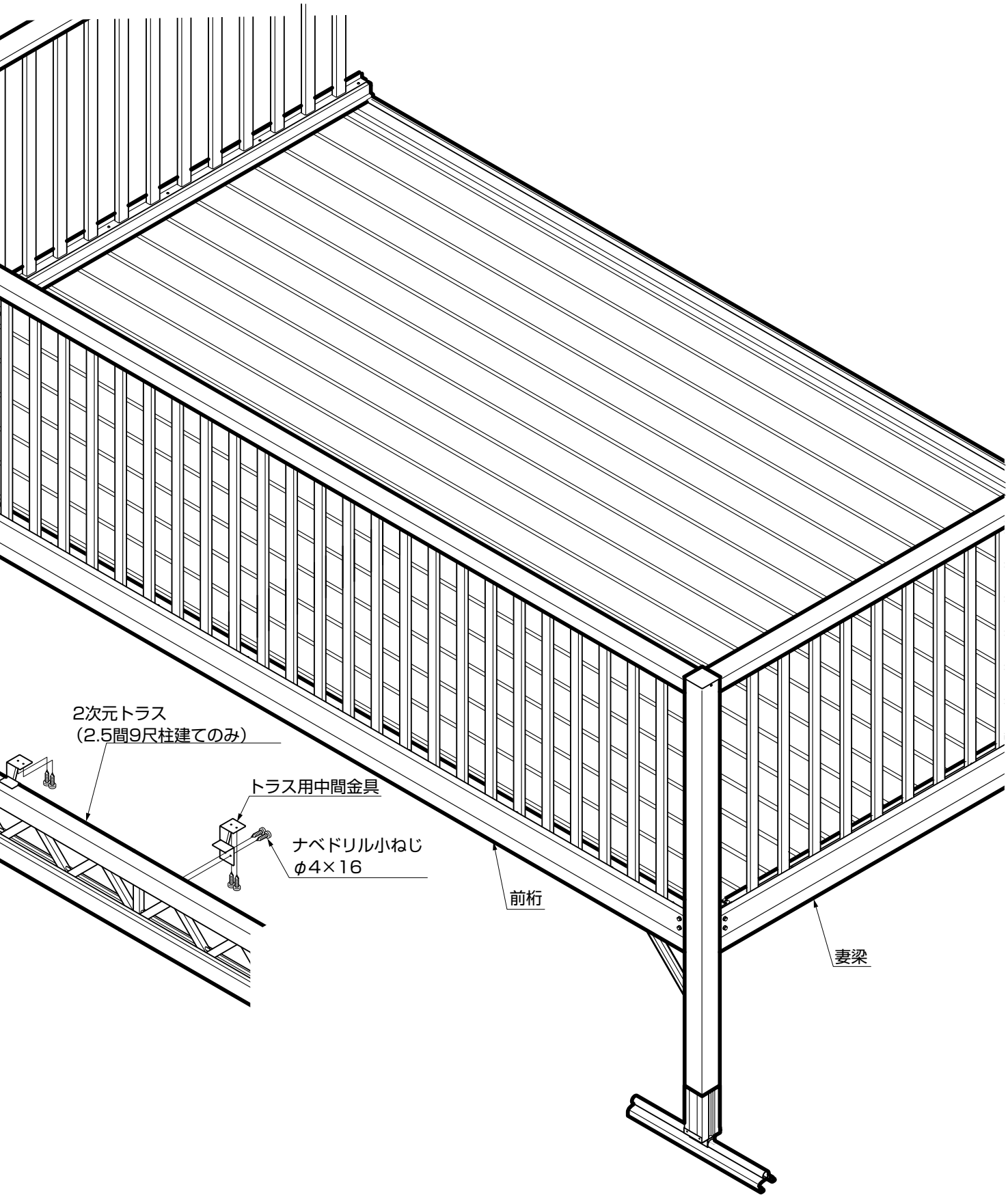
●柱建て式



●屋根置き式

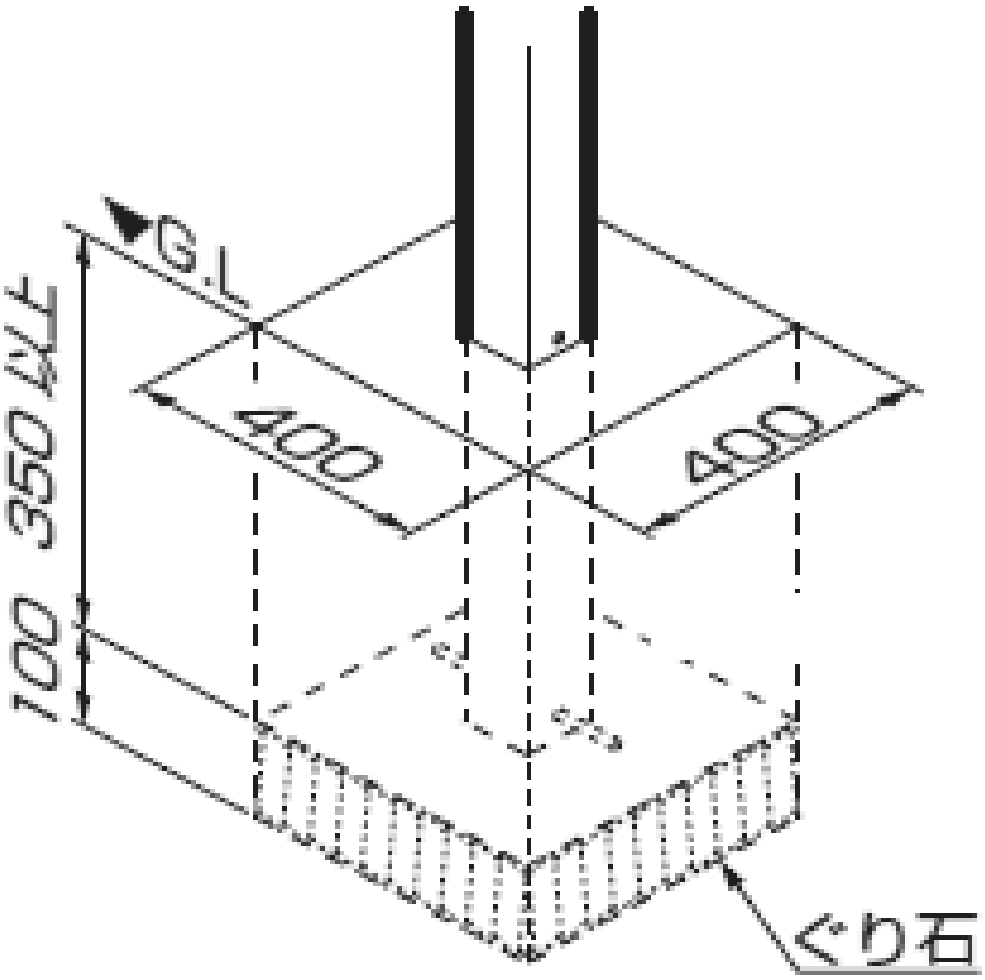





2次元トラス
（2.5間9尺柱建てのみ）
トラス用中間金具
ナベドリル小ねじ
φ4×16
前桁
妻梁

注 意

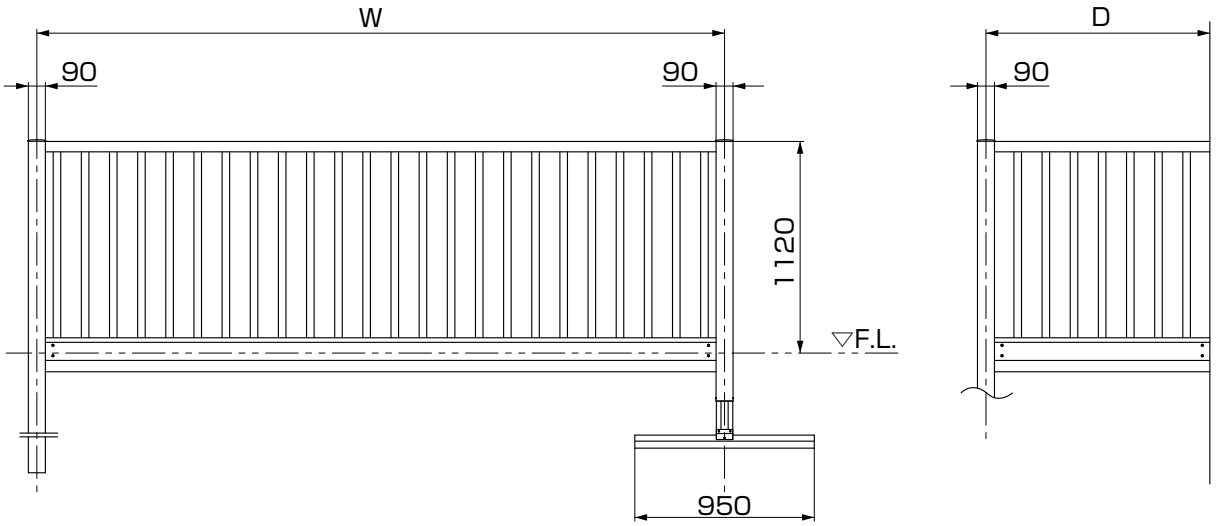
2．0間9尺
2．5間9尺 の基礎サイズ



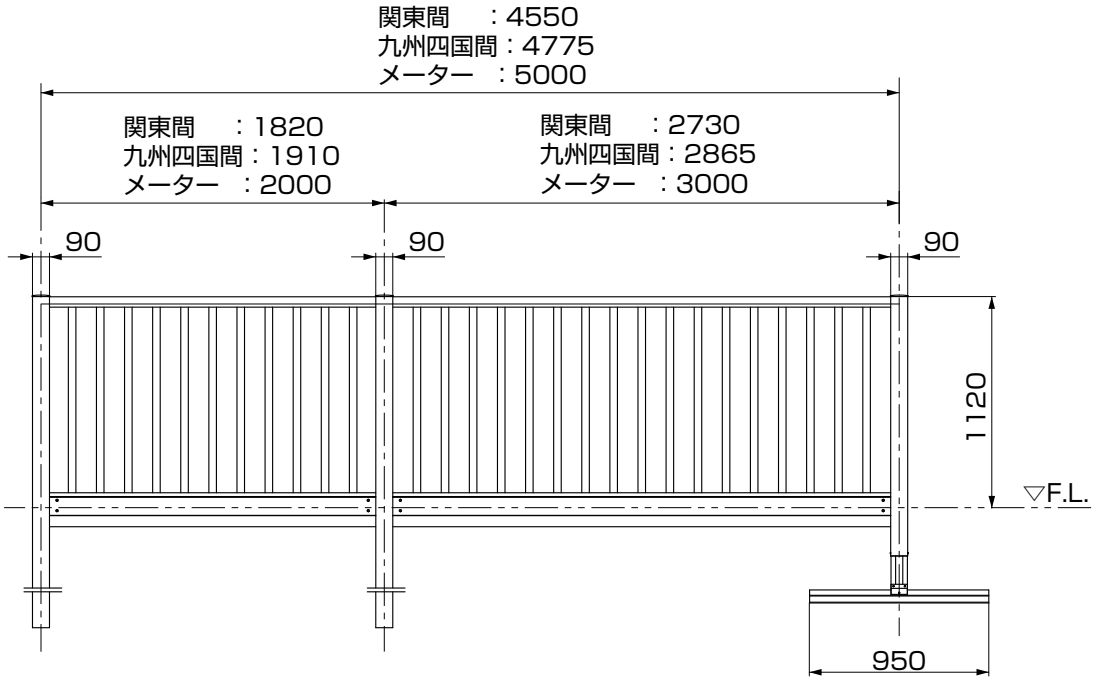
※2.0間９尺及び2.5間9尺の基礎を300×300×300
にしないでください。

2 基本寸法

●標準



単体1.0間～2.5間



連結2.5間

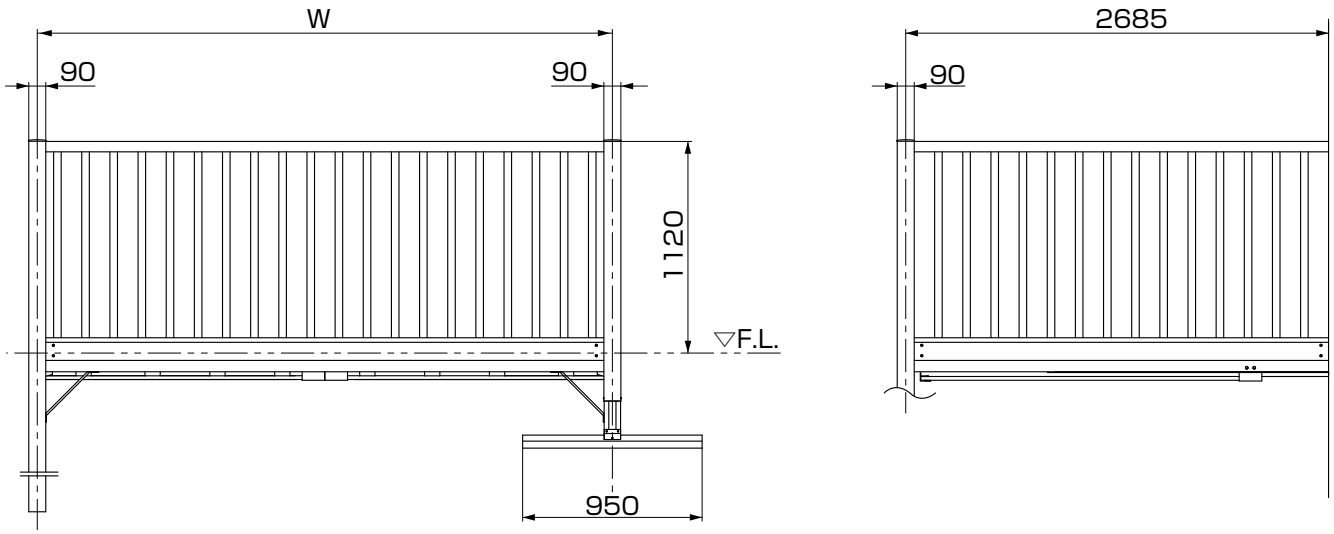
W寸法表

	1.0間／2M	1.5間／3M	2.0間／4M	2.5間通し
関東間	1820	2730	3640	4550
九州四国間	1910	2865	3820	−
メーター	2000	3000	4000	−

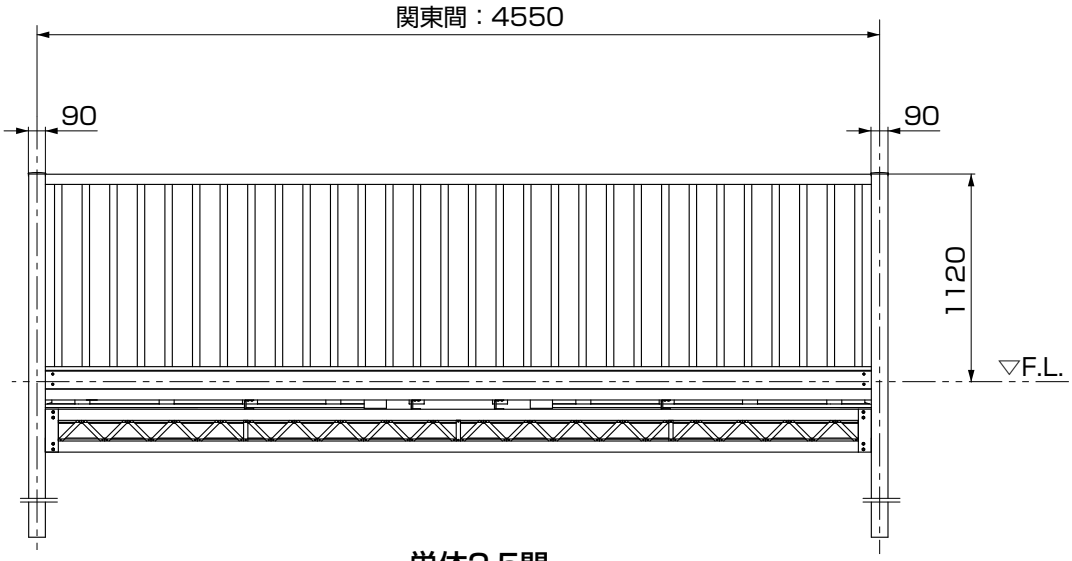
D寸法表

2尺	3尺	4尺	5尺	6尺
585	885	1185	1485	1785

●9尺

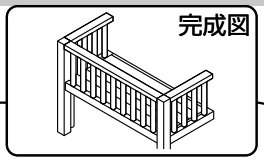


単体1.0間～2.0間



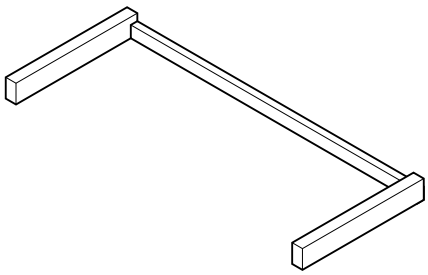
単体2.5間

3 施工の流れ

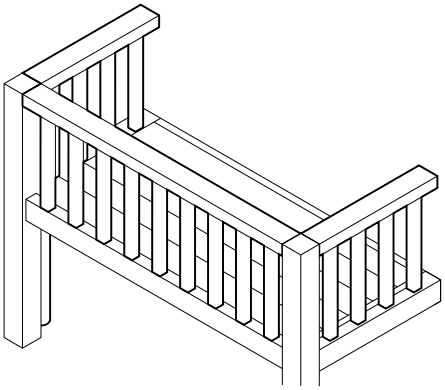


標準の場合

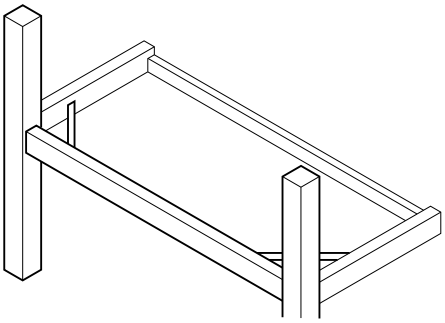
柱の組立て……P.17
根太掛け、妻梁、連結根太の取付け……P.18



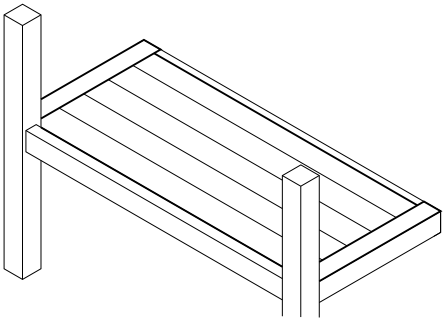
笠木、面材の取付け（縦太格子面材の場合）…P.28
雨樋の取付け……P.30



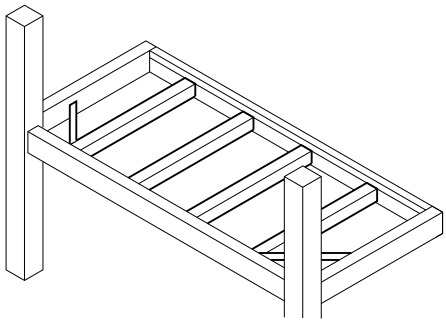
柱、前桁、火打ちの取付け……P.20



床材の取付け（デッキボードの場合）……P.24
妻梁カバーの取付け……P.26



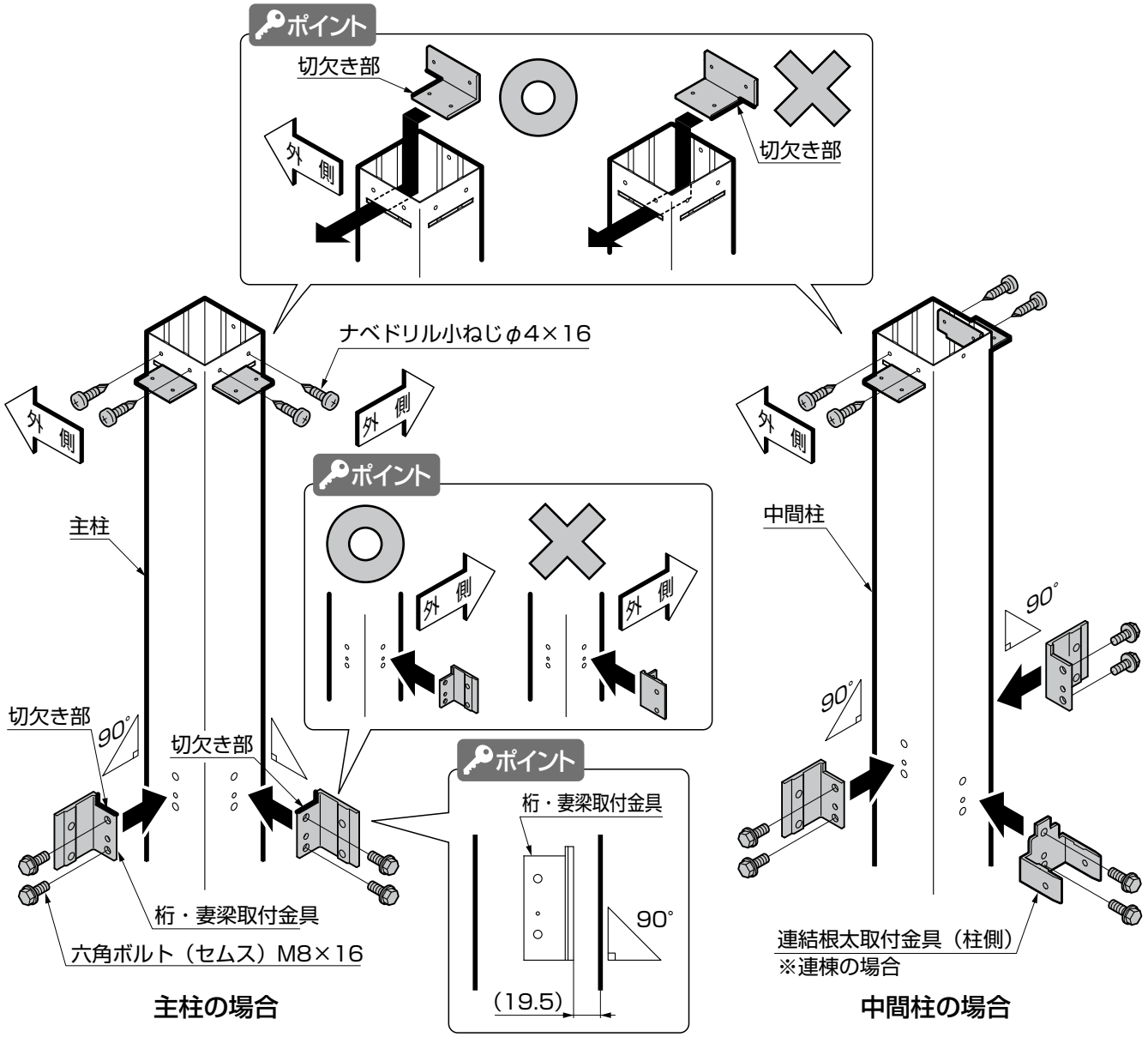
柱、根太、根太掛けカバーの取付け……P.20



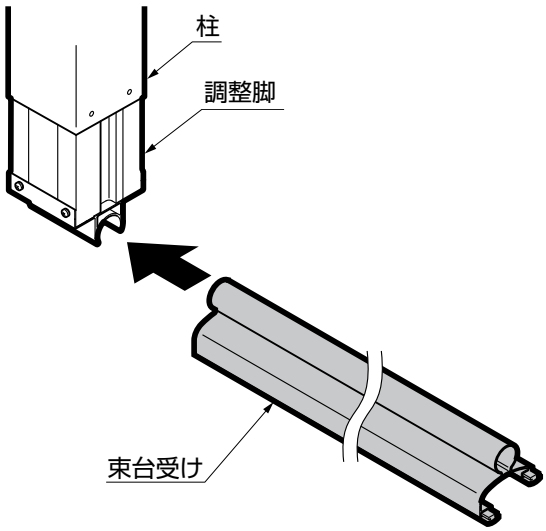
4 本体の施工

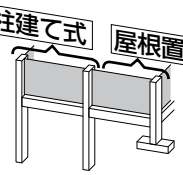
1 柱の組立て

●柱建て式の場合



●屋根置き式の場合



※図は 

で示します。

2 根太掛け、妻梁、連結根太の取付け

⚠ 警 告

●タッピンねじは、柱、間柱、胴差し等の構造材に必ず、止めてください。製品落下及び転落のおそれがあります。
●躯体にφ4.3の下穴をあけ、シーリングを充てんしてください。水漏れの原因になることがあります。

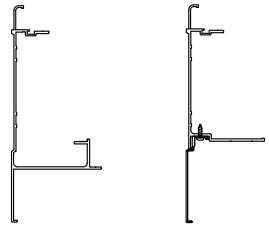
ポイント

●指定の個所には、必ずシーリングをしてください。水漏れの原因になることがあります。

1 根太掛けの取付け ⇨ 2 妻梁の取付け ⇨ 3 連結根太の取付け
◯連棟の場合

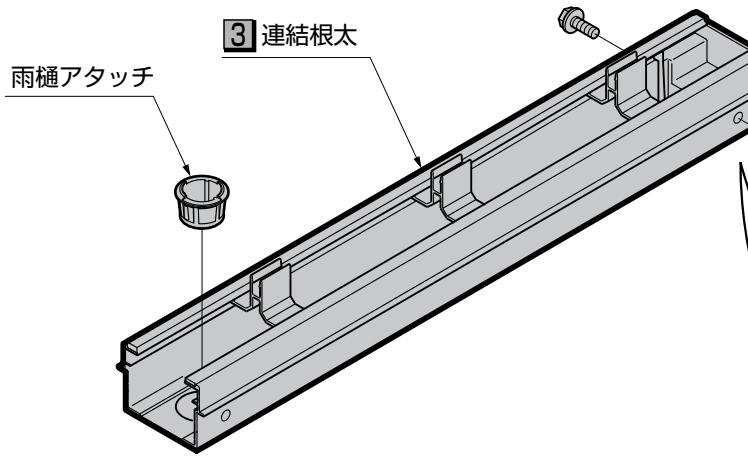
補 足

◯柱建て式 ◯屋根置き式



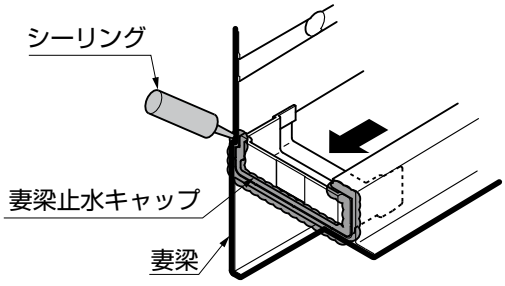
●妻梁には柱建て式用と屋根置き式用があり、形状が異なります。

ポイント

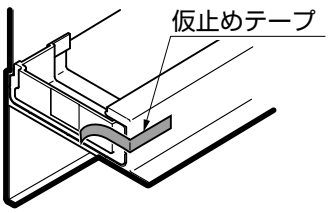


ポイント

2 妻梁の取付け
※屋根置き式の場合はキャップが取付かないため不要です。

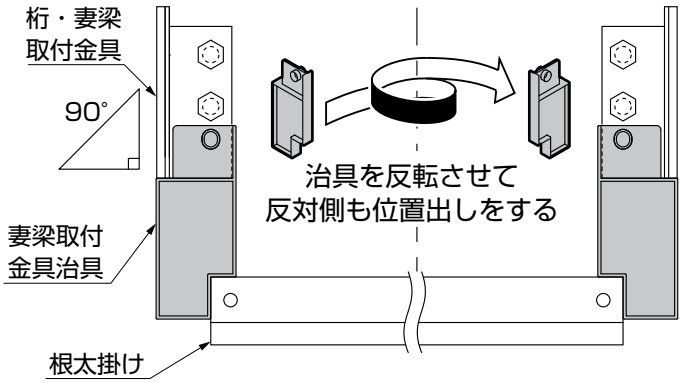


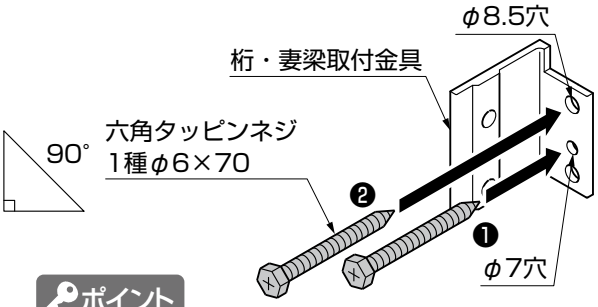
●妻梁止水キャップは形材断面のツラと合わせてください。



●仮止めテープがある場合には剥がしてください。

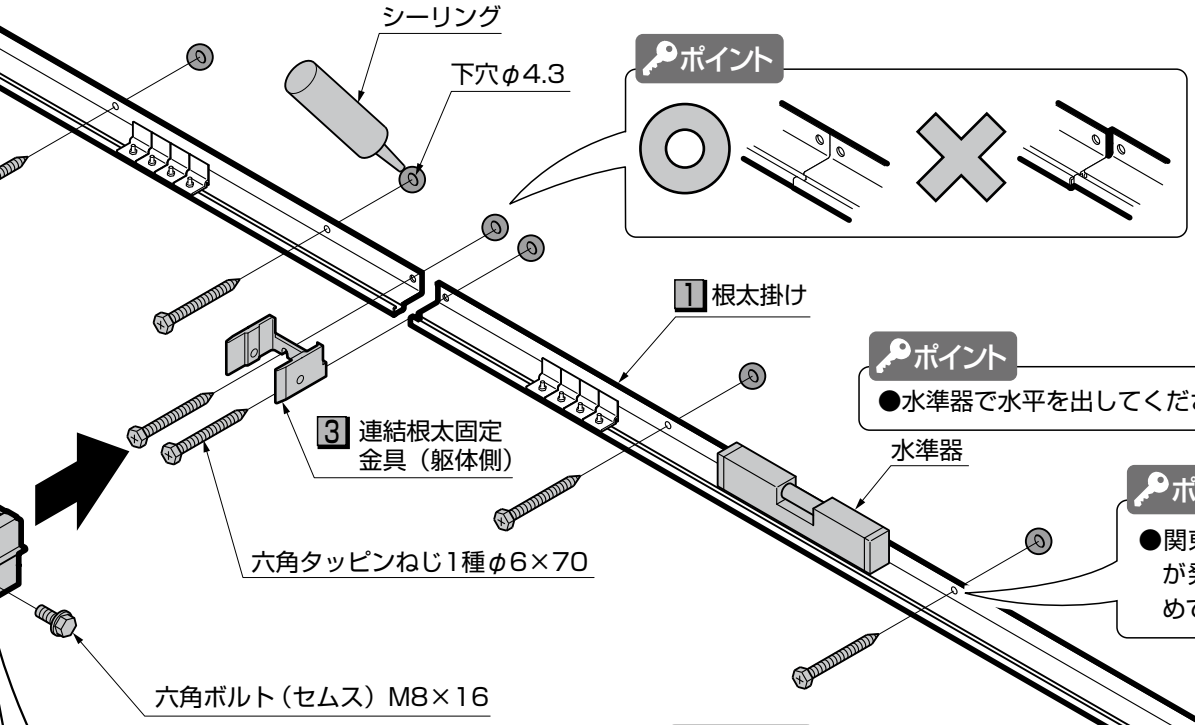
2 妻梁の取付け





ポイント

●桁・妻梁取付金具の取付けは根太掛けに妻梁取付治具をあてがい、位置出をしてφ7穴の方を先に取付けてください。



ポイント

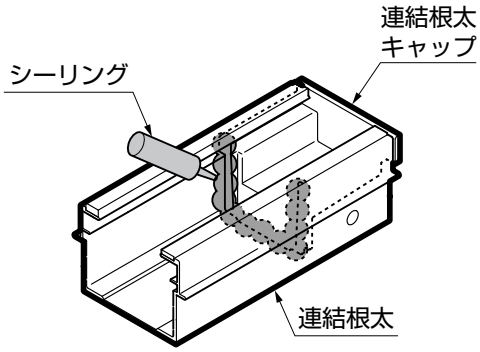
ポイント

●水準器で水平を出してください。

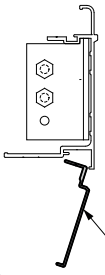
ポイント

●関東間以外は穴加工（φ7）が発生します。構造材に止めてください。

3 連結根太の取付け
※屋根置き式の場合はキャップが取付かないため不要です。



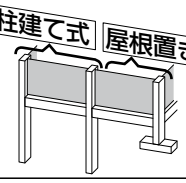
補 足



●妻梁アタッチは取外して切断することができます。

妻梁アタッチ

MAM-88_201304
M014_201304A

※図は 

で示します。

3 柱、前桁、火打ちの取付け

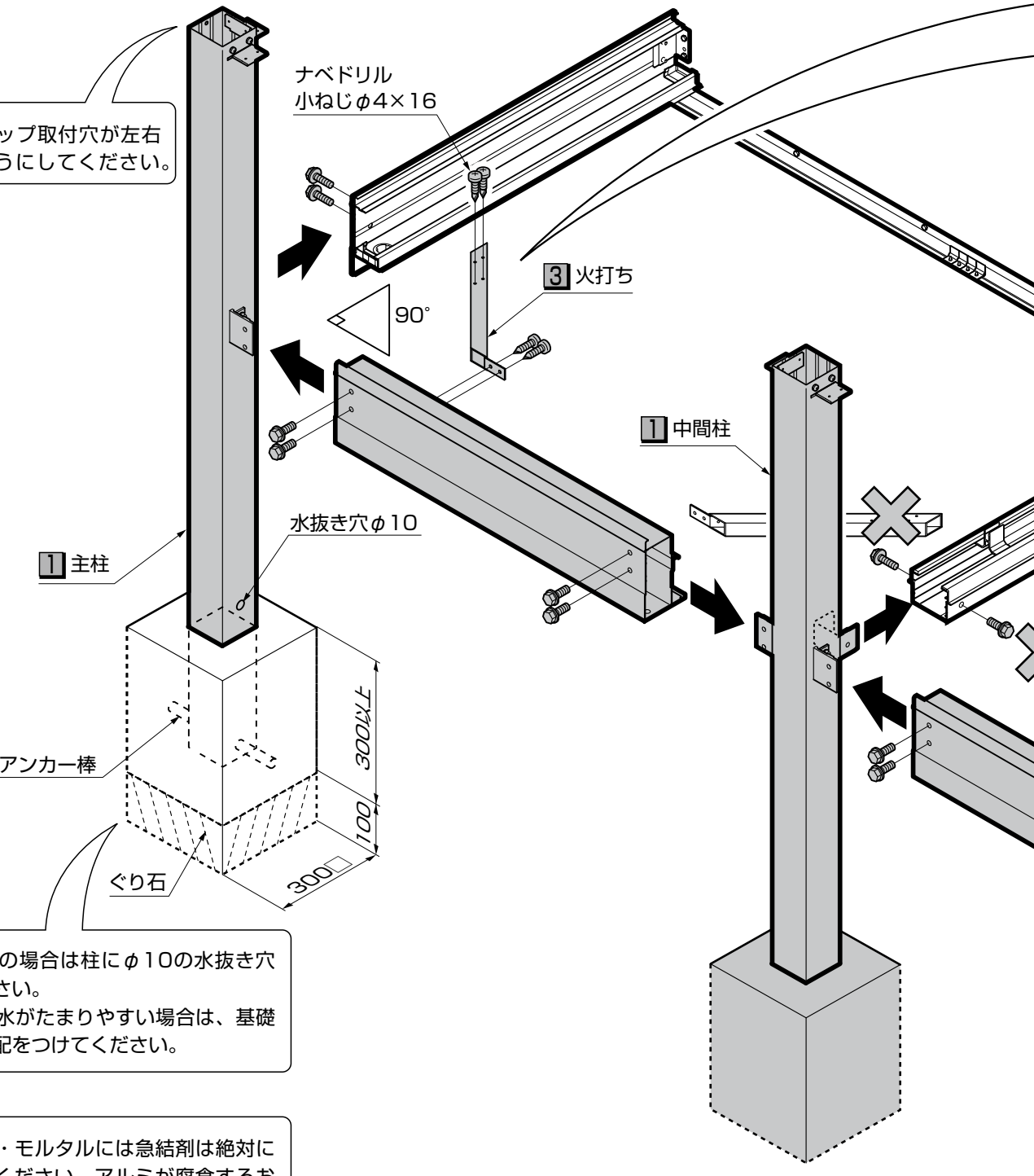
ポイント

●指定の個所にシーリング材を充てんしてください。水漏れの原因になることがあります。

1 柱の取付け ⇨ 2 前桁の取付け ⇨ 3 火打ちの取付け

注 意

●主柱は柱キャップ取付穴が左右外側に向くようにしてください。



ポイント

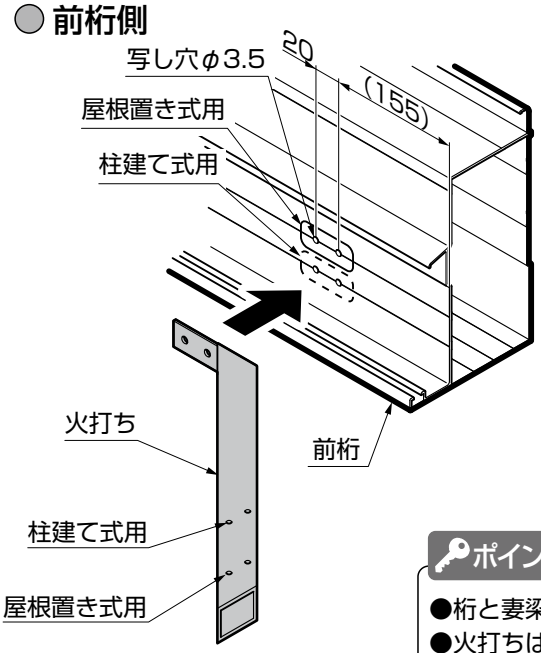
●柱建て納まりの場合は柱にφ10の水抜き穴をあけてください。
●土など基礎に水がたまりやすい場合は、基礎自体に水こう配をつけてください。

注 意

●コンクリート・モルタルには急結剤は絶対に使用しないでください。アルミが腐食するおそれがあります。
●海砂は水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。

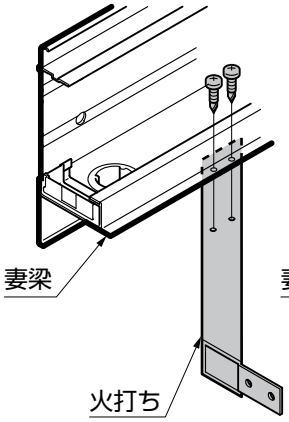
3 火打ちの取付け

○ 前桁側

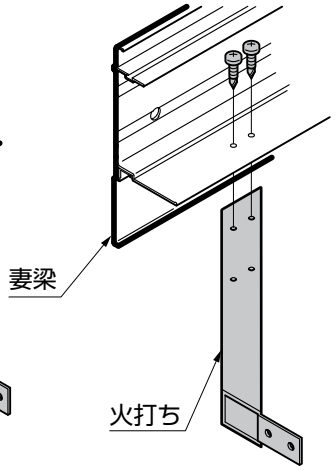


○ 妻梁側

柱建て式の場合

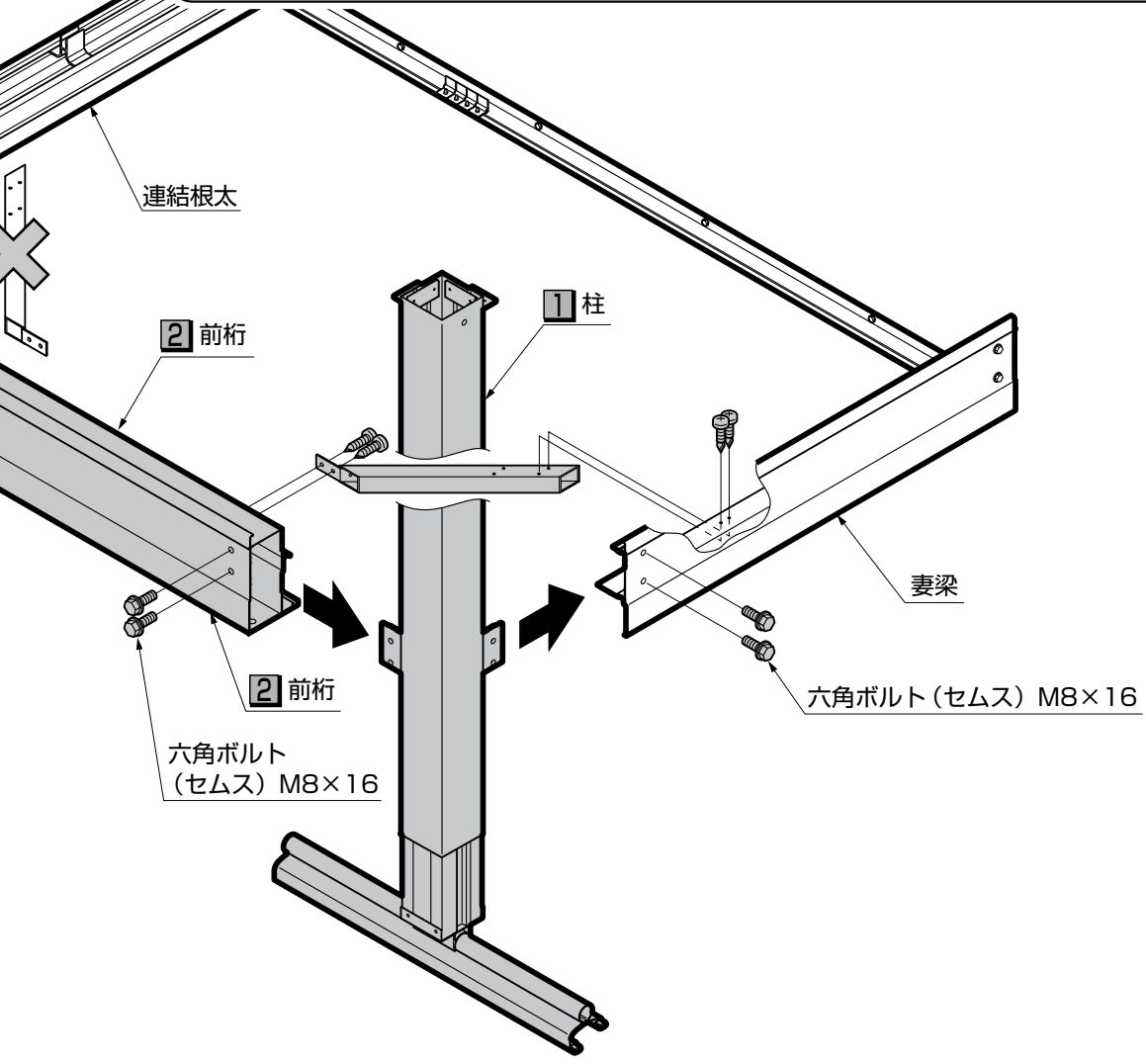


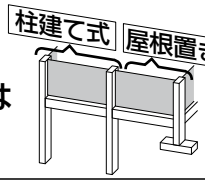
屋根置き式の場合



ポイント

●桁と妻梁の直角を出した後、火打ちを取付けます。
●火打ちは「柱建て式」、「屋根置き式」で取付ける位置が変わります。



※図は 

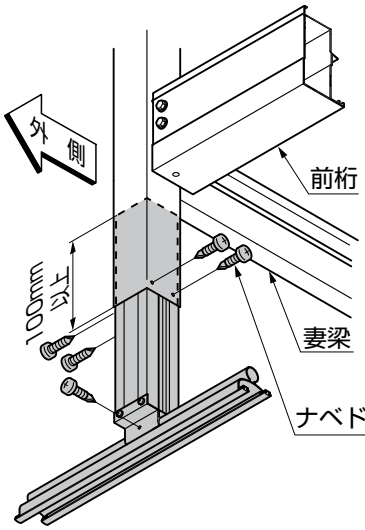
で示します。

4 柱、根太、根太掛けカバーの取付け

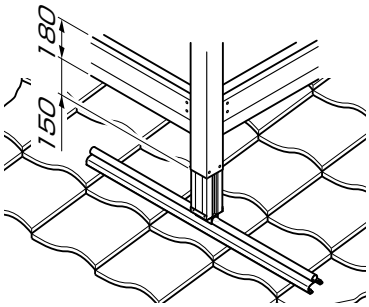
ポイント
- ●前桁側に水を流す構造となっております。全体を前下がりにしてください。（1/100程度）
- ●指定の個所にシーリング材を充てんしてください。

1 柱の固定 ⇨ 2 筋交いの取付け
●長尺調整脚使用の場合
⇨ 3 根太の取付け ⇨ 4 根太掛けカバーの取付け
●柱建て式の場合

1 柱の固定
●屋根置き式の場合

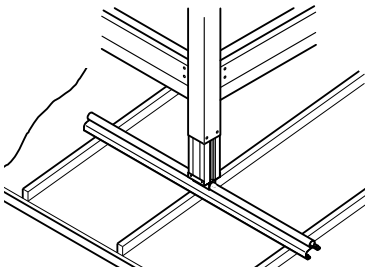


ポイント
- ●調整脚の柱へののみ込みは、100mm以上にしてください。



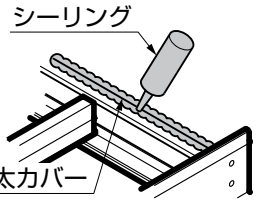
瓦屋根の場合

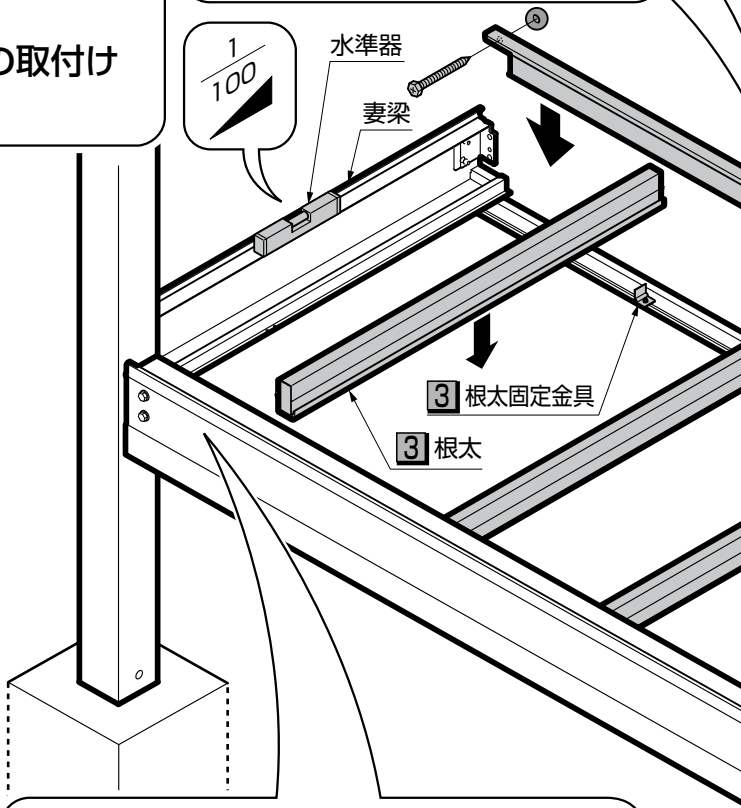
ポイント
- ●瓦の山に3山以上のるように、つか台受けを置いてください。瓦の谷の部分は割れやすいので、足で踏んだり、荷重をかけたりしないでください。


瓦棒屋根の場合

ポイント
- ●つかは瓦棒の上にのるようにし、つか台受けは、瓦棒3本以上にまたがるようにします。

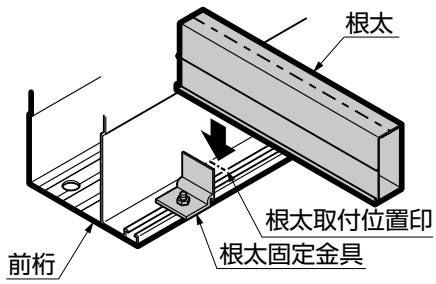
4 根太掛けカバーの取付け
●柱建て式の場合

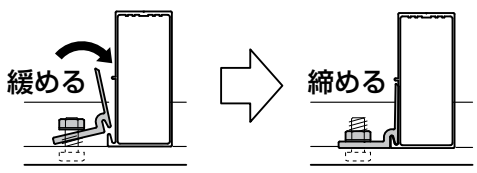




3 根太の取付け

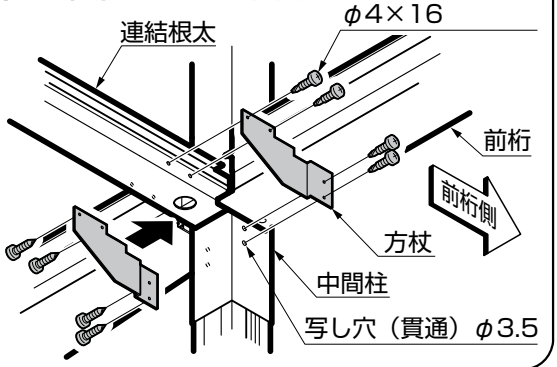
ポイント
- ●根太は、前桁と根太掛けに均等にかかるように取付けてください。
- ●根太は全て同じ向きで取付けてください。
- ●根太を根太取付位置印にあわせて取付けてください。





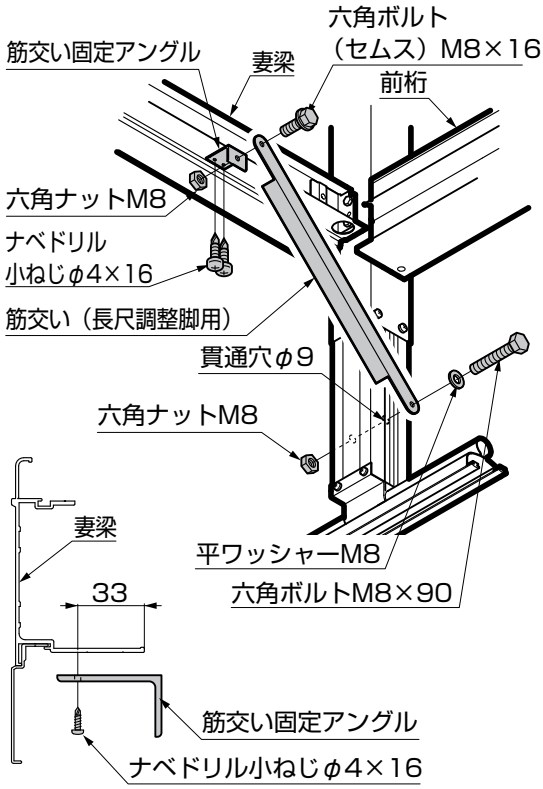
1 柱の固定

○屋根置き式の場合



2 筋交いの取付け

○屋根置き式長尺調整脚使用の場合



補 足

●躯体の凸凹が大きい場合、中央付近の根太をナベドリル小ねじφ4×16で止めてください。

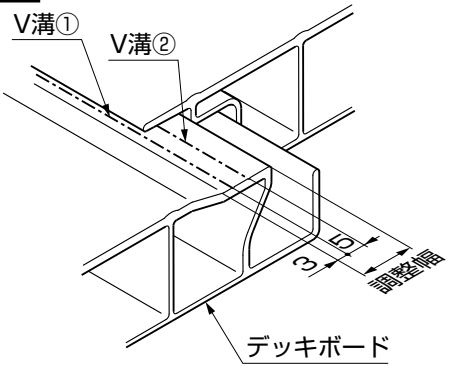
MAM-88_201304
M014_201304A

5 床材の取付け

1 床材の取付け

1 デッキボードの取付け ⇨ 2 デッキ材カバーの取付け

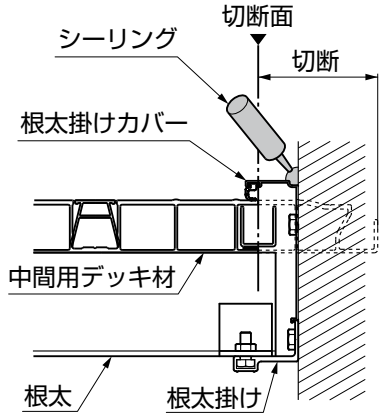
1 デッキボードの取付け



ポイント

- 調整幅にある2ヶ所のV溝を目安に幅調整してください。
- V溝②の線を越えないようにしてください。

○切詰めが必要な場合（柱建て式）



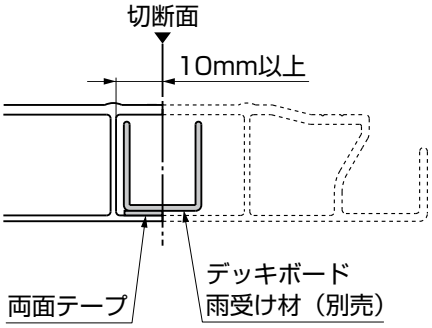


図5-1　切断部詳細図

●デッキボードの組立て

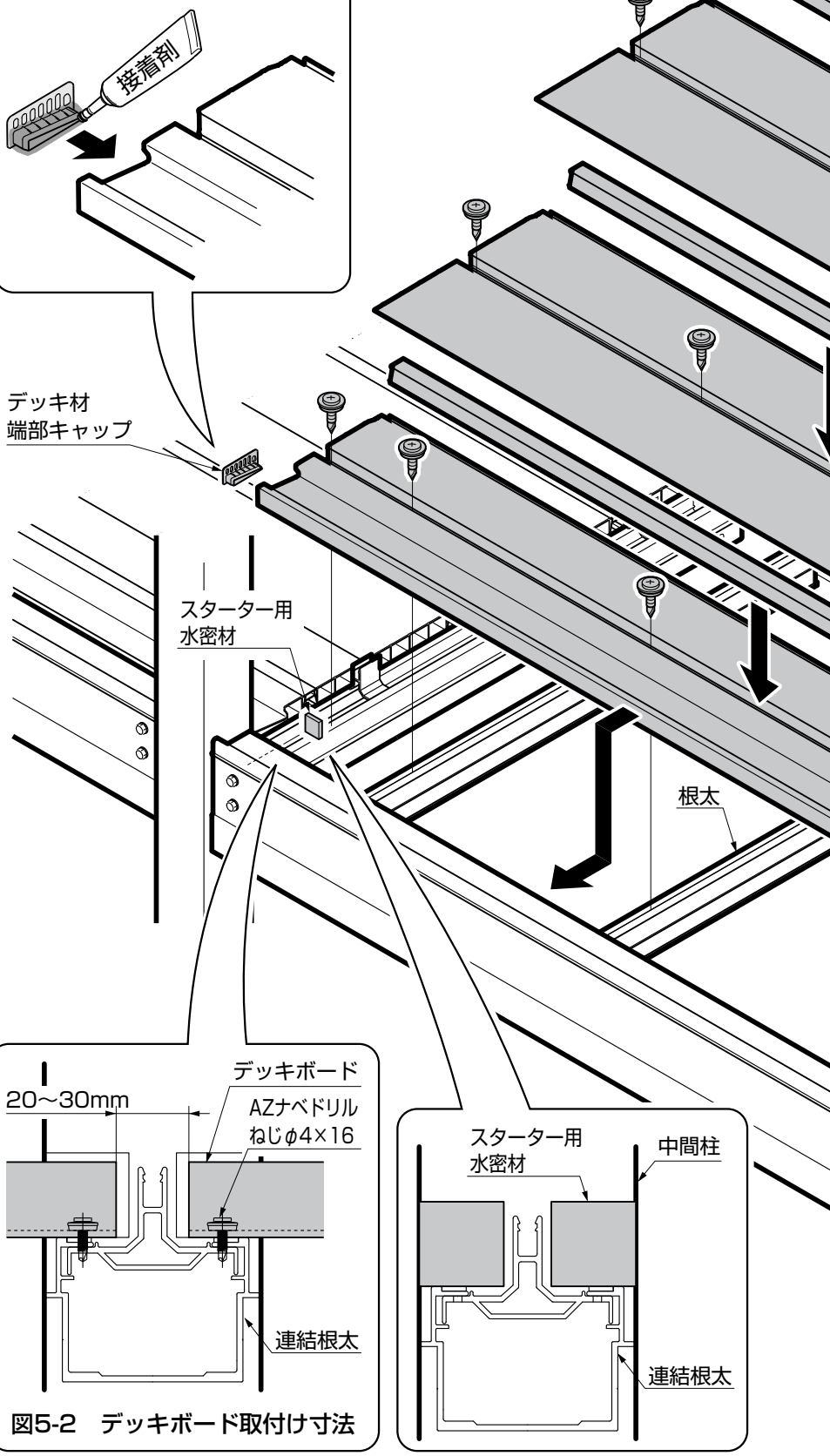
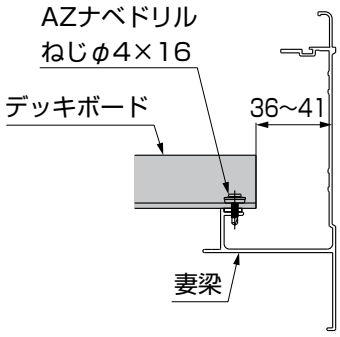


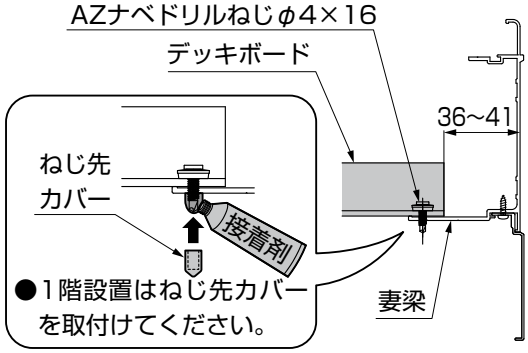
図5-2　デッキボード取付け寸法

2 デッキボードの取付け

○柱建て式



○屋根置き式



ポイント

●デッキボードは左右均等に取付けてください。

MAM-88_201304
M014_201304A

2 妻梁カバーの取付け

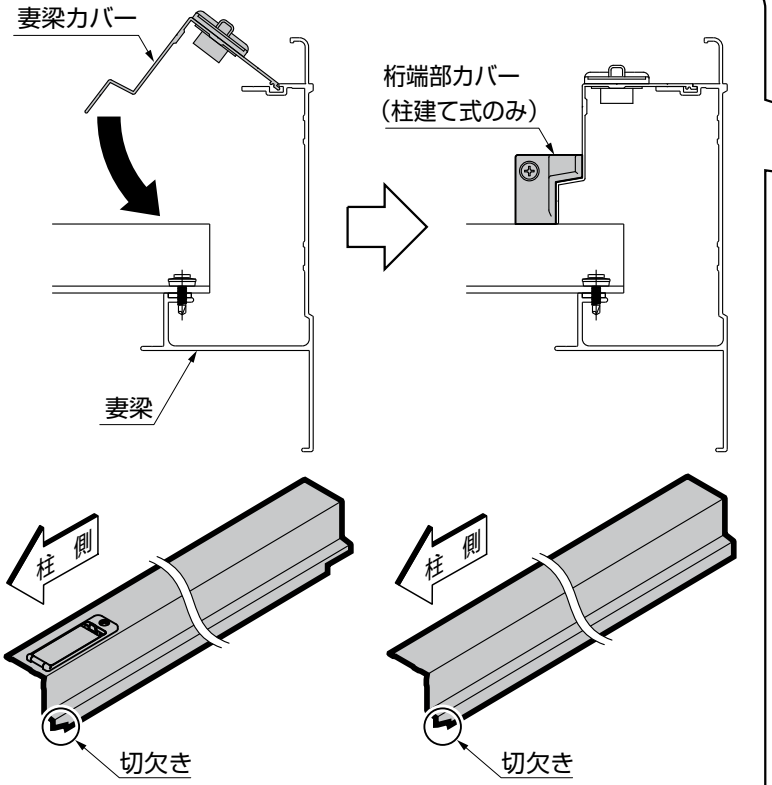
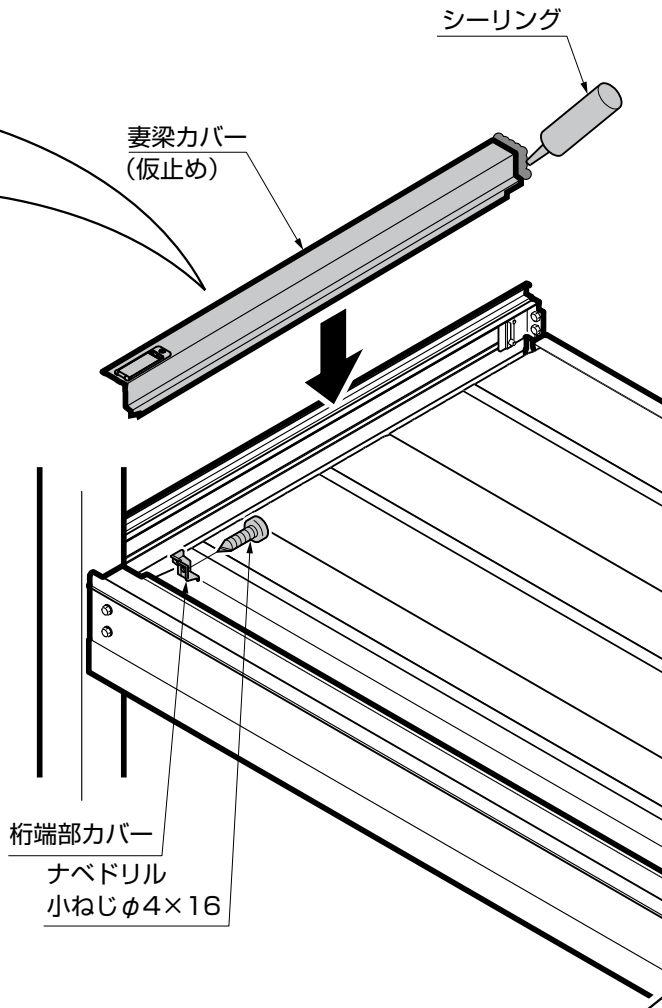


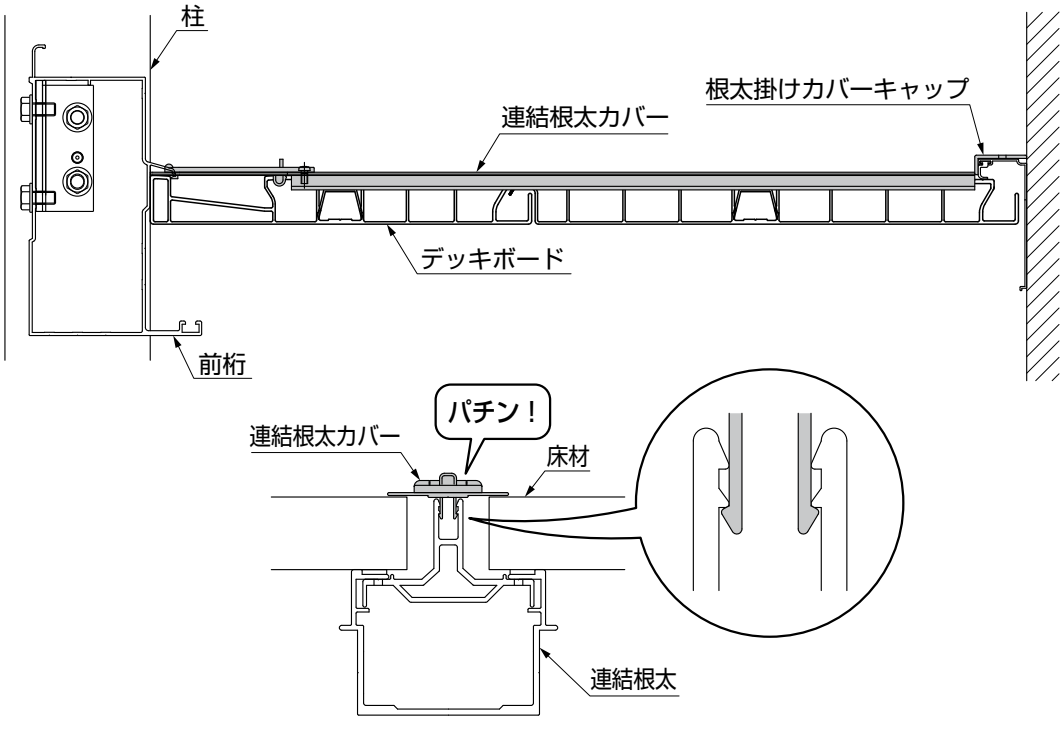
図5-3　柱建て式の場合　　図5-4　屋根置き式の場合

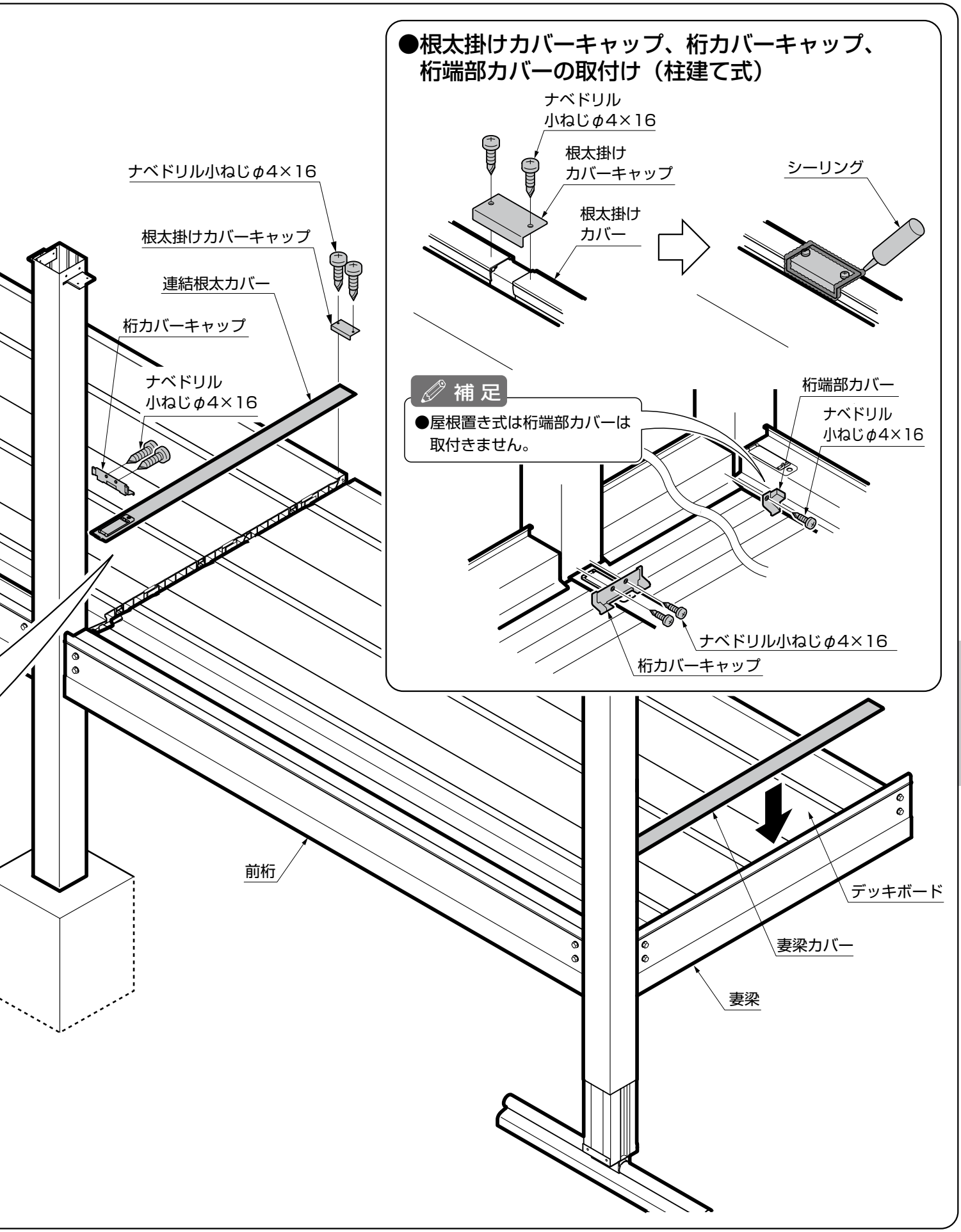
ポイント

●妻梁カバーの先端を柱に突き当てて、仮置きしてください。



●連棟の場合





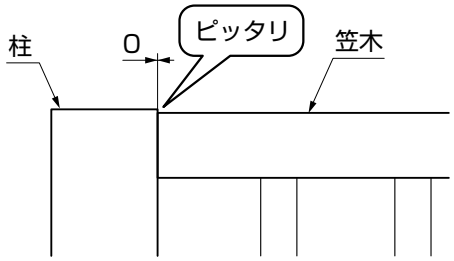
MAM-88_201304
M014_201304A

6 面材の取付け

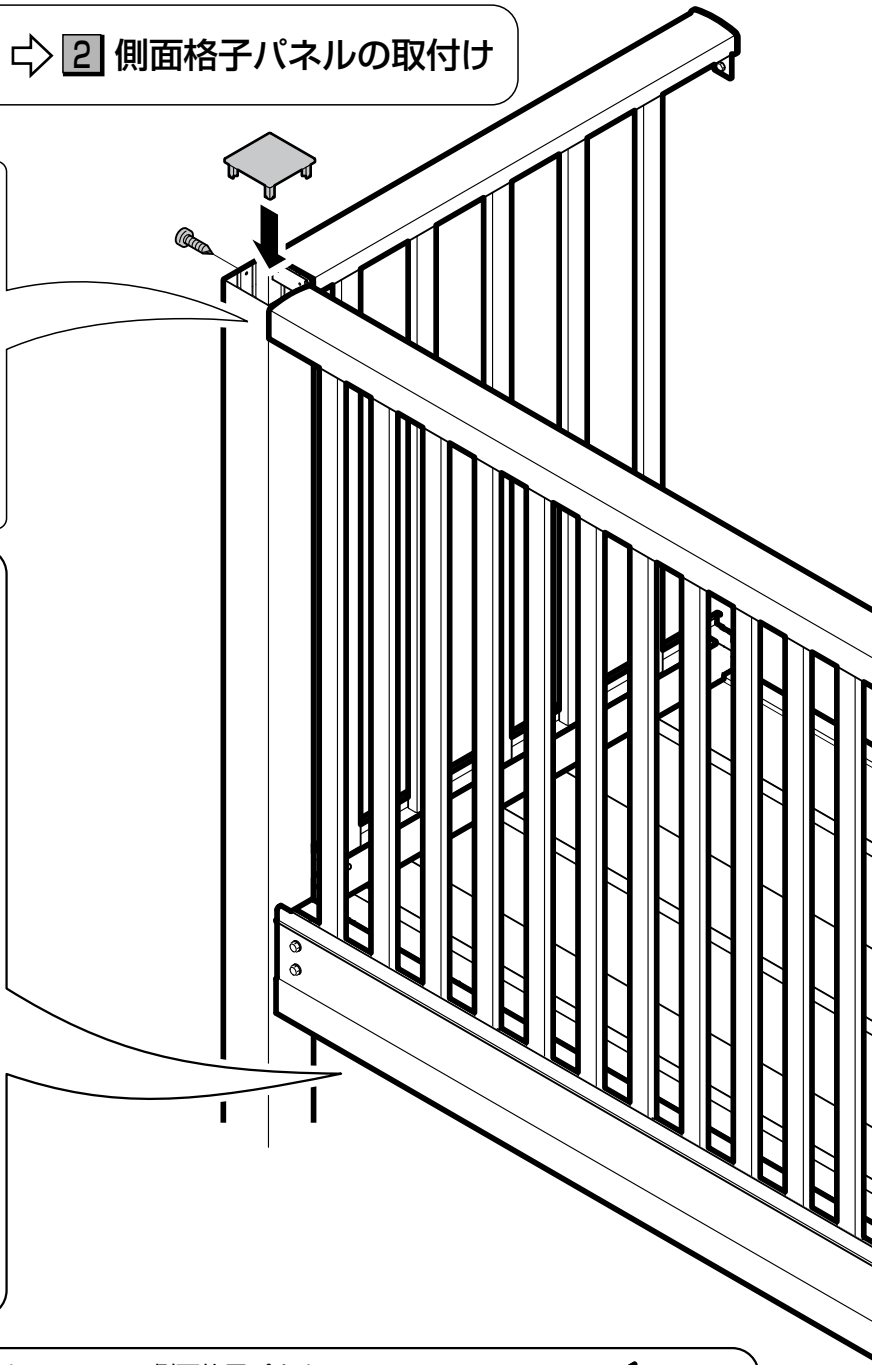
1 縦太格子面材の場合

1 前笠木・前面格子パネルの取付け ⇨ 2 側面格子パネルの取付け

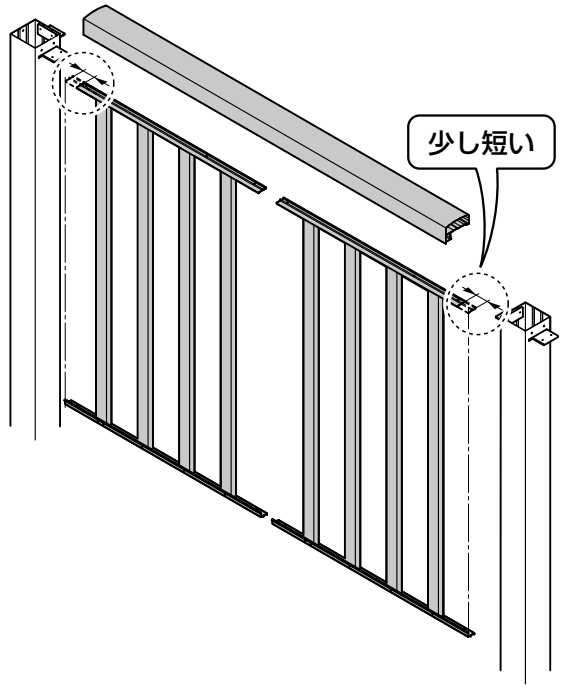
ポイント



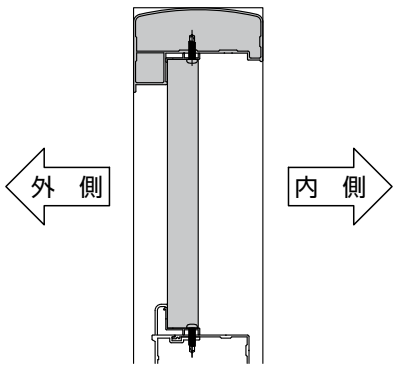
●笠木を取付ける際、柱と笠木の間に隙間をあけないように取付けてください。

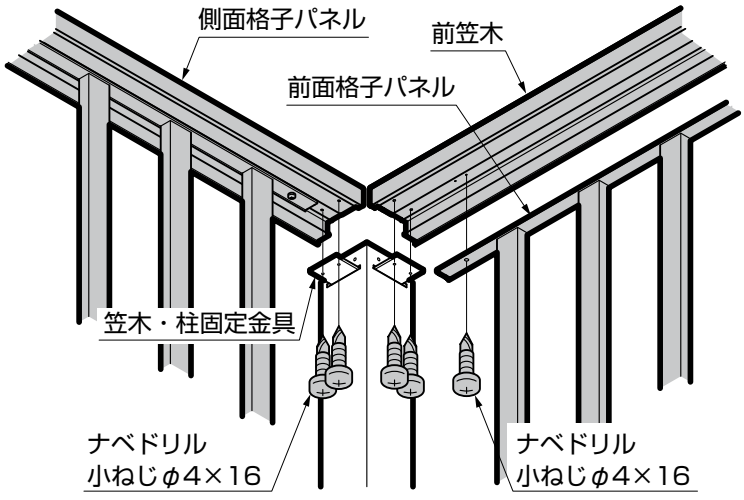


1 間口が2.0間、2.5間通し4000の場合

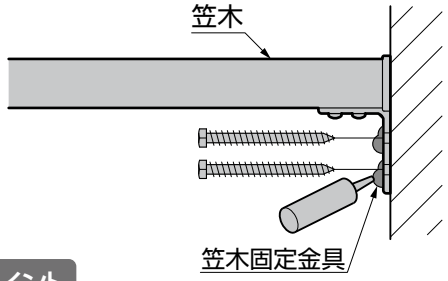


1 前面格子パネルの取付け
2 側面格子パネルの取付け





2 側面格子パネルの取付け

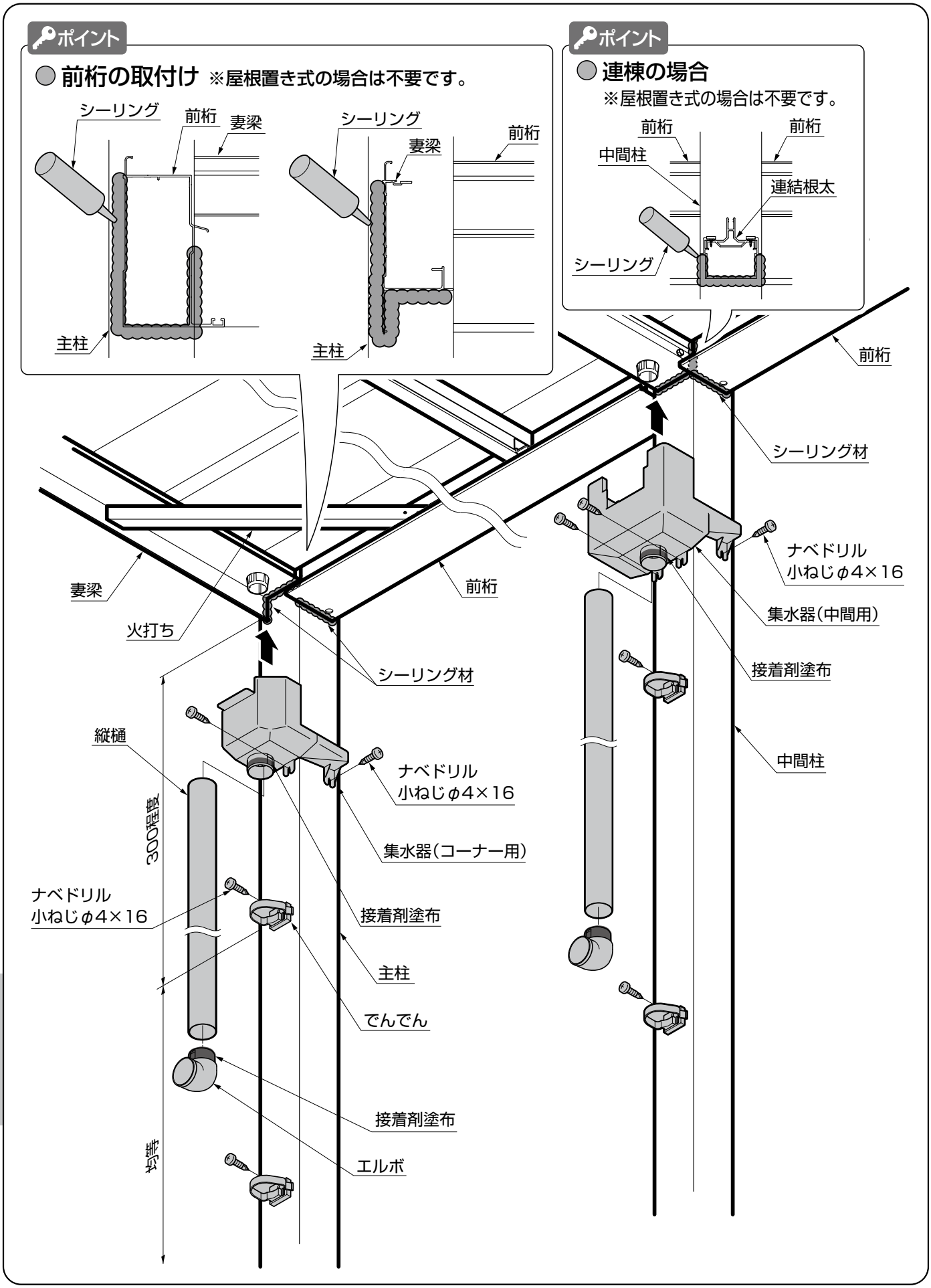


ポイント

- ●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。
- ●笠木固定金具は垂直になるように取付けてください。

MAM-88_201304
M014_201304A

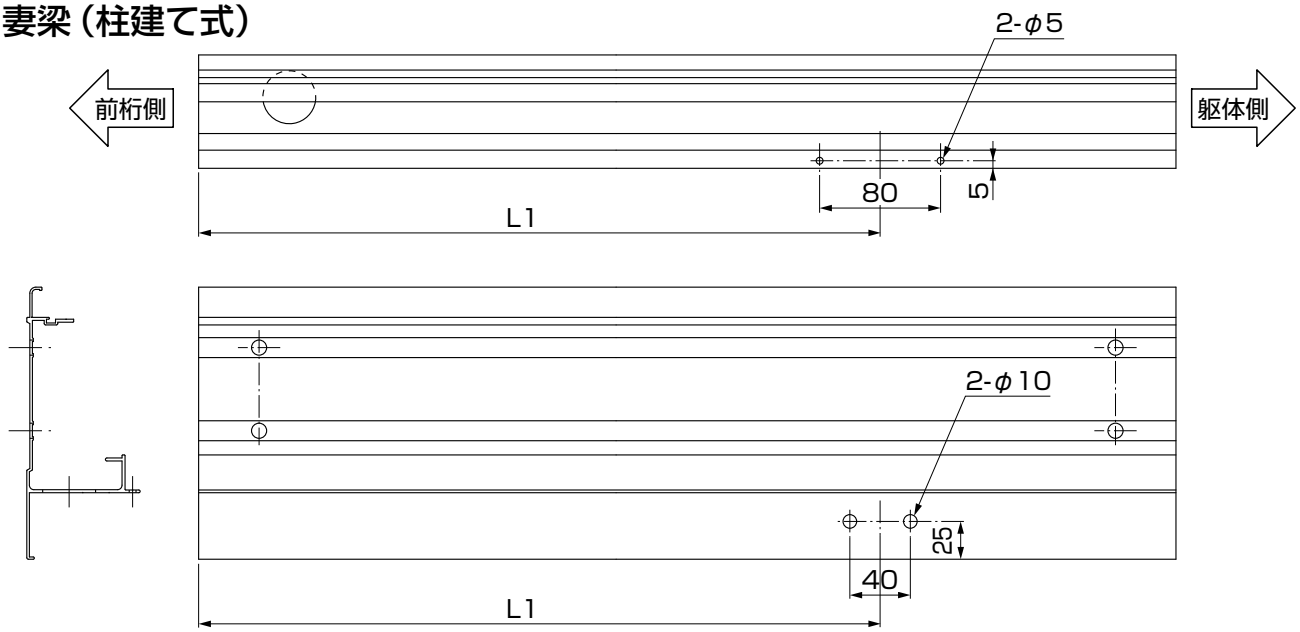
7 雨樋の取付け


ポイント
前桁の取付け ※屋根置き式の場合は不要です。
シーリング
前桁
妻梁
主柱
シーリング
妻梁
前桁
主柱
ポイント
連棟の場合
※屋根置き式の場合は不要です。
前桁
前桁
中間柱
連結根太
シーリング
前桁
シーリング材
ナベドリル
小ねじφ4×16
集水器(中間用)
接着剤塗布
中間柱
妻梁
火打ち
前桁
シーリング材
縦樋
ナベドリル
小ねじφ4×16
集水器(コーナー用)
300程度
ナベドリル
小ねじφ4×16
接着剤塗布
主柱
でんでん
接着剤塗布
エルボ
軒先

8 9尺の取付け

1 部材の加工 ※加工図は内観右用を示しております。左用は対象になります。

●妻梁（柱建て式）



●妻梁（屋根置き式）

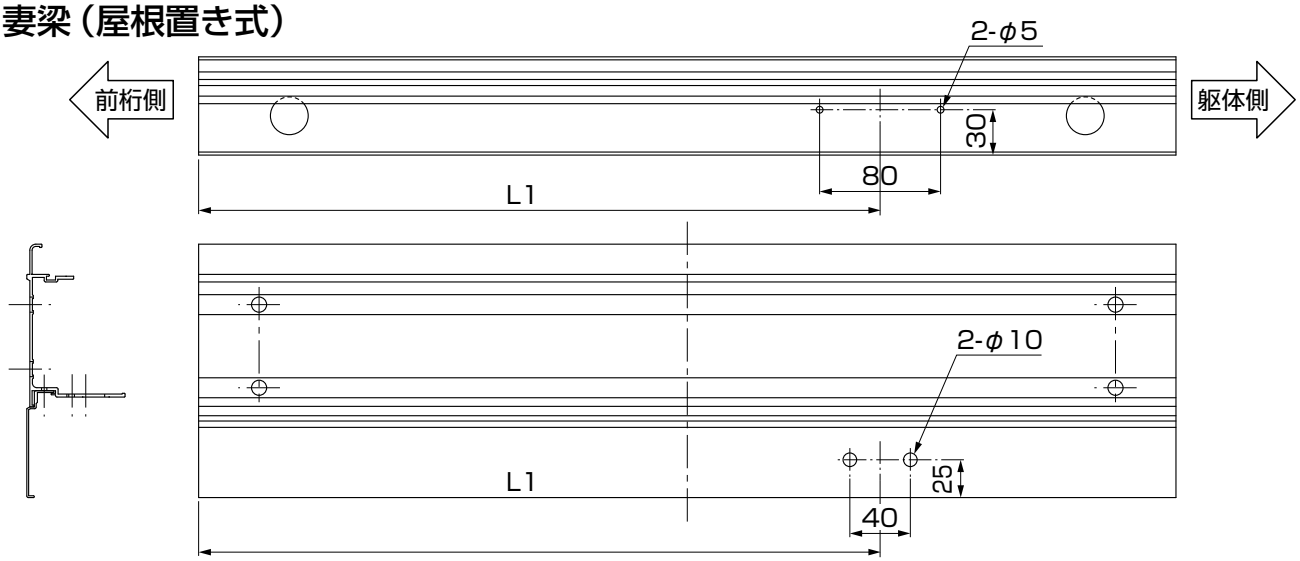


表8-1　L1寸法

	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間
関東間	890	1350	1770	1770
九州四国間	935	1415	1580	−
メーター	980	1480	1690	−

●9尺用火打ち

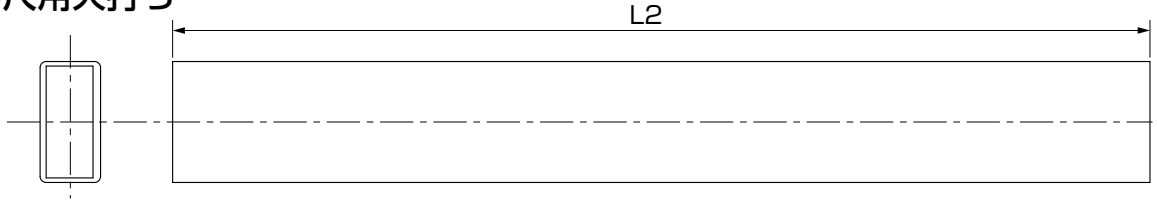
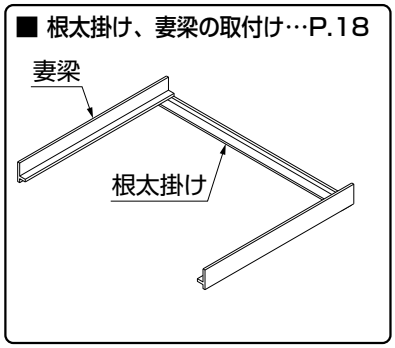
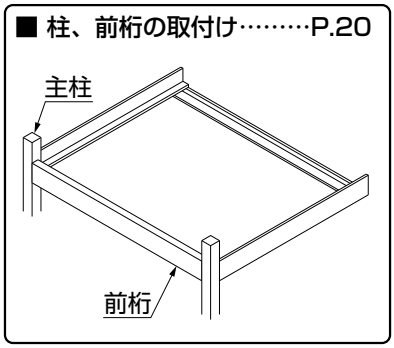


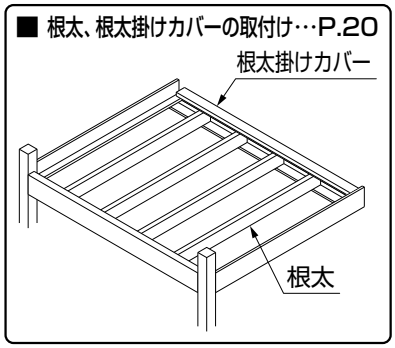
表8-2　L2寸法

	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間
関東間	1255	1870	2470（切断不要）	2470（切断不要）
九州四国間	1295	1970	2210	−
メーター	1360	2065	2360	−

■柱の組立て……P.17

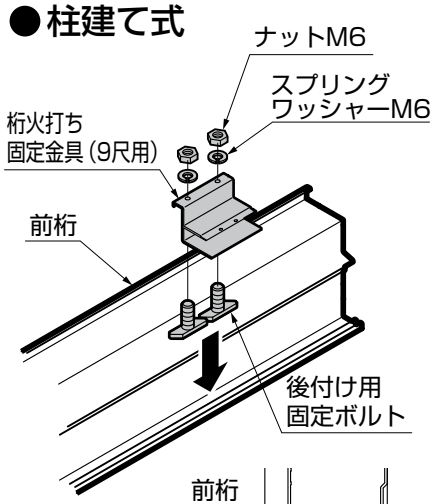


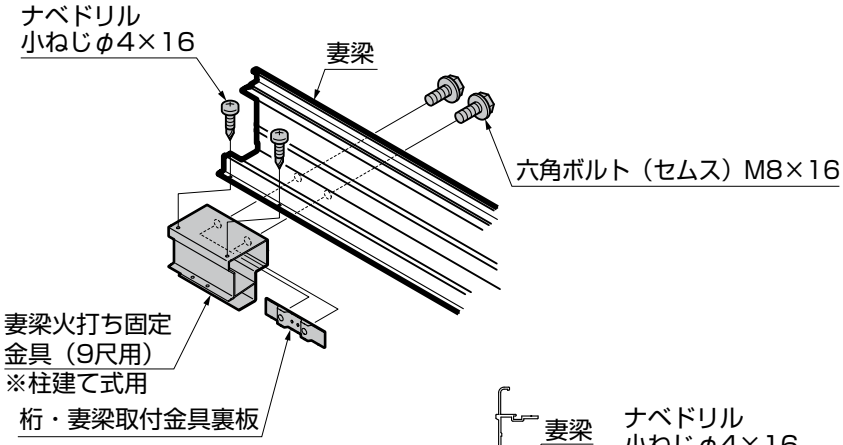


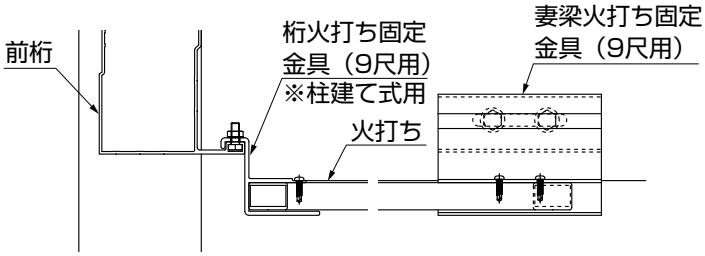


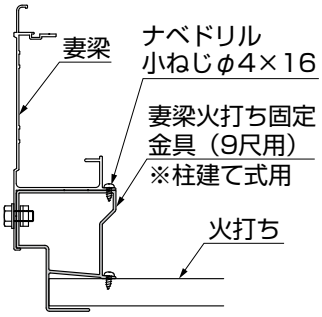
3 火打ちの取付け

●柱建て式

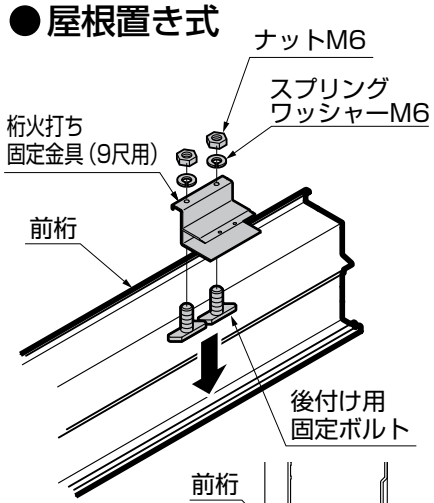


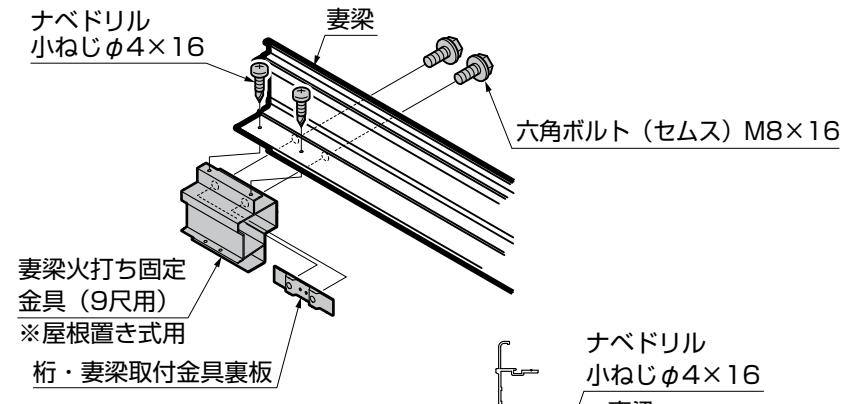


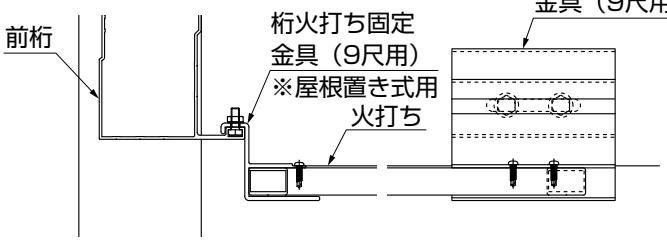


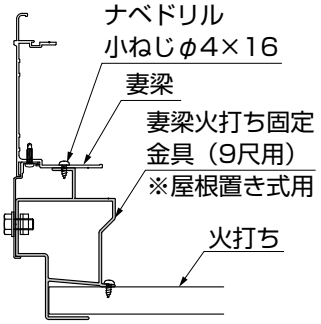


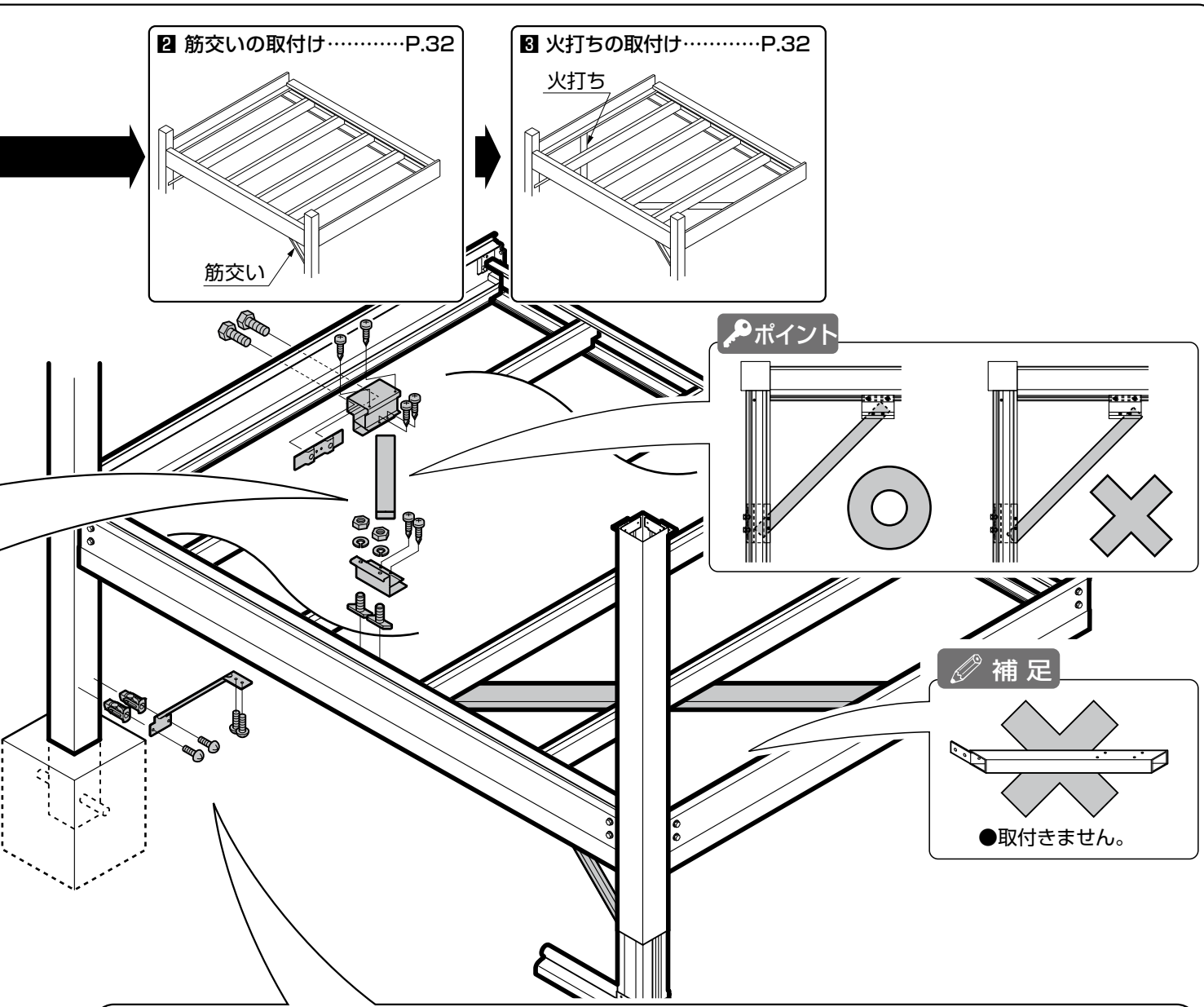
●屋根置き式



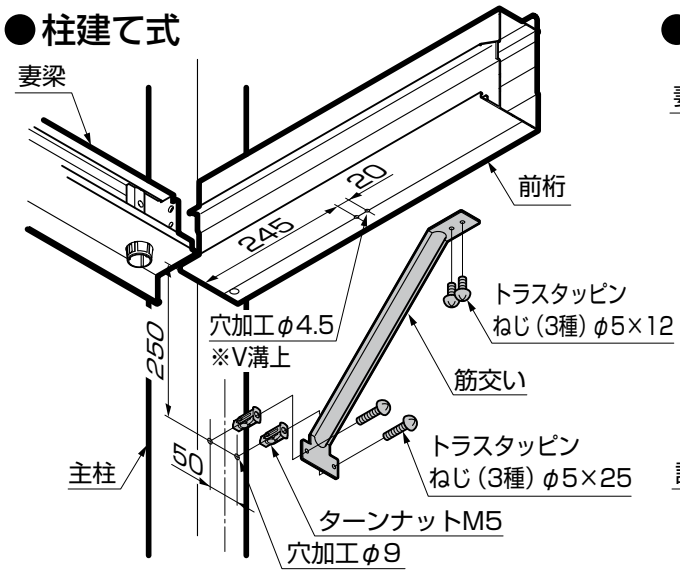


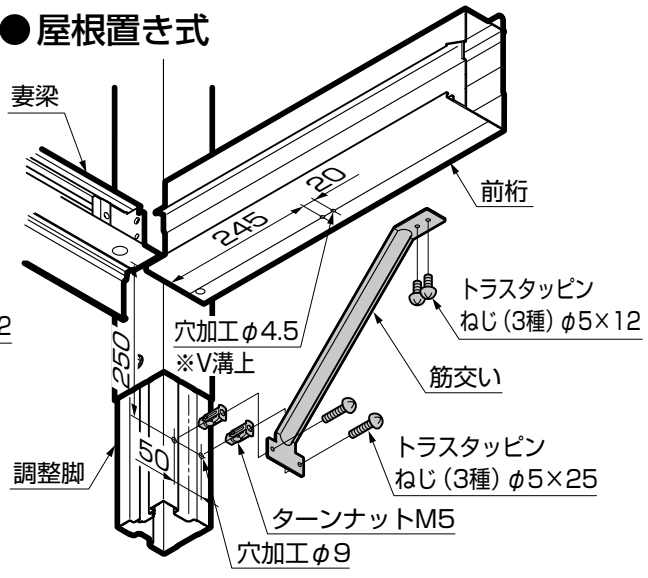






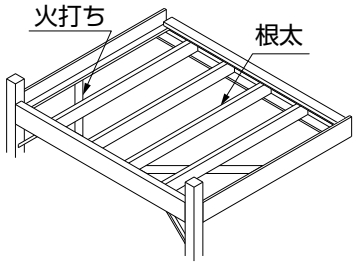
2 筋交いの取付け



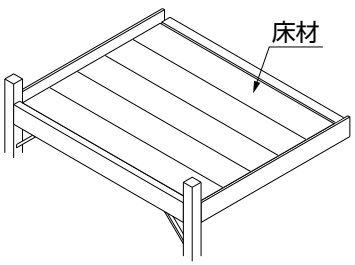


MAM-88_201304
M014_201304A

4 根太と火打ちの取付け…P.20、32

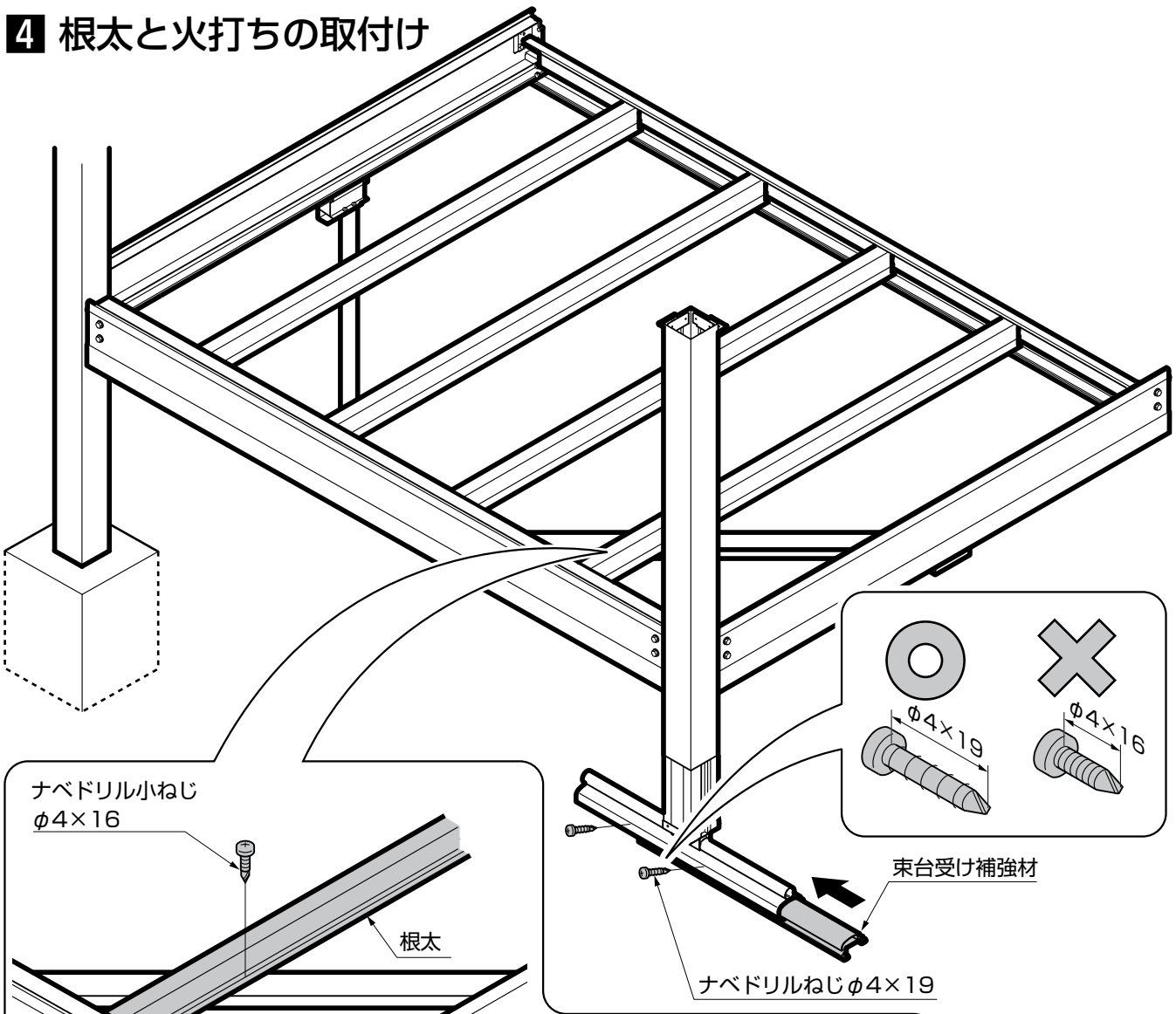


■ 床材の取付け……P.24



■妻梁カバーの取付け…P.26
■縦太格子面材の取付け…P.28
■雨樋の取付け……P.30

4 根太と火打ちの取付け



5 2次元トラスの取付け　※2.5間9尺、柱建て式の場合の作業です。

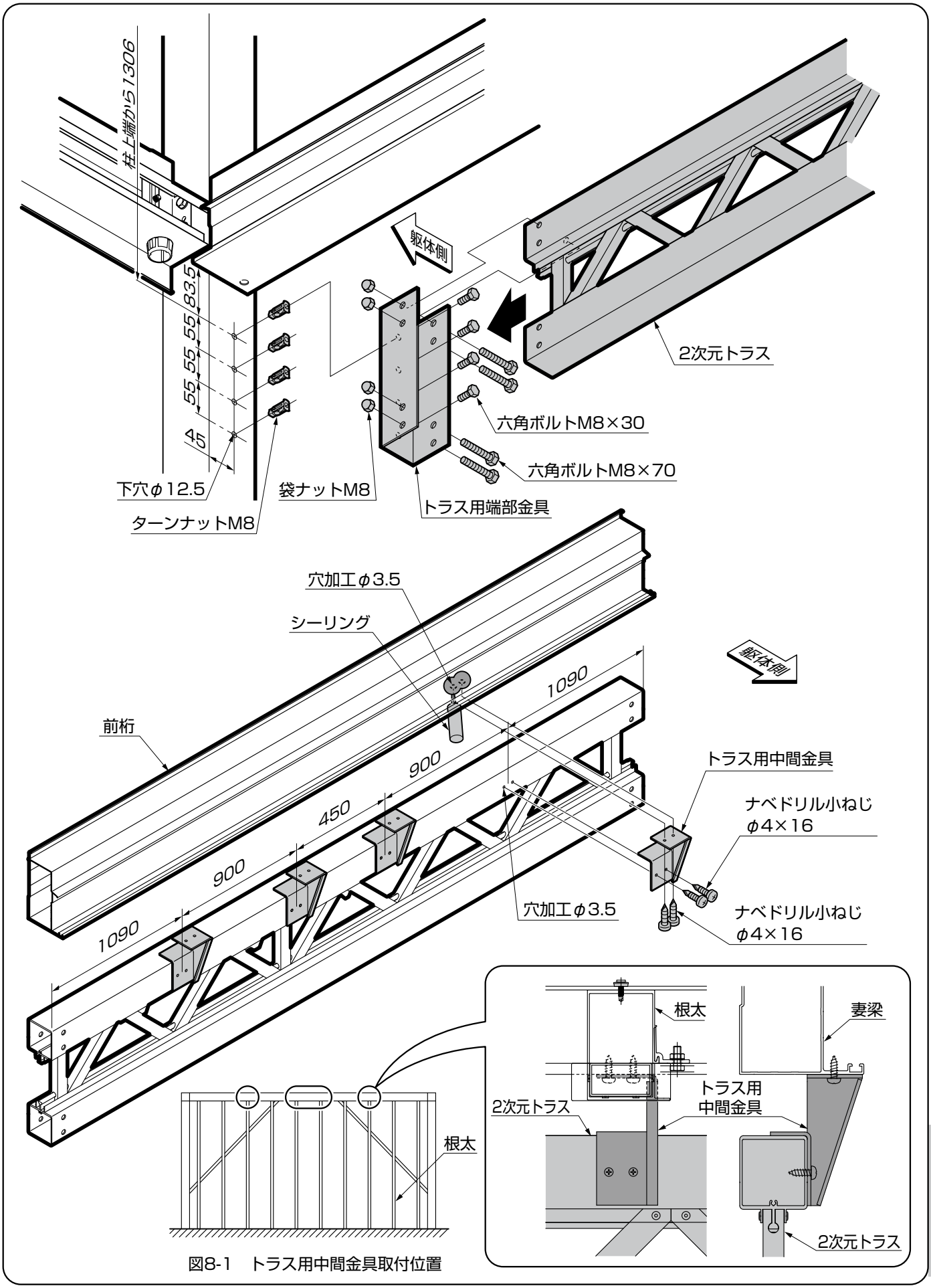


図8-1　トラス用中間金具取付位置

9 戸袋逃げ柱の取付け

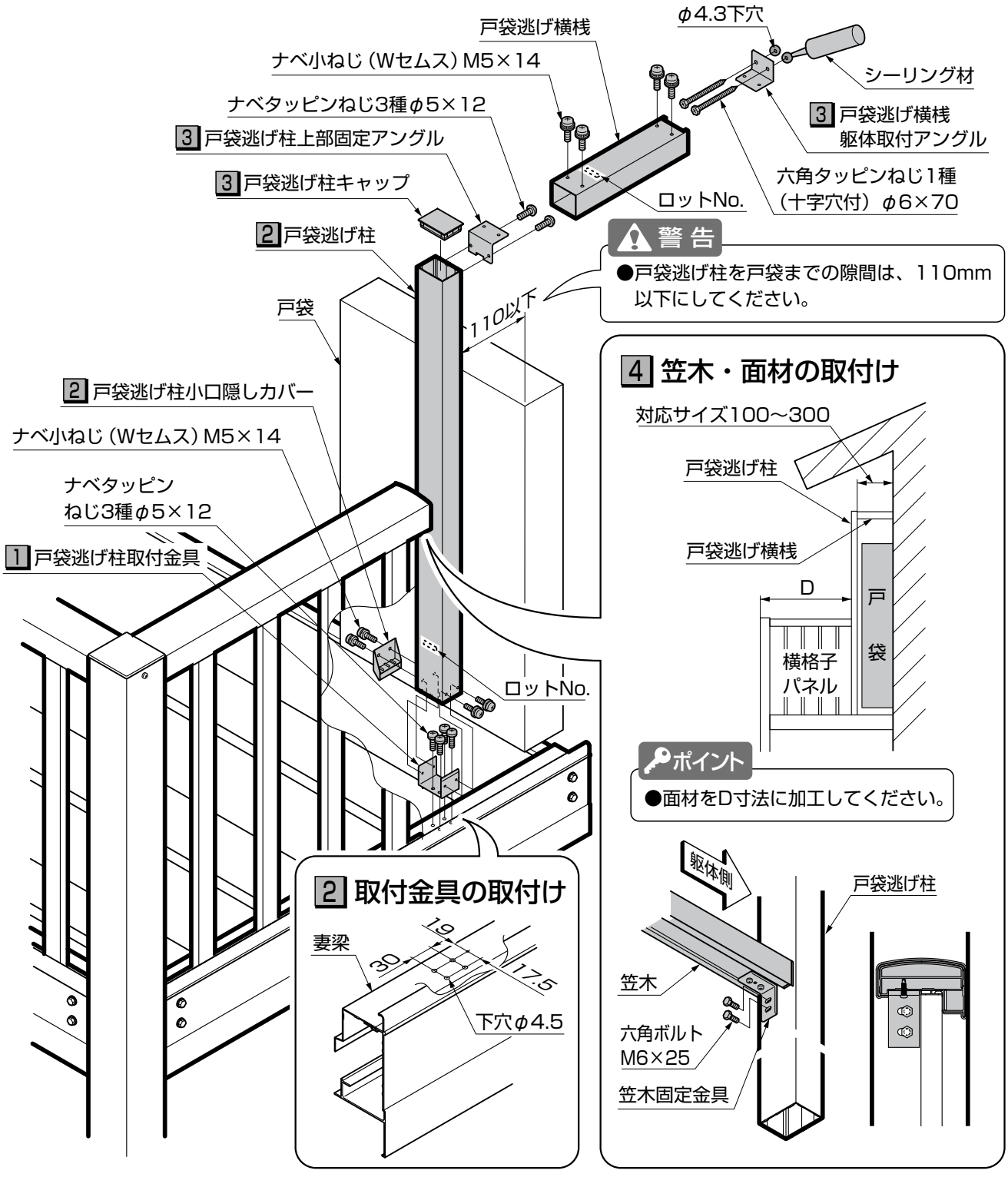
警 告

●躯体にφ4.3の下穴をあけ、シーリングを充てんしてください。水漏れの原因になることがあります。

ポイント

●使用する部材は現場にあわせて加工してください。
●指定の箇所には、必ずシーリングを充てんしてください。

1 取付金具の取付け ⇨ 2 戸袋逃げ柱の組立て ⇨ 3 戸袋逃げ柱の取付け ⇨ 4 笠木・面材の取付け



警 告

●戸袋逃げ柱を戸袋までの隙間は、110mm以下にしてください。

4 笠木・面材の取付け

ポイント

●面材をD寸法に加工してください。

2 取付金具の取付け

10 柱移動

1 柱建て式の場合

1 移動柱の固定 ⇨ 2 柱キャップの取付け

警 告

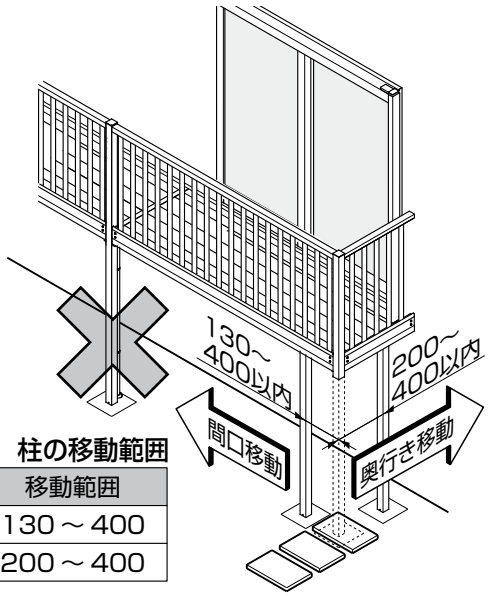


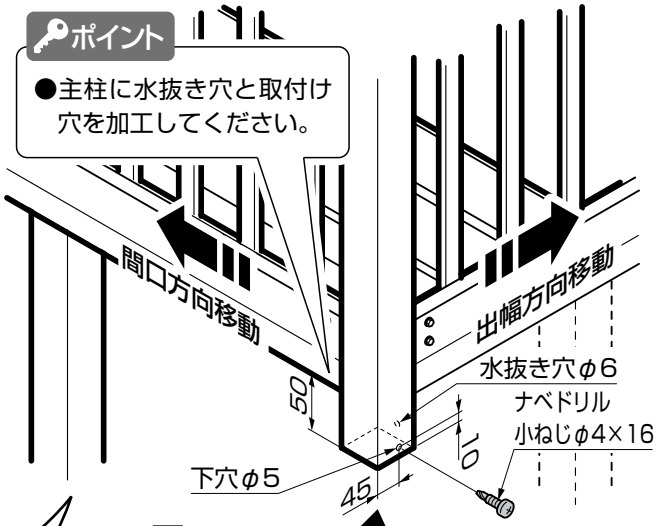
表10-1　柱の移動範囲

	移動範囲
間口	130～400
奥行	200～400

●中間柱の移動は危険ですので行わないでください。

ポイント

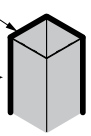
●主柱に水抜き穴と取付け穴を加工してください。



2 柱キャップ



切断

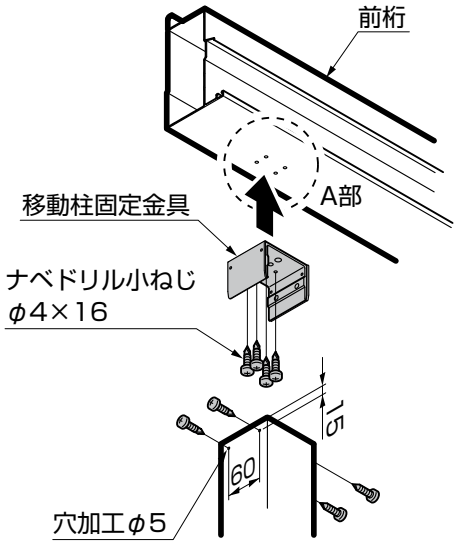


ポイント

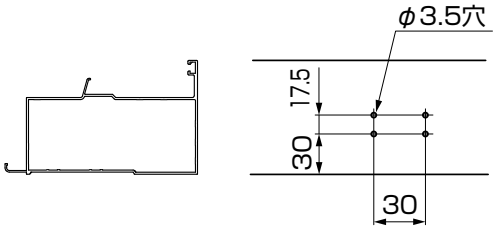
●切断した柱を移動柱として使用します。

1 移動柱の固定

○前桁側の場合

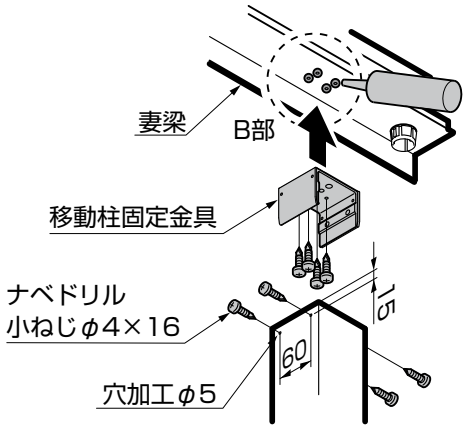


●A部詳細図

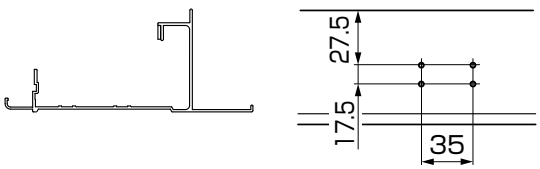


1 移動柱の固定

○妻梁側の場合



●B部詳細図

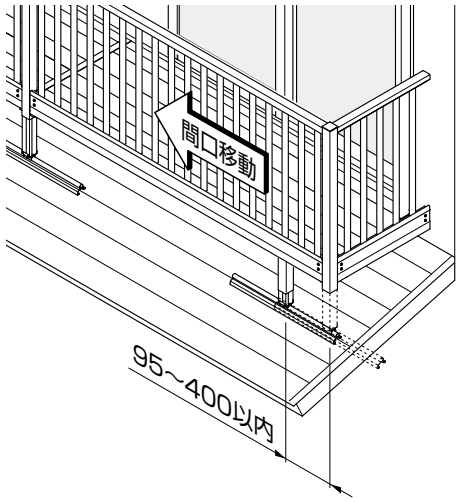


MAM-88_201304
M014_201304A

2 屋根置き式の場合

1 移動柱の固定 ⇨ 2 柱キャップの取付け

⚠ 警 告



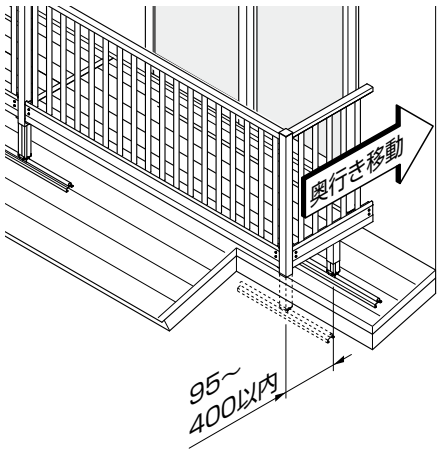
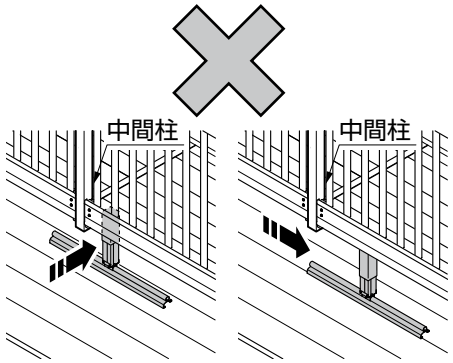


表10-2　柱の移動範囲

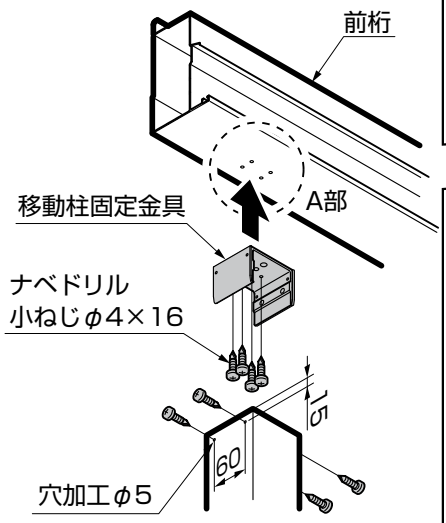
	移動範囲
間口	95 ～ 400
奥行	95 ～ 400



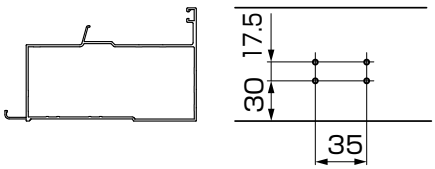
●中間柱の移動は危険ですので行わないでください。

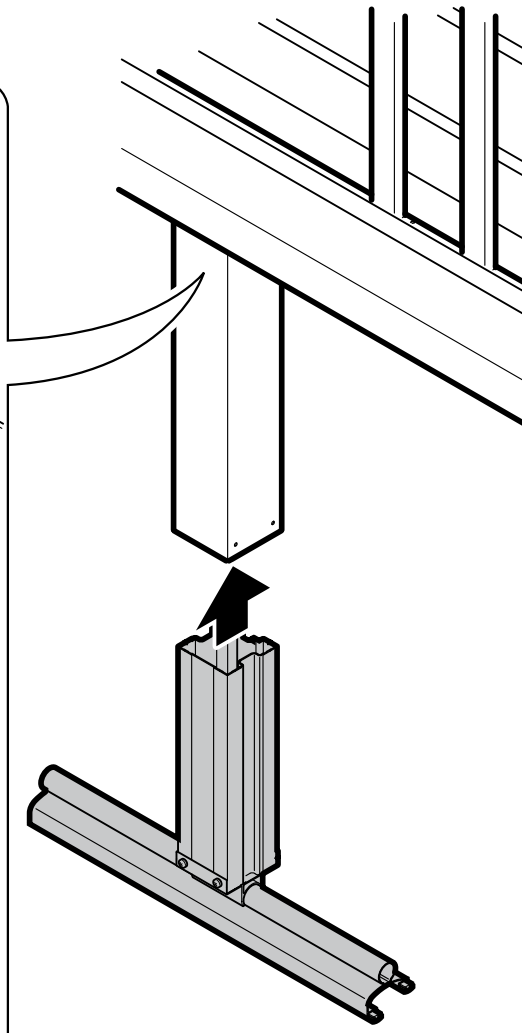
1 移動柱の固定

○前桁側の場合



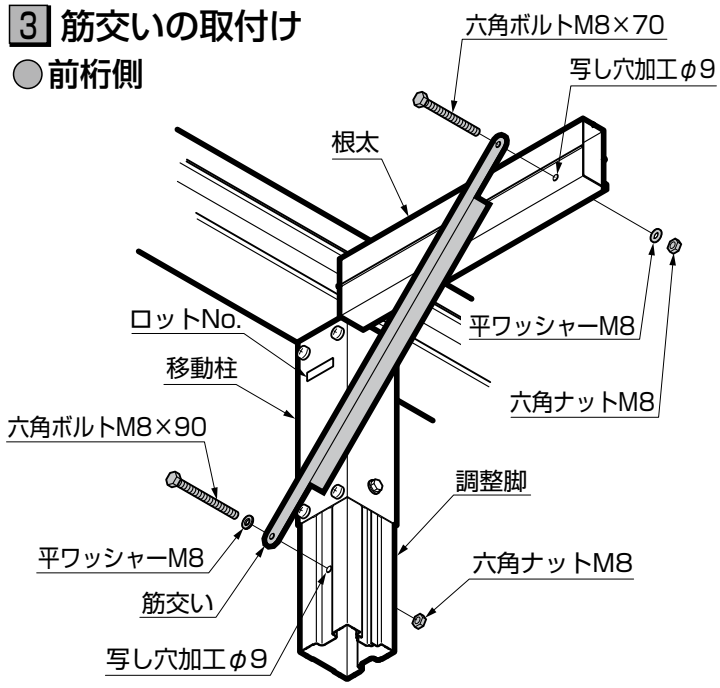
●A部詳細図

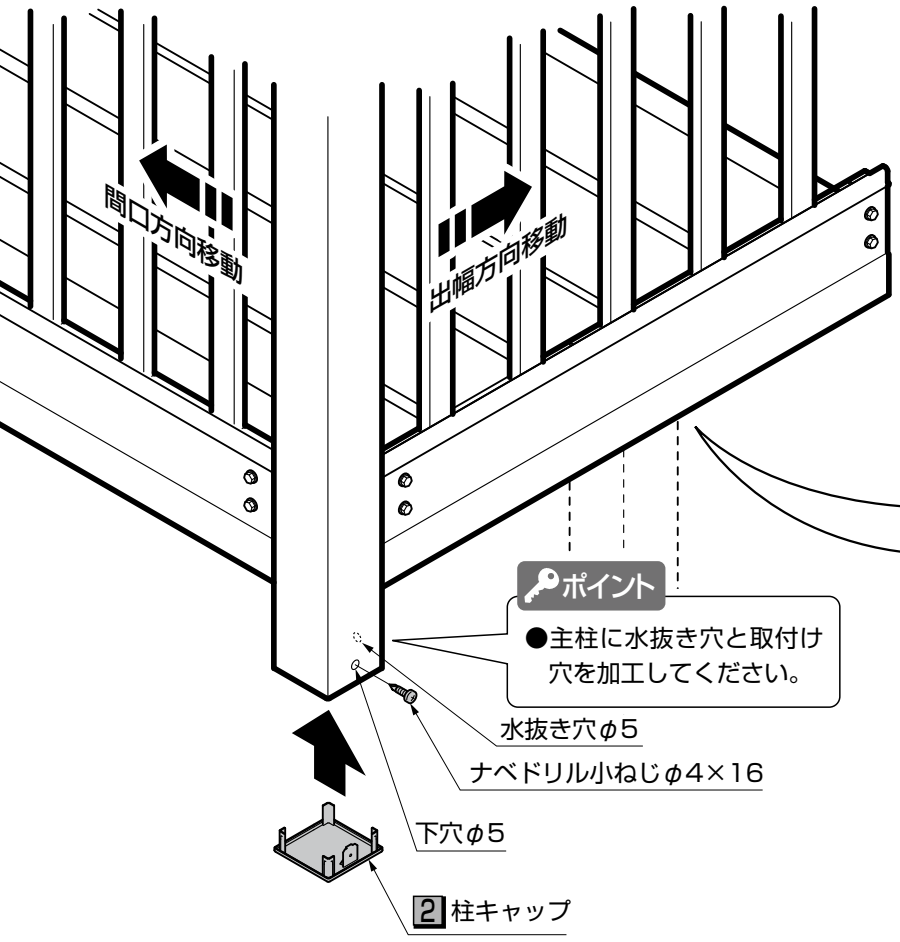




3 筋交いの取付け

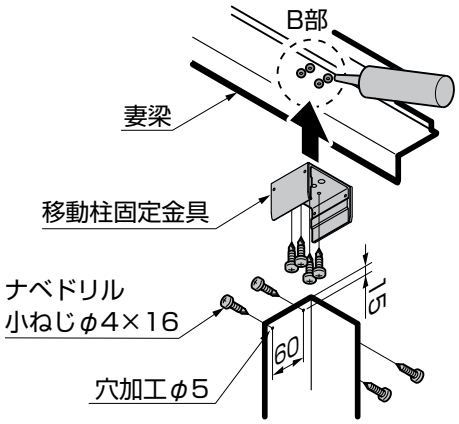
○前桁側



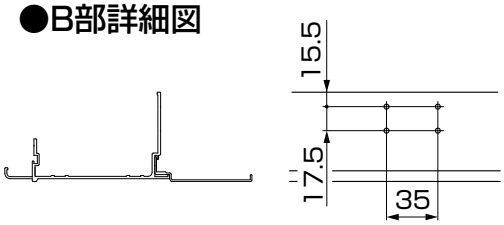


1 移動柱の固定

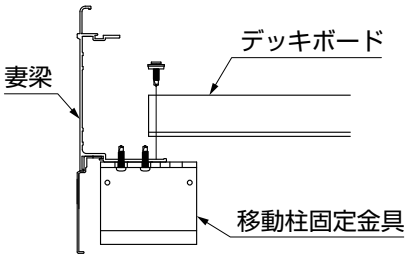
○妻梁側の場合



●B部詳細図

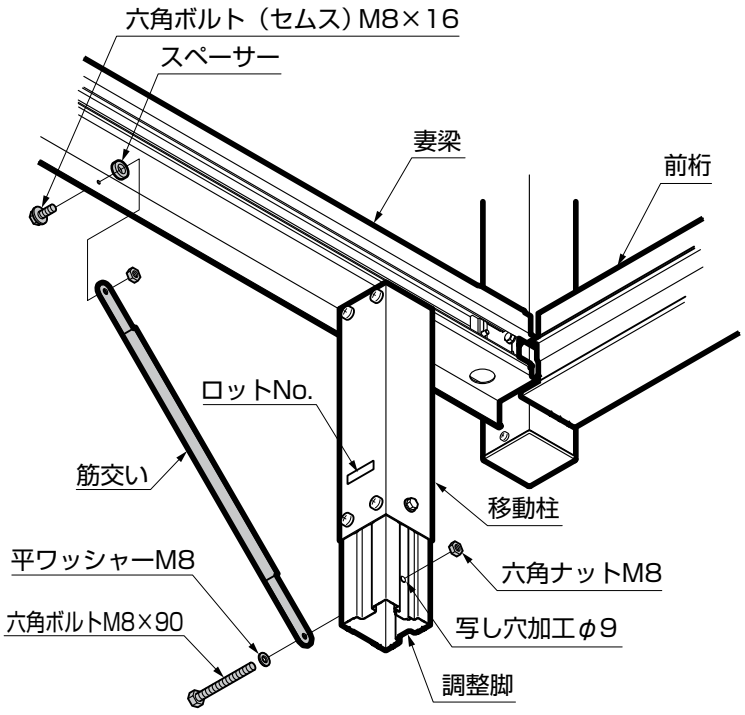


※デッキボードを取付ける場合はねじをよけて取付けてください。



3 筋交いの取付け

○妻梁側



MAM-88_201304
M014_201304A

11 納まり図

1 柱建て式納まり ※本図の面材は縦太格子を代表例として記載しています。

◯側面図

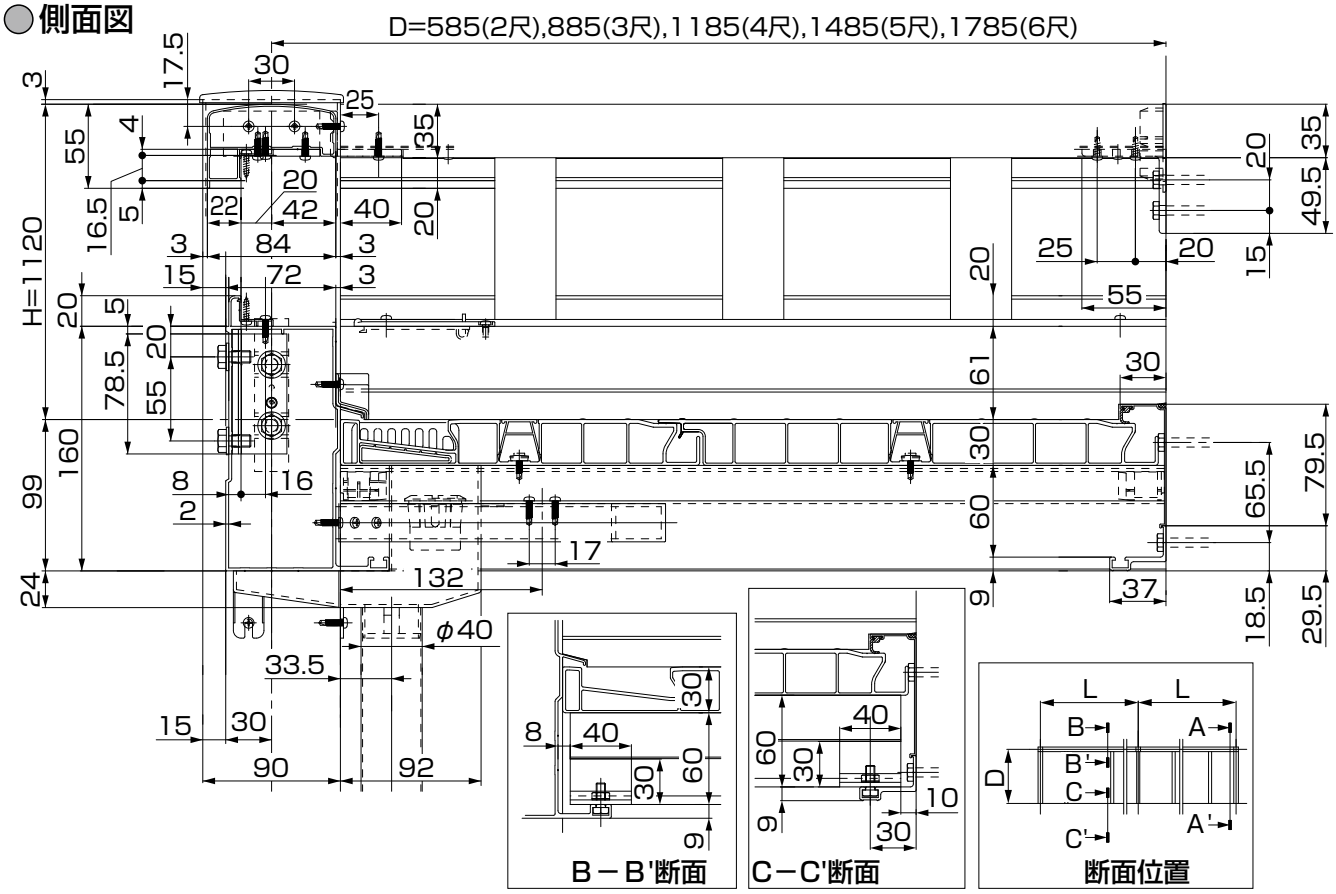


図11-1　基本

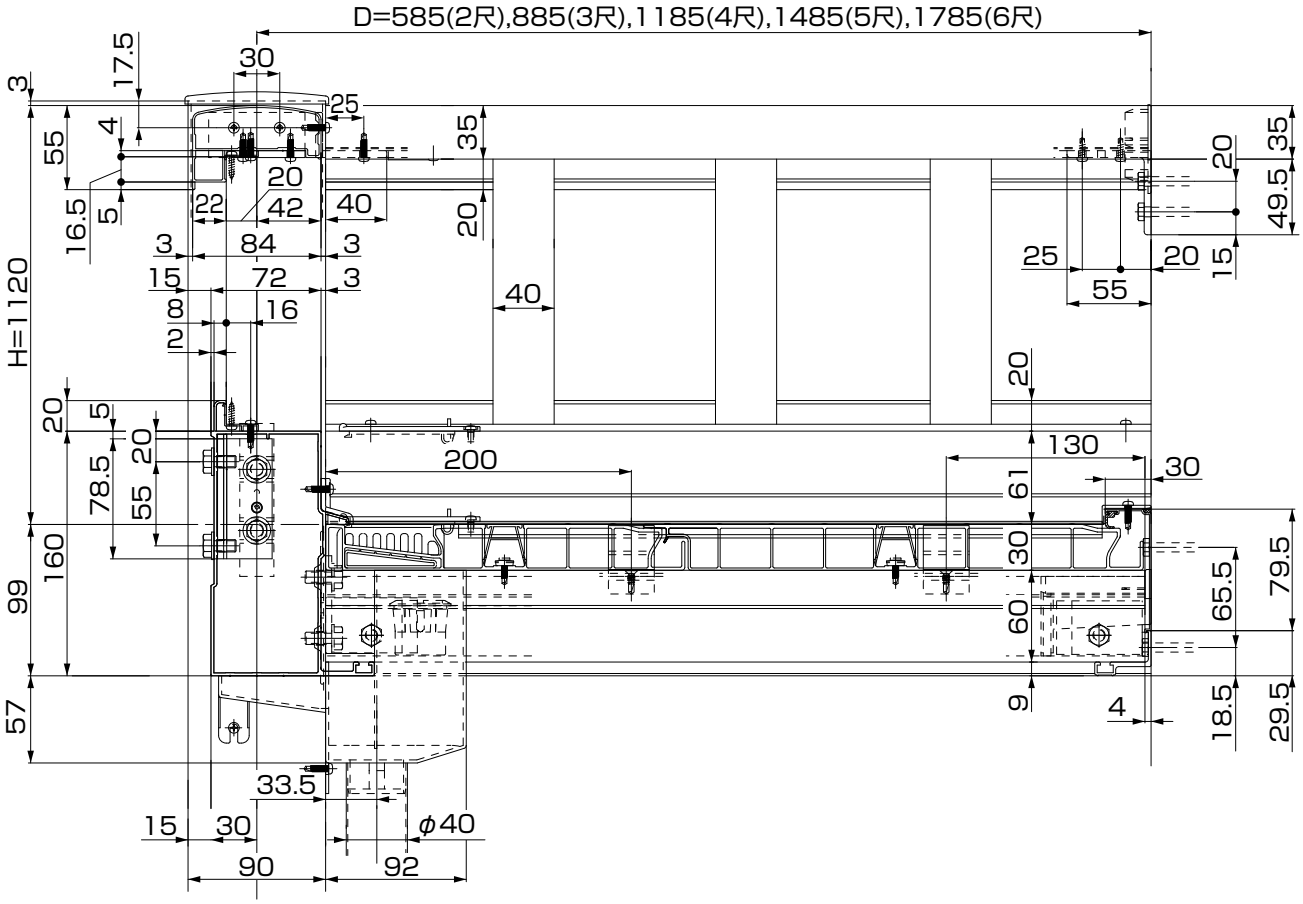
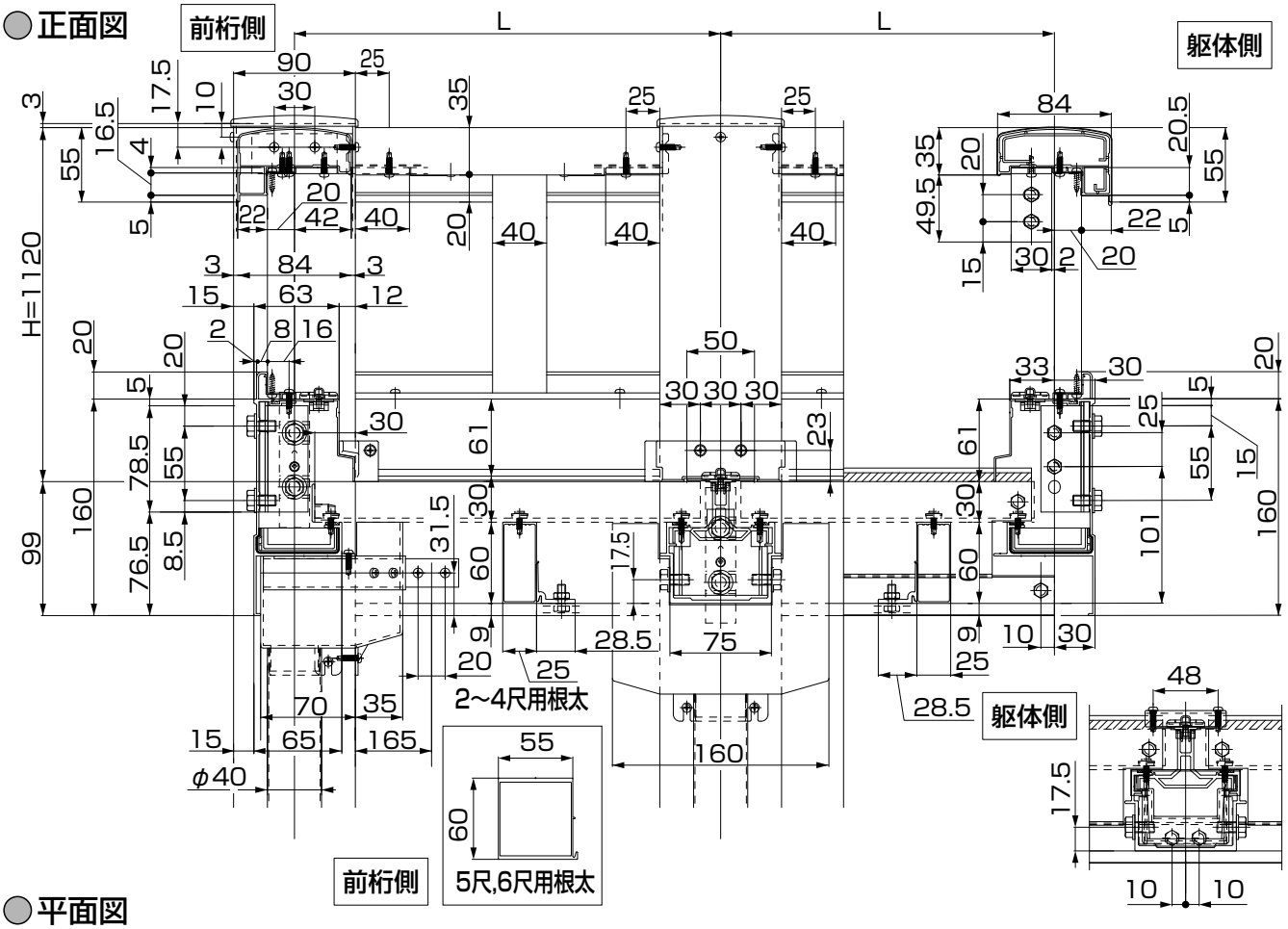


図11-2　連棟

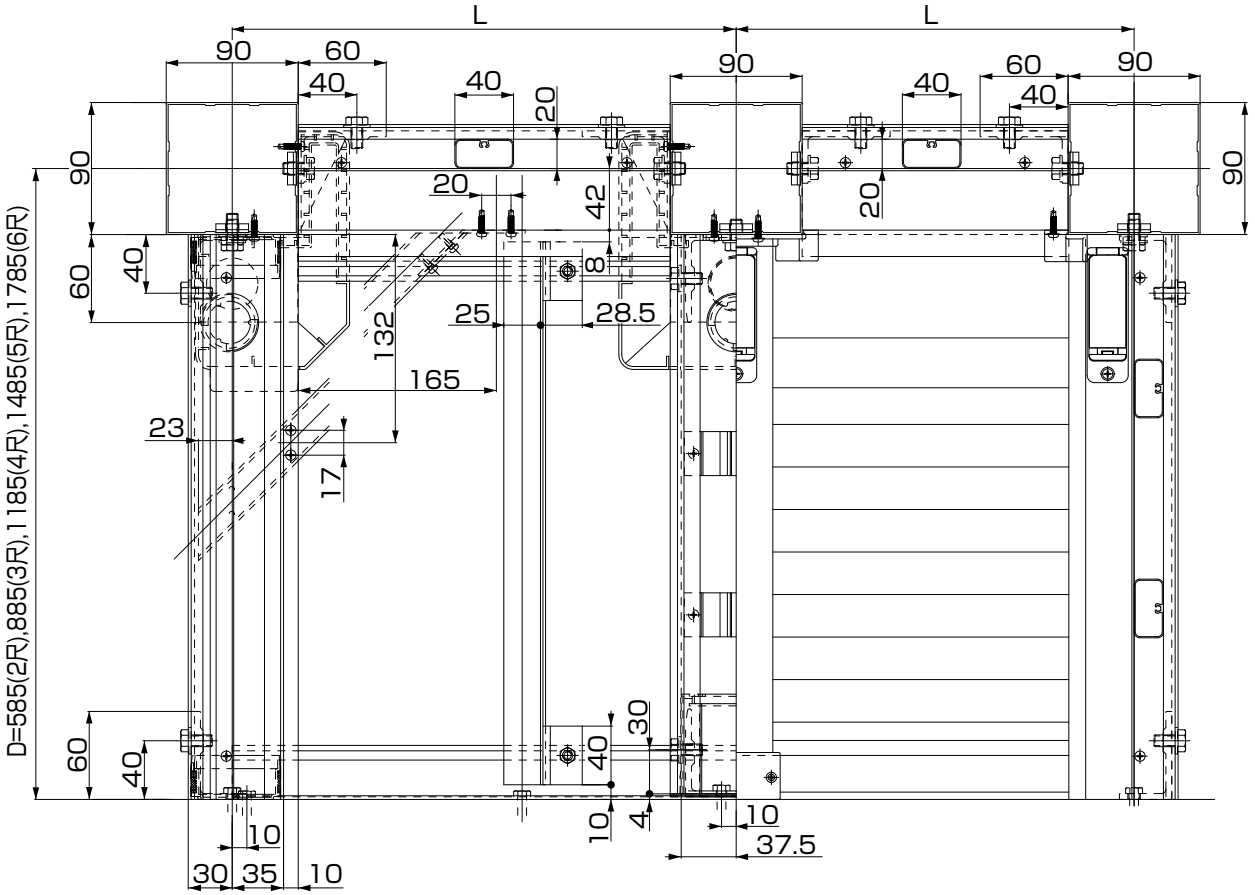
表11-1

L寸法表	1.0間／2M	1.5間／3M	2.0間／4M	2.5間通し
関東間	1820	2730	3640	4550
九州四国間	1910	2865	3820	ー
メーター	2000	3000	4000	ー

◯正面図



◯平面図



2 屋根置き式納まり ※本図の面材は縦太格子を代表例として記載しています。

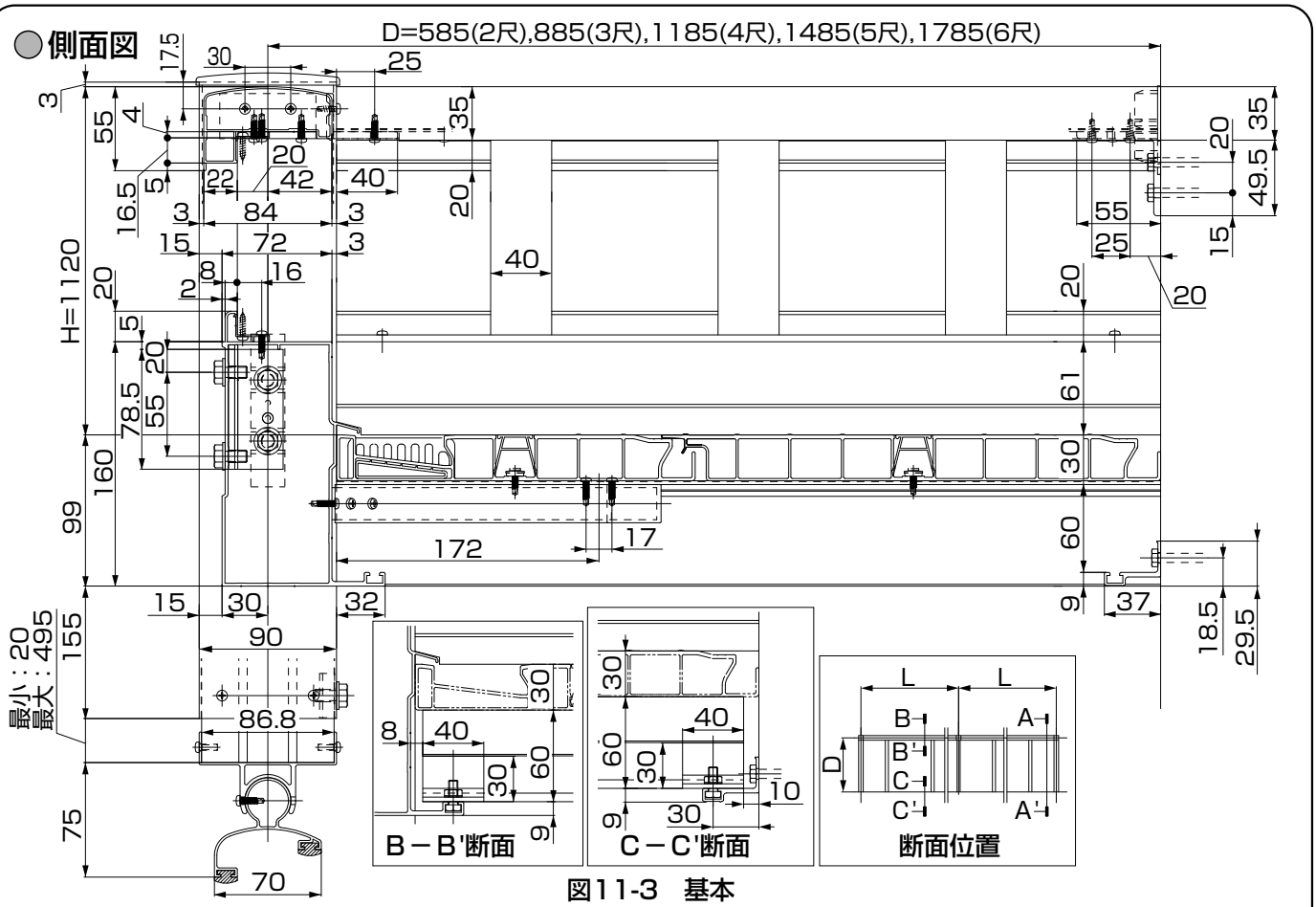


図11-3　基本

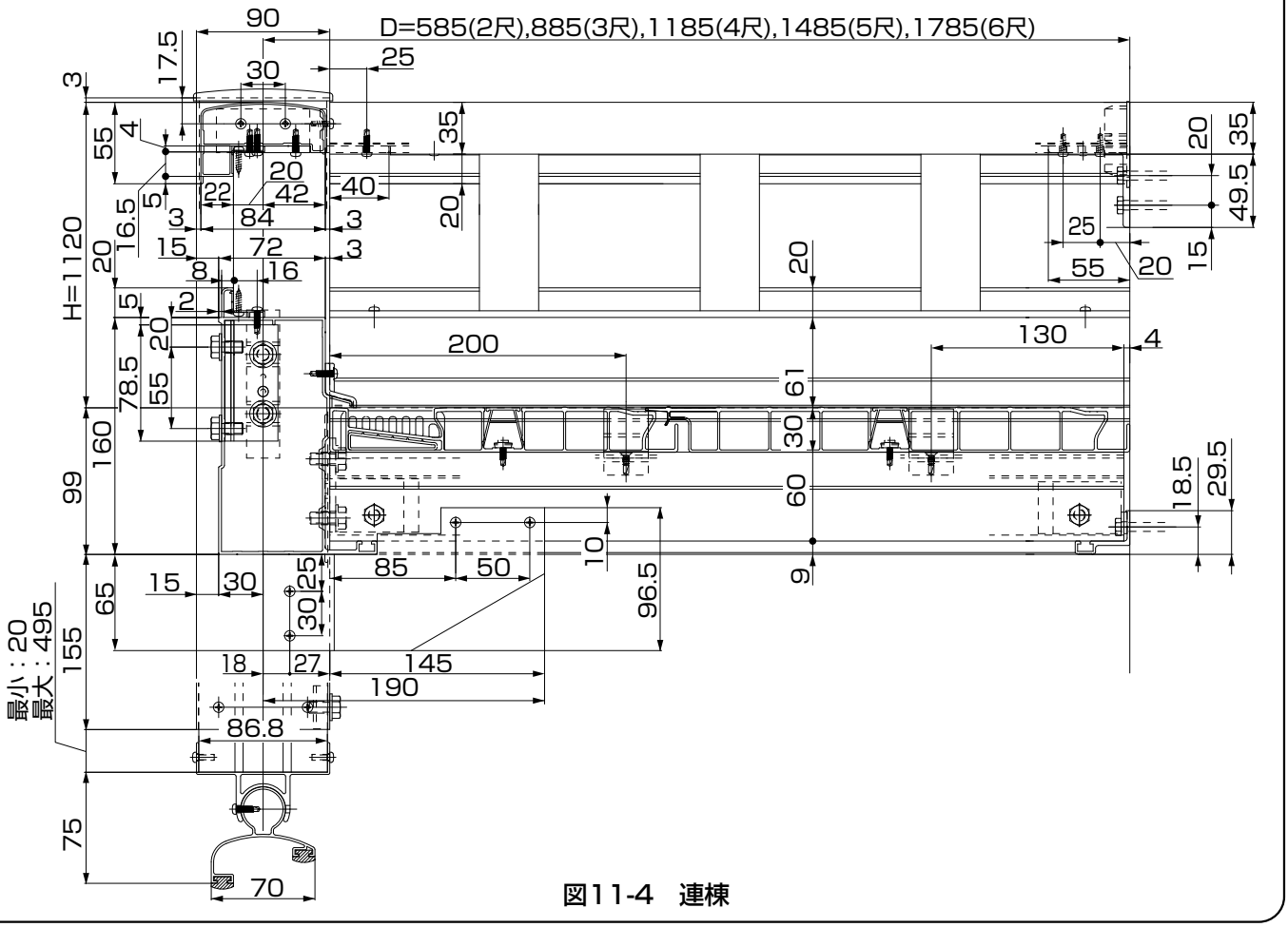


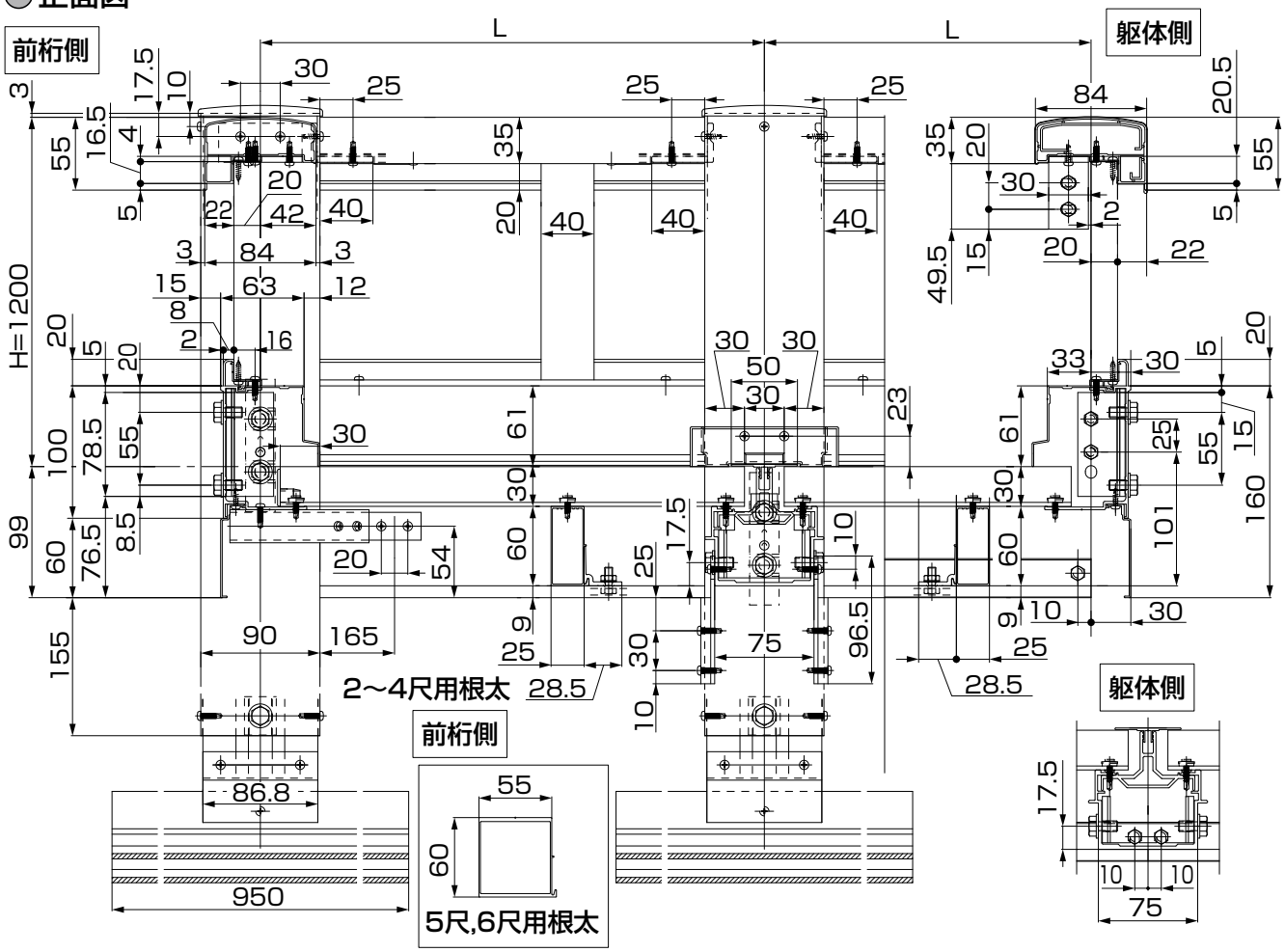
図11-4　連棟

MAM-88_201304
M014_201304A

表11-2

L寸法表	1.0間／2M	1.5間／3M	2.0間／4M	2.5間通し
関東間	1820	2730	3640	4550
九州四国間	1910	2865	3820	—
メーター	2000	3000	4000	—

◯正面図



◯平面図

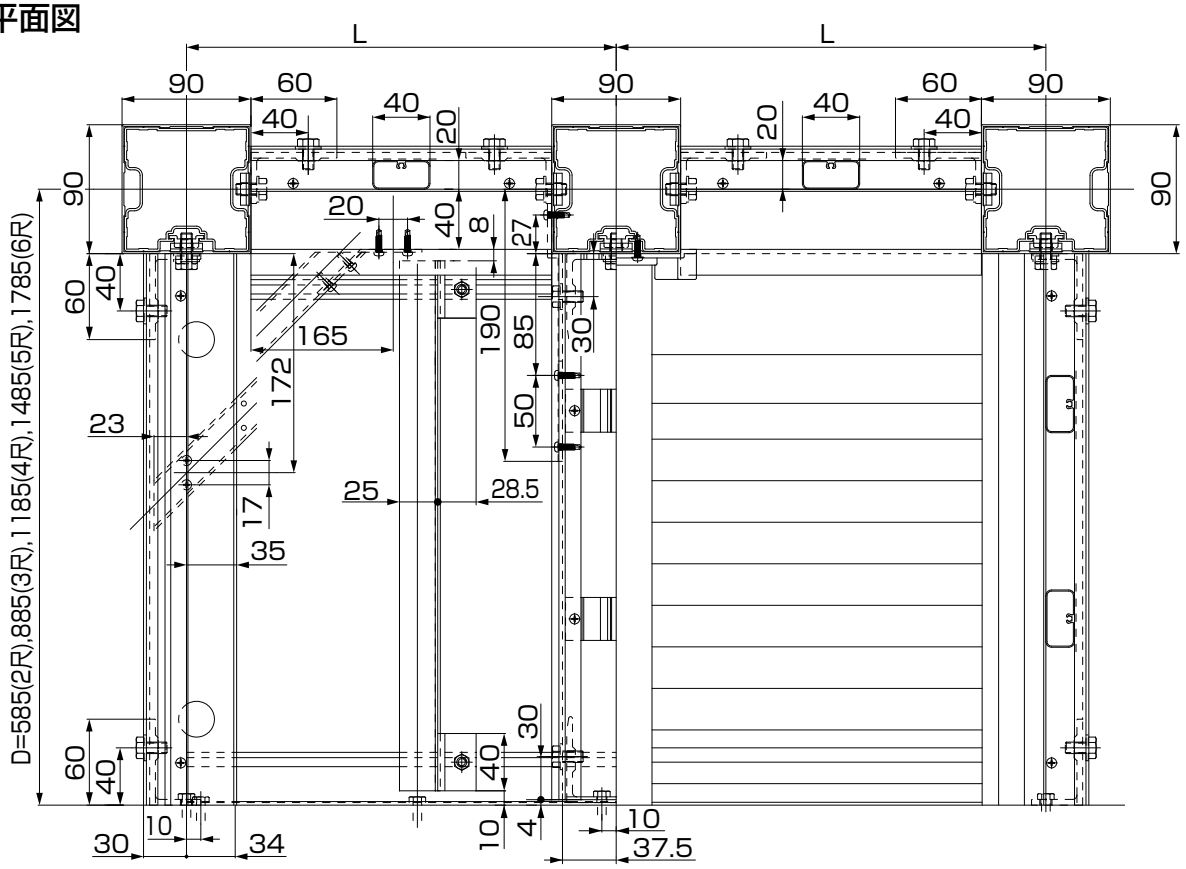
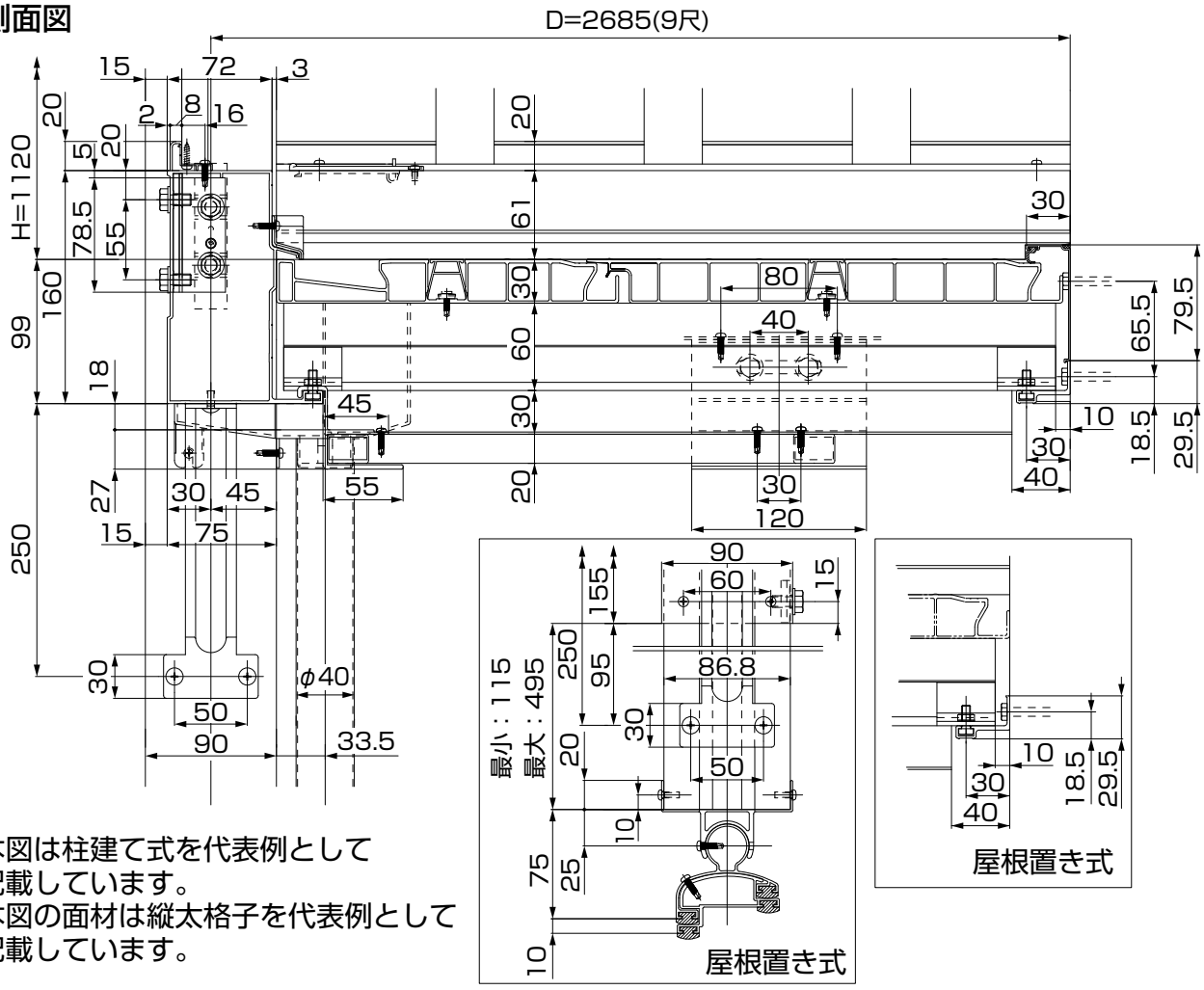


表11-3

L寸法表	1.0間／2M	1.5間／3M	2.0間／4M	2.5間通し
関東間	1820	2730	3640	4550
九州四国間	1910	2865	3820	−
メーター	2000	3000	4000	−

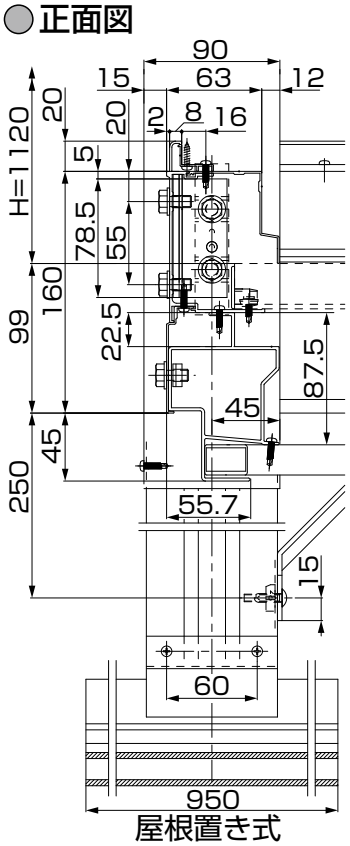
3 出幅9尺納まり

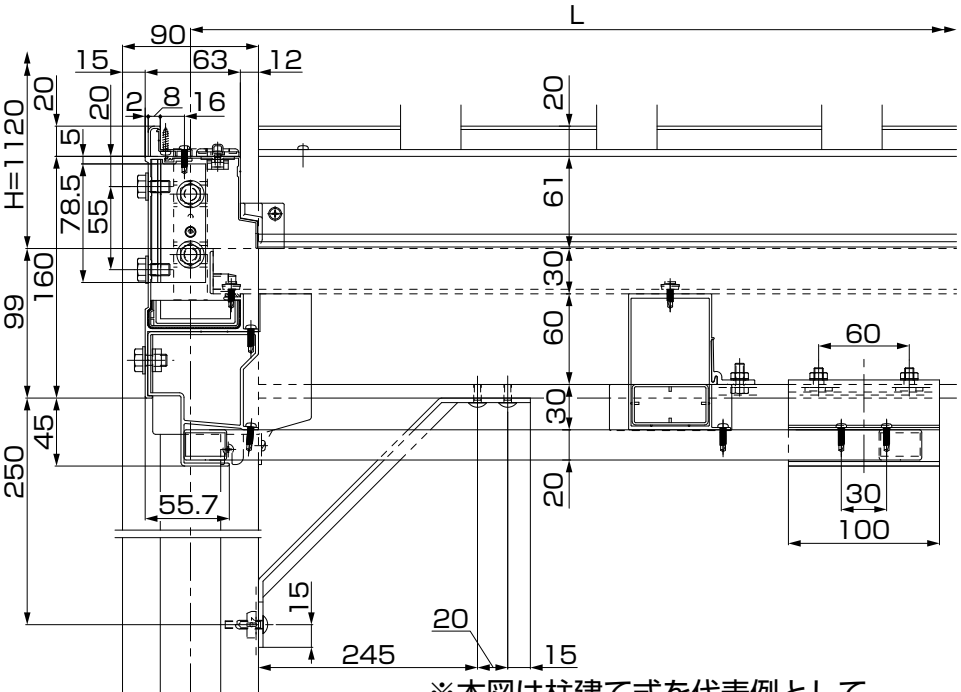
◯側面図



※本図は柱建て式を代表例として記載しています。
※本図の面材は縦太格子を代表例として記載しています。

◯正面図





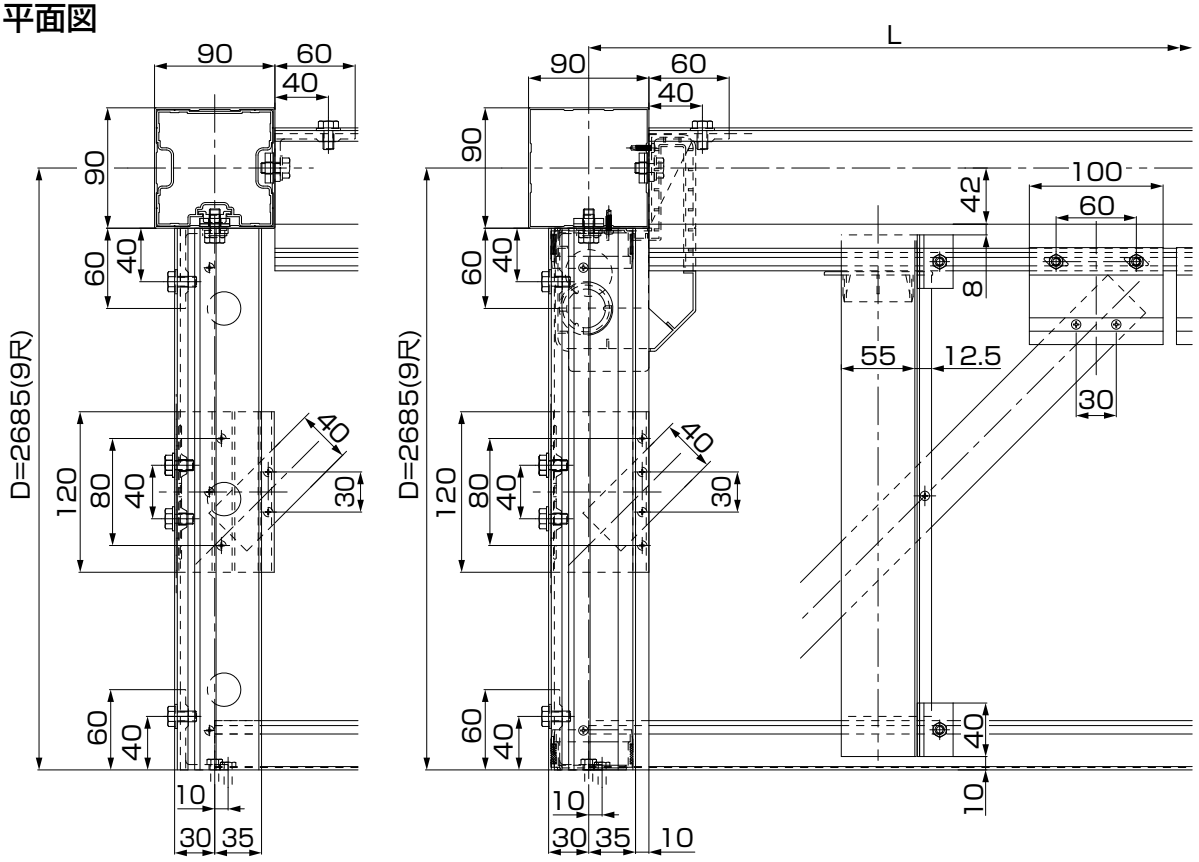
※本図は柱建て式を代表例として記載しています。
※本図の面材は縦太格子を代表例として記載しています。

表11-4

L寸法表	1.0間／2M	1.5間／3M	2.0間／4M	2.5間通し
関東間	1820	2730	3640	4550
九州四国間	1910	2865	3820	–
メーター	2000	3000	4000	–

3 （つづき）

◯平面図

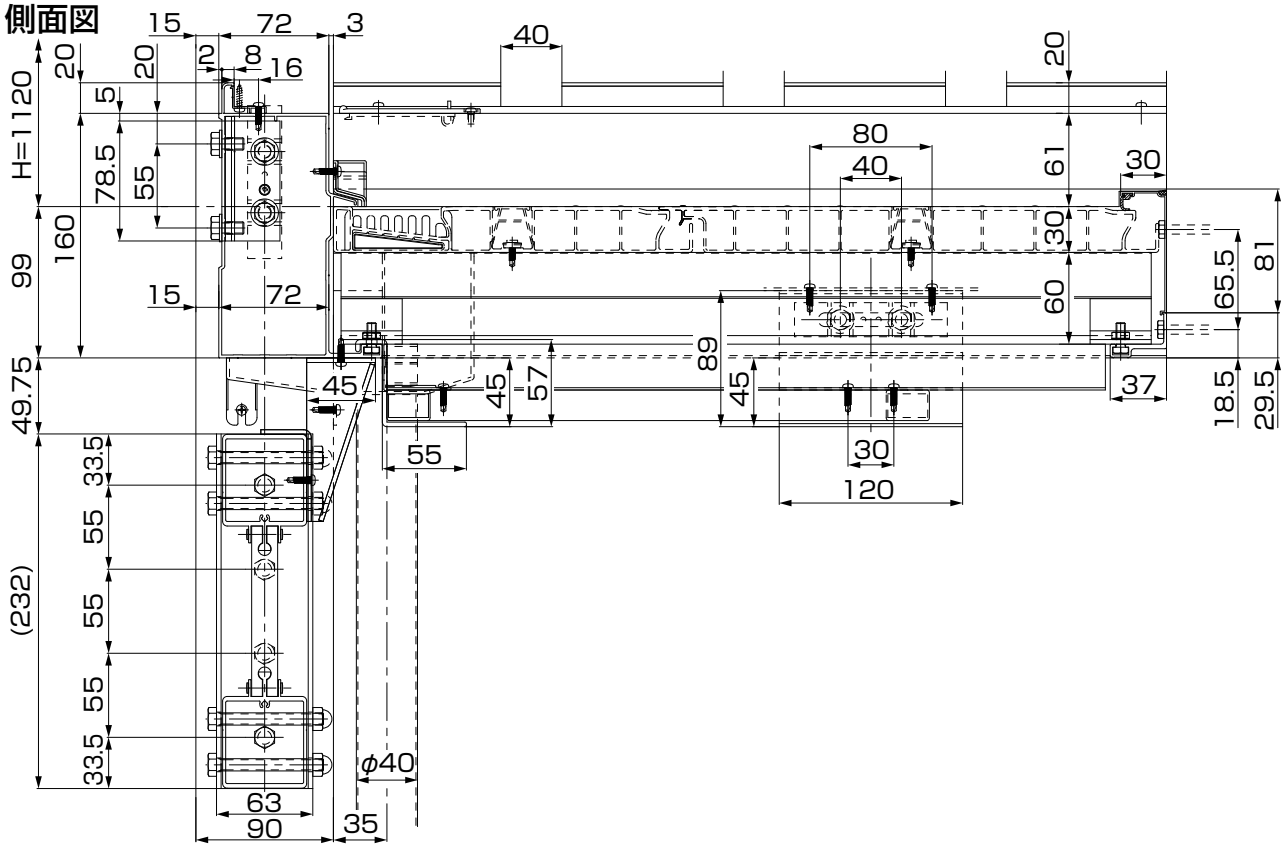


屋根置き式

※本図は柱建て式を代表例として記載しています。

4 2.5間9尺納まり

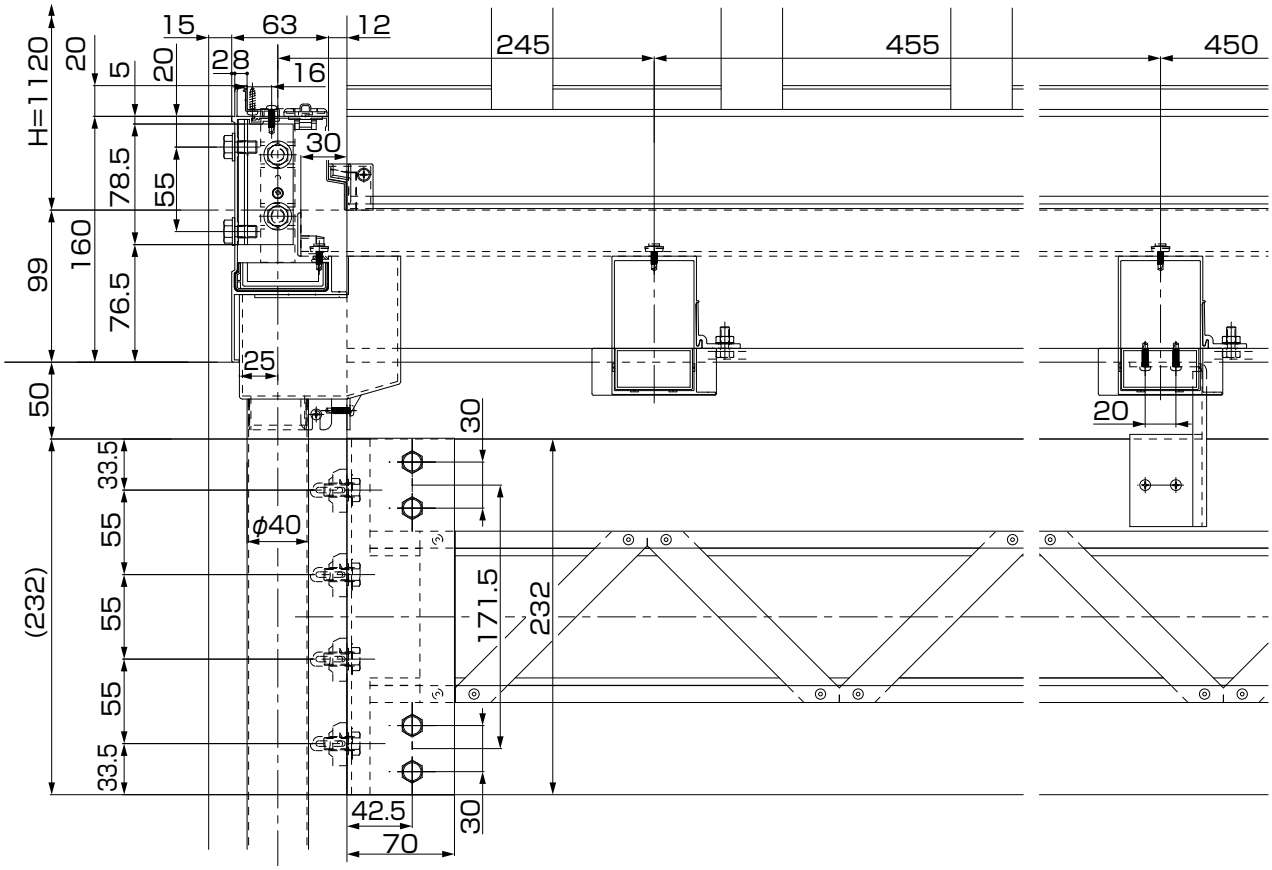
◯側面図



MAM-88_201304
M014_201304A

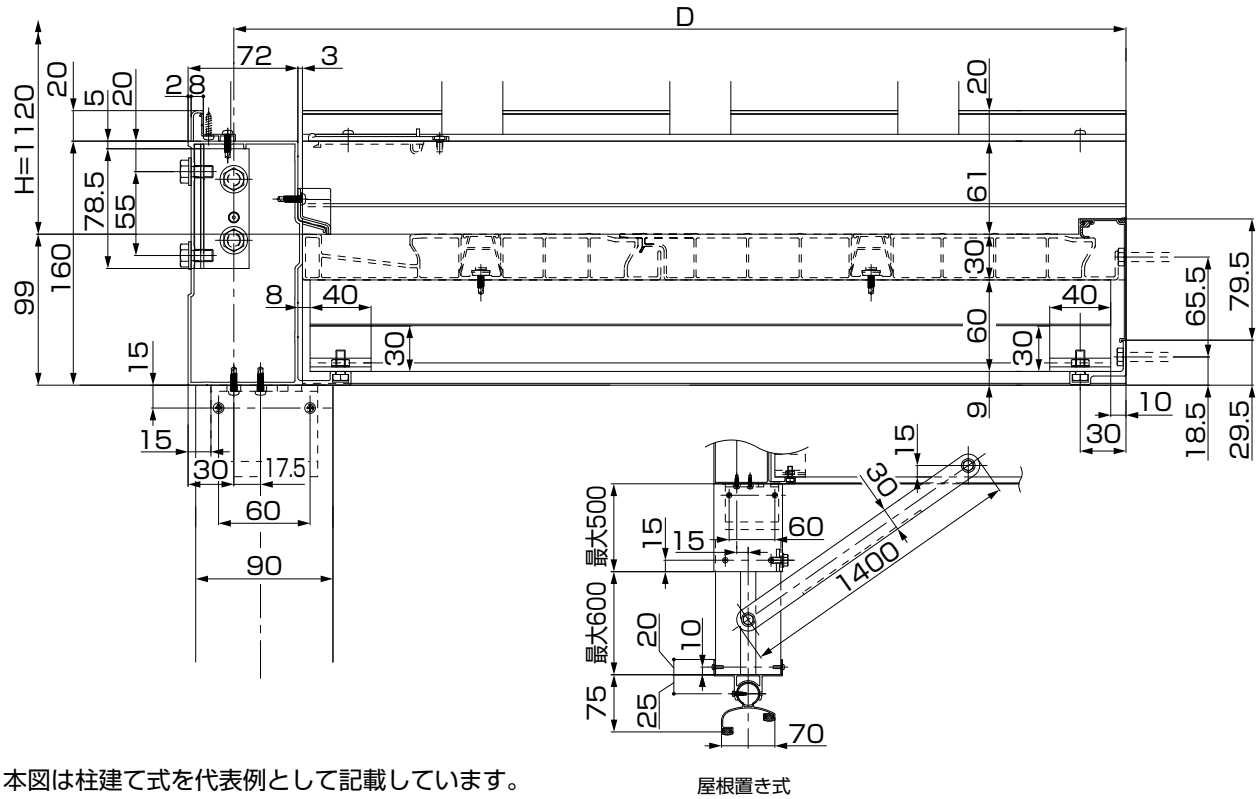
4 （つづき）

◯正面図



5 柱移動納まり

◯間口移動　側面図

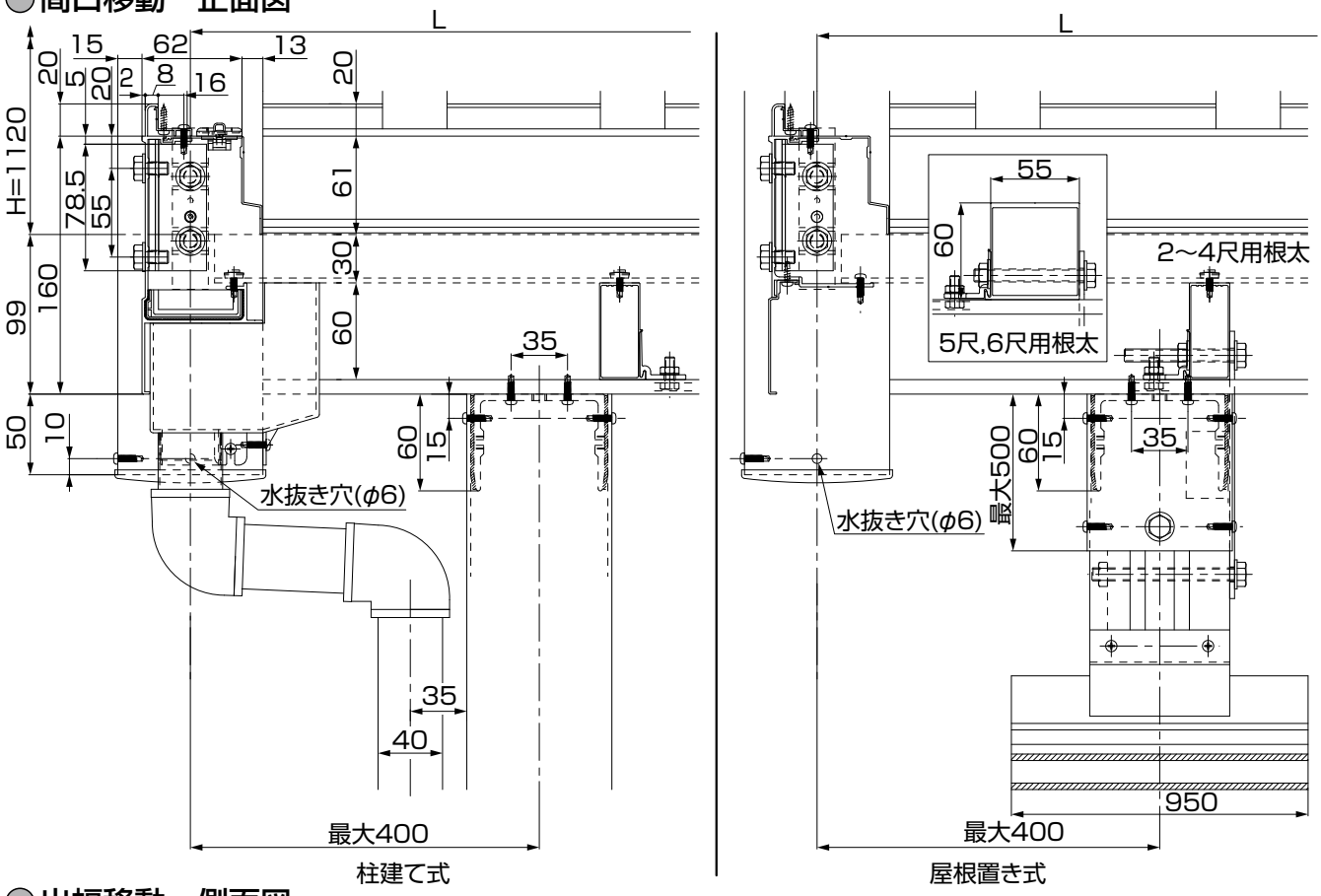


※本図は柱建て式を代表例として記載しています。

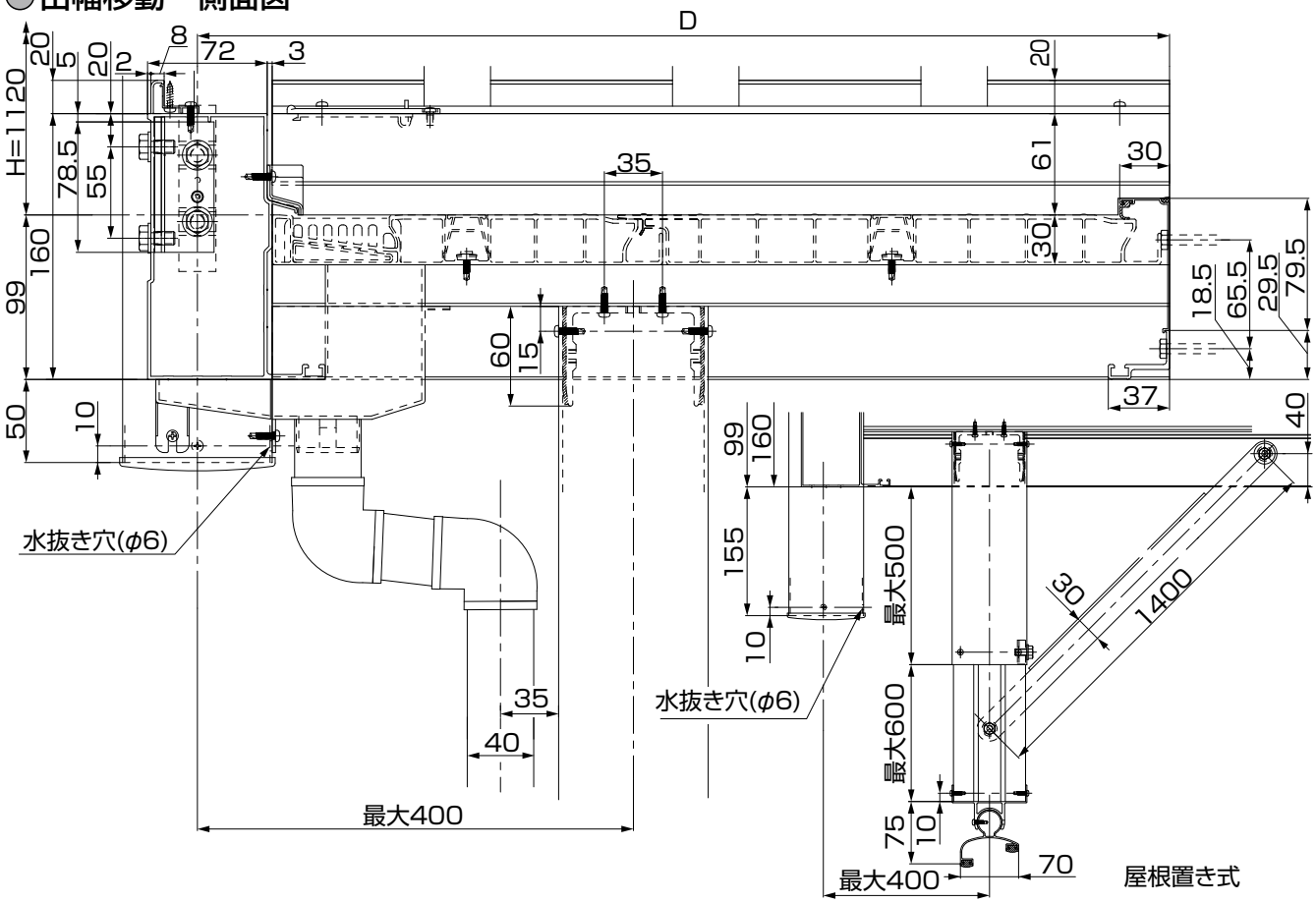
屋根置き式

MAM-88_201304
M014_201304A

◯間口移動　正面図



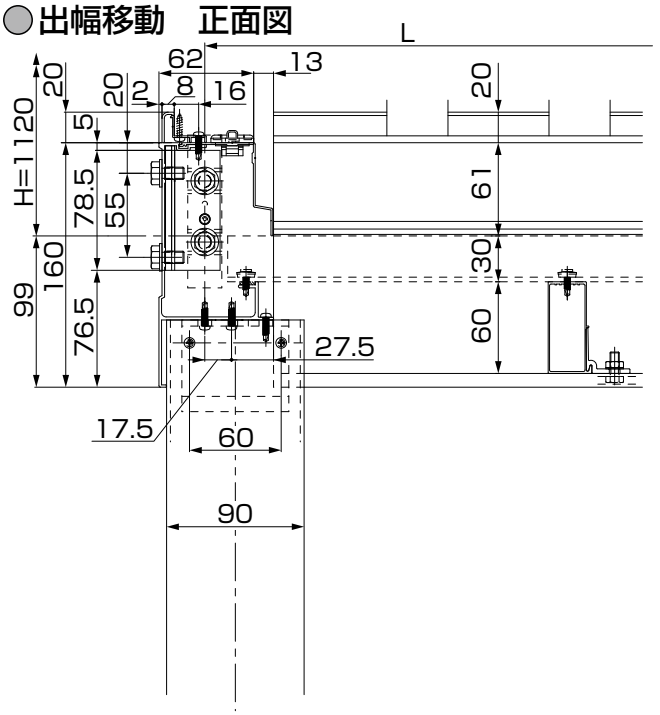
◯出幅移動　側面図



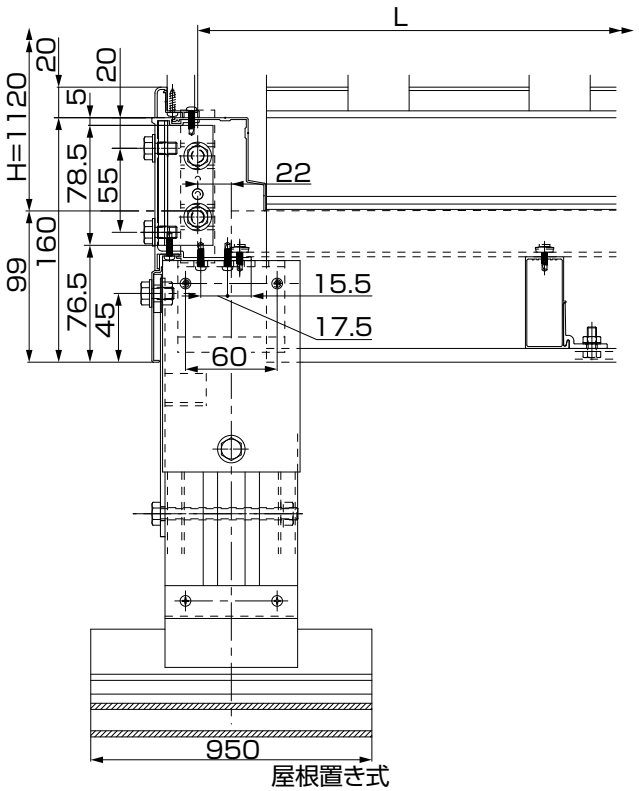
MAM-88_201304
M014_201304A

5（つづき）

◯出幅移動　正面図

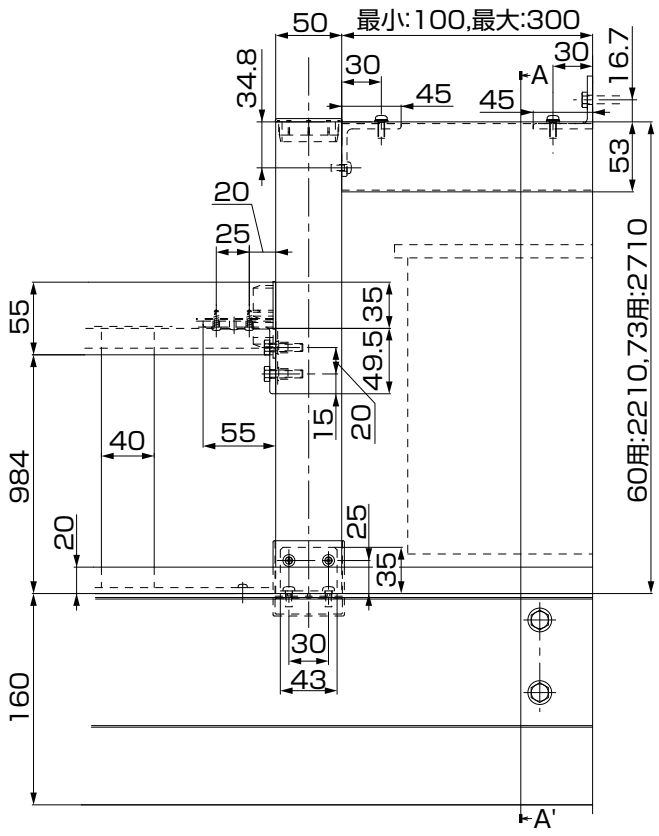


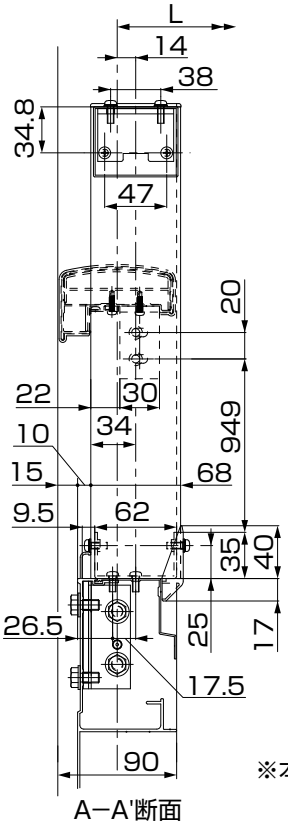
柱建て式



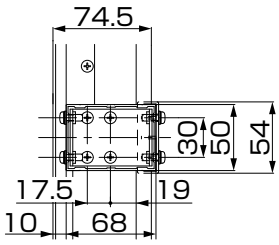
屋根置き式

6 戸袋逃げ柱納まり





A−A'断面



戸袋逃げ柱部
平面断面図

※本図は縦太格子（40格子）
・柱建て納まりの場合を示す。